

静岡県立美術館

第三者評価委員会評価報告書

令和2年2月

静岡県立美術館第三者評価委員会

目次

はじめに	1
------------	---

【報告編】

1 静岡県立美術館第三者評価委員会について	2
2 平成 30 年度 静岡県立美術館第三者評価委員会評価総括表	5
2-1 基本方針別自己評価	6

【資料編】

1 展覧会に関する自己点検評価表（平成 30 年度）	11
2 調査・研究に関する自己点検評価報告書（平成 30 年度）	16
3 定性評価の状況（平成 30 年度）	27
4 平成 30 年度第三者評価委員会での意見と対応状況	37
5 平成 30 年度設置者の取組状況	40
別添資料 静岡県立美術館評価業務 報告書（平成 31 年 3 月）	41

はじめに

本委員会は、評価を通じて静岡県立美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進することを目的として、平成 18 年 9 月に発足しました。

本委員会の使命は三つあります。第一は、県立美術館が自ら行う自己評価（一次評価）に対して、外部の視点から二次評価することです。第二には、美術館に対する県庁（本庁）の支援体制を委員会が独自の視点に立って評価することです。第三は、美術館の運営及び評価の方法について、次年度の改善に向けた提言をすることです。

本年度の活動としては、令和元年 6 月に第三者評価委員会を開催し、平成 30 年度の美術館自己評価に対する二次評価、設置者の取組に対する意見、今後の改善課題について討議しました。この報告書はその結果に基づき作成したものです。

本報告書が県庁と県立美術館のますますの発展と充実に資することを願います。

令和 2 年 2 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

委員長 村田 眞宏

1 静岡県立美術館第三者評価委員会について

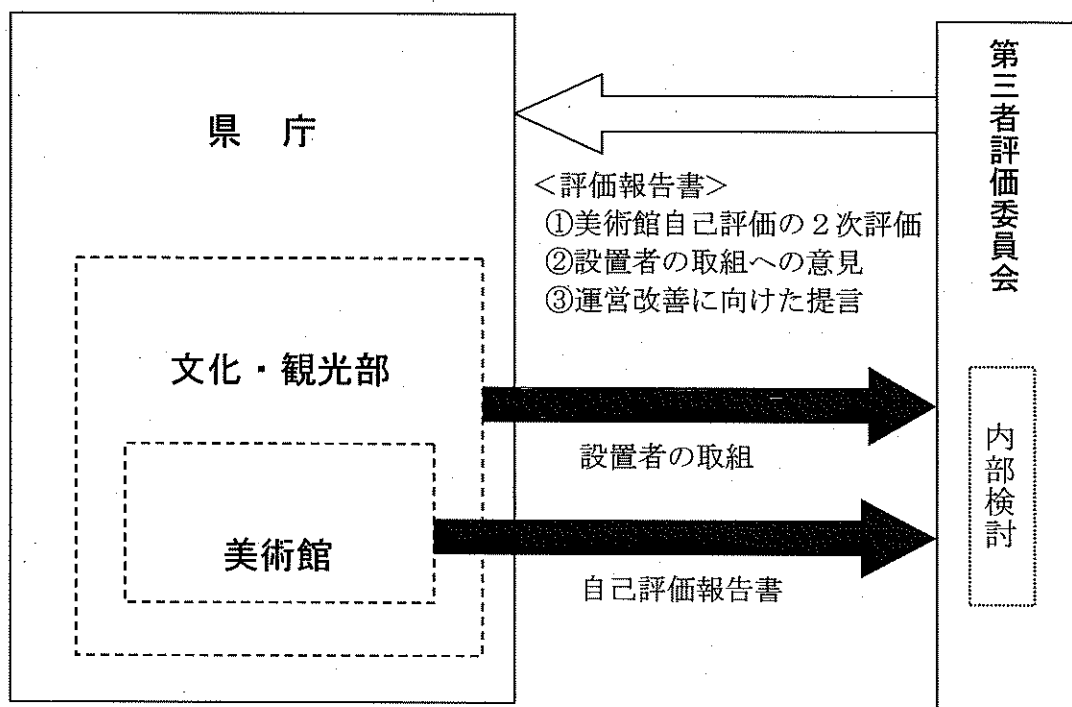
静岡県立美術館第三者評価委員会委員名簿（敬称略、五十音順）

	候補者	役 職
委員長	むらた まさひろ 村田 眞宏	豊田市美術館館長
委員	かみやま まり 神山 眞理	日本大学教授
〃	きんばら ひろゆき 金原 宏行	一般財団法人名都美術館理事
〃	たなか ひらき 田中 啓	静岡文化芸術大学教授
〃	さくらい とおる 櫻井 透	公益財団法人静岡県産業振興財団理事長
〃	やまぐち ゆみ 山口 裕美	株式会社 YY ARTS 代表

令和元年度の活動

会議名等	内容等
第1回第三者評価委員会	日時：令和元年6月24日（月）13:30～15:30 会場：静岡県庁別館7階第一会議室 内容：（1）美術館自己評価結果について （2）設置者の取組みについて

評価システム全体図（第三者評価委員会の位置付け）



静岡県立美術館第三者評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）では、より良いサービスの提供を図るため、事業の運営等の効果について、多面的かつ客観的な測定・評価を行う自己評価活動を実施しているが、美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進するため、美術館の自己評価及び県庁の支援体制等を第三者の視点から評価する「静岡県立美術館第三者評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 美術館の自己評価に対する2次評価
- (2) 県庁の支援体制等に関する評価
- (3) 評価結果の報告及びそれに基づく美術館の運営改善に向けた提言
- (4) その他、この委員会の目的達成に関すること

(委員)

第3条 委員は、知事が委嘱する。

- 2 委員の人数は、10名以内とする。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、その委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長1人を置く。

- 2 委員長は、知事が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は公開とし、その傍聴に関して必要な事項は、別に定める。
- 3 委員会は、必要に応じて個別課題検討のための分科会を置くことができる。
- 4 委員会及び分科会には、委員以外の者に出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務を処理するため、事務局を静岡県文化・観光部文化政策課内に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成18年9月21日から施行する。
- 2 この要綱の施行の日に委嘱する委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

(最終改正 平成23年6月17日)

2 平成30年度静岡県立美術館第三者評価委員会評価 <2総括表>

【使命】＝美術館をめざす姿		静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。そのためにコレクションを基盤として人々が美術と出会い新たな価値を見出す体験の場をより多く提供するとともに、地域をパートナーと考える経営を行い、日本の新しい公立美術館となります。							
基本方針	重点目標	計画(P)		実施状況(D)		評価(C)			
		評価指標	目標	実績	自己評価	第三者評価			
A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展示会を開催します	1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します	1 展示会の来館者数(人)	108,000 人	75,750 人	【成果】 「安野光雅のふしぎな絵本展」では、本年度の未就学児来館総数の約8割、小中生来館総数の約7割を確保し、「子どもたちの美術館デビュー」の機会とすることができた。 「藤末野野派展」及び「あかねと旅する美術展」1968年 激動の時代の芸術展は、いずれも学芸員の研究成果を活かすことで、これまで美術館にあまり来館しなかった層から専門家まで幅広い層への来館を促した。 「展示会における新規来館者の割合」が目標を達成したこと、「作品やテーマに興味を持った人の割合」も目標を達成したことで、上記に述べた事柄については、数値の面からも実証できた。 「収蔵品展の来館者数」は、目標を達成することができた。学芸員によるコレクションの調査・研究による充実した展示が評価されたものといえる。 【課題】 「展示会の来館者数」は、目標を達成することができなかった。美術史上及び美術活動上、意義のある展示会を、いかに分かりやすく伝え、来館を促すが、今後も課題である。 「展示会の広報」については、展示会ごとに主催者であるマスコミ各社と連携し、CM等での告知を行なったが、県民等の利用者への浸透度が不十分と思われる点があるため、更なる広報の強化・充実を図ることが課題である。 「未就学児向け事業等の新規事業については、人念な準備が必要である。 他館や大学等との連携を推進することで、学芸員の研究を堅実にやり、作品の購入・寄贈を継続して実施することで、コレクションと収蔵品展のさらなる充実を図ることが課題である。 「収蔵品展の来館者数」は、中部に偏重する傾向があるため、今後は、西部・東部・伊豆等、全県に来館を促すことが課題である。	・来客者数の目標数値が予算上のテクニカルな数字であると、現場では重要視されない。経営側の意識と現場の意識が乖離していると、うまく活動が共有できないし、機能しないという問題がある。(村田) ・季節や期日の影響で良い展示会であっても広報が行き届かないうちに終わってしまう。(神山) ・作品の収集費がないことが多く、設置者の方も当たり前だと思ってしまう、ないことが前提に館が運営されることになりかねない。(村田) ・常設の部分が狭い。増床して、常設部分を広くし県民に収蔵品を知ってもらえる工夫が必要。(金原) ・常設が館蔵品だけでできることはすごいこと。館蔵品を使った展示会をもっと発信してはどうか(金原)			
		2 自主企画・企画参加型の展示会の回数(回)	3 回	3 回					
		3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)	88.0 %	87.9 %					
		4 展示会における新規来館者の割合(%)	20.0 %	22.1 %					
		5 展示会に対する外部評価【資料1-4】	-	-					
	2 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します	6 調査研究の発表回数(回)	15 回	10 回					
		7 内部セミナー・研究会・研修の回数(回)	14 回	10 回					
		8 他の美術館や大学と連携した取組回数(回)	3 回	3 回					
		9 調査研究に関する外部評価【資料1-4】	-	-					
	3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します	10 収蔵品展の来館者数	12,000 人	12,815 人					
		11 収蔵品の公開件数	300 件	308 件					
		12 作品購入件数・価格(件・千円)	4 件 10,000 千円	4 件 9,305 千円					
		13 作品寄贈件数・価格(件・千円)	10 件	7 件 37,250 千円					
		14 公開・貸し出した展示会における学芸員のレポート【資料1-4】	-	-					
B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します	1 質の高い芸術教育と普及のプログラムを開発します	15 学校教育と連携した取組回数(件)	250 件	170 件	【成果】 出張授業での鑑賞教育及びアートカードの貸出・利用において、一定の評価を得ることができた。 ・講演会の開催件数及び学芸員のフロアレクチャー等の数の内訳の中で、美術講座、フロアレクチャー、展示関連普及事業は、当初の目標回数を上回った。 ・「地域住民等と連携した取組数」では、昨年度同様6件を実施。「つながるくさなぎ」や「一般社団法人草薺カルテッド」に参加し、「まちづくりビジョン」の策定に積極的に取組んだ。 ・「館内空間を生かした催事の件数・参加者数」では、目標の5,000人を大きく超え、8,871人の参加者を得た。 【課題】 「学校教育と連携した取組回数」は、目標を達成できなかった。学校側の授業時間等の関係で、美術館での十分な鑑賞・体験時間が取れないこと、アートカードの認知度を高めることが今後の課題である。 ・講演会の開催件数及び「学芸員のフロアレクチャー等の数」は、目標を下回った。オリエンテーション数の減少によるところが原因であるが、今後も基本的な事業を継続しつつ、あわせて企画展等に関連した多彩なプログラムを工夫して実施することが課題である。 ・今後は、中長期的な視点に立ち、草薺地域を中心とした「まちづくりビジョン」の策定に積極的に参加していく必要がある。	公立の学校では美術館に行く時間がほとんど取れないので、県内の特色ある私立の学校にもう少し働きかけると効果が出るのではないかと(神山) ・教育委員会と連携してアートカードの貸し出し等の活動を工夫してはどうか。(櫻井) ・世界のビジネスマンが今アートの勉強中。ビジネスマンをターゲットにしたギャラリートークなどを行ってはどうか(山口) ・夏の期間中に子連れのお客でも落ち着いて過ごせる、未就学児のための切り切った展示会に挑戦してはどうか。(山口) ・学芸員を会社の研修プログラムに派遣し講演を行い、マーケットの開拓をしてはどうか。(櫻井)			
		16 鑑賞系プログラム数(件)	15 件	18 件					
		17 コレクションを活用したプログラム数(件)	15 件	18 件					
		18 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【資料1-4】	-	-					
	2 講座・講演会・シンポジウム・演奏会等を充実します	19 講演会等の開催回数(回)	140 回	130 回					
		20 学芸員のフロアレクチャー等の回数(回)	90 回	71 回					
	3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します	21 地域住民等と連携した取組回数(件)	4 件	6 件					
		22 館内空間を生かした催事の件数・参加者数(件・人)	90 件 5,000 人	56 件 8,871 人					
		23 地域空間、住民等と連携した取組に関する職員レポート【資料1-4】	-	-					
		24 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合(%)	70.0 %	74.9 %					
C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます	1 広報戦略を策定し、広報の質を高めます	25 ホームページのアクセス件数(件)	600,000 件	950,461 件	【成果】 「美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合」及び「ホームページのアクセス件数」は、目標を達成し上ることができた。ホームページのリニューアルとSNS等による丁寧な発信による成果である。 ・「観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数」では、草薺商店会との協働や「一般社団法人草薺カルテッド」等への参加・協働により、目標の5件に対して、9件の実績を得た。 ・リニューアルされた草薺駅の南口は、「県立美術館」の名称がつけられ、この場所に新たに美術館の情報表示を設置することができたことは、広報効果として評価できる。 ・「ロダン・ウィーク」は、今年度も継続し、また開催中にはロダン館と収蔵品展を無料としたことで、広報効果が生じ、4日間で1,400人の来館者数を得た。 【課題】 「ホームページの満足度」は目標を達成できなかった。さらなる改善が課題である。また、SNSを3つ運用しているため、目的に応じた機能分担が課題である。 ・ホームページ内に館蔵品データベースと検索機能を搭載し、利用者に対して館蔵品を普及する試みを行なった。今後は、電子アーカイブについて、他館の先進事例等も研究し、更なる検索機能やサテライト展示機能の強化を図ることが課題である。 ・今後は、草薺地域や観光業界と連携し、静岡県内外の観光客を誘致する取組を積極的に進めることが課題である。 ・「ロダン館の入場者数」は、目標を下回った。ロダン館のみの開館の場合や無料観覧の広報・周知方法については、今後も検討する必要がある。	・Facebookのハッシュタグや、Instagramの更新を増やしたほうがよい。(山口) ・招待券を配布する割合を、企業を減らし教育機関に送ったほうが、実際に来館してくれるのではないかと。(山口)			
		26 ホームページの満足度(%)	75.0 %	70.0 %					
		27 観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数(件)	5 件	9 件					
	2 観光業界等と連携した新たな広報チャンネルの開拓に取り組めます	28 広報手法における新たな取組状況に関する美術館職員のレポート【資料1-4】	-	-					
		29 ロダン館の入場者数(人)	60,000 人	42,361 人					
	D 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めています	1 館内施設を充実させ、満足度を高めます	30 美術館利用者数(人)	231,721 人			160,738 人	【成果】 展示室湿度環境改善に関する工事や展示室内照明をLED照明に更新する工事等、作品及び来館者の鑑賞環境改善のために必要な工事を行なうことができた。 ・「レストラン・カフェの満足度」は、新たな委託業者になってから、店内やメニューもリニューアルされ、サービスの改善につながった。 ・「ミュージアムショップに対する満足度」は、昨年度よりも向上し、目標を超えることができた。 ・「来館者のアクセス満足度」は、目標に及ばなかったが、自家用車での来館については、昨年度の数値を上回った。 【課題】 「美術館利用者数」は、目標を達成できなかった。今後も、引き続き、「県民に愛される美術館」を目指して、工夫をしていく必要がある。 ・「レストラン・カフェに対する満足度」は、新たな委託業者によるサービスのリニューアルを図ったが、数値は昨年度よりも低下し、目標にも及ばなかった。今後も、接客やメニューの改善等を図る必要がある。 ・「来館者のアクセス満足度」は、目標を達成できなかった。駐車場の混雑緩和や公共交通機関の本数の確保等、今後も改善に努める必要がある。 ・中長期的な視野に立った美術館及びその周辺の大規模改修計画について継続して検討を進めることが課題である。	・博物館法で示されている近代のミュージアムというものと今の社会が求めているものがずれてきている。美術館がストーリーを作るのではなく、利用者側が自由にアプローチしてもらおうようにして、今の社会にフィットしていく。例えば県民ギャラリーをやめて、他の施設に移動させ常設展のスペースにするなど、大胆な発想が必要である。(村田) ・レストランのページをクリックすると、業者のページに飛ぶのでワンクッション置いたほうがよいのではないかと。(田中)
			31 鑑賞環境に対する満足度(%)	90.0 %			90.6 %		
			32 レストラン・カフェに対する満足度(%)	75.0 %			71.1 %		
			33 ミュージアムショップに対する満足度(%)	85.0 %			95.2 %		
2 周辺環境やアクセスの利便を向上させます		34 来館者のアクセス満足度(%)※再掲 ※上段:公共交通機関利用、下段:自家用車利用	80.0 % 80.0 %	72.9 % 70.2 %					
設置者の取組	取組の状況		第三者評価委員意見						
	<ul style="list-style-type: none"> 美術館企画展等の広報において、年間6回、報道機関への情報提供を行った。 東京事務所や県観光協会へ展示会のチラシの配布した。 美術館企画運営会議に文化政策課長又は課長代理が出席して情報共有を図った。 月1回開催された美術館の広報委員会に担当職員が出席し、「県民だより」等の広報媒体の情報共有を図った。 経年化に伴い不具合が生じている施設・設備の更新を計画的に実施している。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標に対して年間どのくらいの頻度でチェックをして対策をしているのか。館長と学芸員のコミュニケーションがないと、個々の目標は達成できても全体の数字は達成できない。 美術館のPDCAを回していくためには、進捗状況の管理をしっかり行わないと世の中のスピードについていけない。民間と同じようにはできなくても美術館の経営用にこのシステムをブラッシュアップする必要がある。(櫻井) 資料Dに前年度の総括的な収入・支出を載せてもらえると美術館の全体の話ができる。(櫻井) プロジェクトチームを作って美術館の中期計画を作ったほうがよいのではないかと(櫻井) 						

<2-1 基本方針別>

基本方針		A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します									
計画(P)			実施状況(D) H31.3.31現在					評価(C)			
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価					
1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します	1 展覧会の来館者数(人)	108,000 人	75,750 人	三谷	◆は、自主企画・企画参加型展覧会。 ※収蔵品の公開件数は、 ・収蔵品展(7室+名品コーナー) <191件> ・企画展「幕末狩野派展」<17件> ・企画展「めがねと旅する美術」展<15件> ・企画展「1968年 激動の時代の美術」展<7件> ・他館への貸出件数 <78件>を合計したものである。	【成果】 ・子どもたちの美術館デビューの機会とすることも視野に入れた「安野光雅のふしぎな絵本展」、単独企画あるいは共同企画というかたちで学芸員の研究成果を活かした「幕末狩野派展」および「めがねと旅する美術」展、「1968年 激動の時代の美術」展のように、本年度は美術館に来慣れていない層から専門家にいたるまで、幅広い層の関心を喚起するような展開となった。 ・「安野光雅のふしぎな絵本展」では、普段は美術館に足を運ぶことの少ない幼い子供連れのファミリー層にも美術館に親しんでもらうことを目的とした。その結果、本年度の未就学児来館総数の約8割、小中生来館総数の約7割は同展の来館者であり、当初の目的は果たしたものと考える。 ・「幕末狩野派展」は、学芸員の研究成果を発表するという点でも、所蔵品を活用しその意義への理解を深める試みという点でも、美術館活動における一定の意義を果たすものであった。 ・「めがねと旅する美術」展は、他館と直接協議の上成立した共同企画展であり、他館との協働により学芸員の知見を深め、美術館活動に広がりを与える点で、意義と役割を果たした。 ・「1968年 激動の時代の美術」展は、資料や同時代証言に則り、近い過去を歴史化する作業を行った点で、美術館の果たすべき役割の一つを適切に担ったものと考えられる。					
	安野光雅のふしぎな絵本展(44日間)	20,000 人	28,772 人								
	◆幕末狩野派展(42日間)	18,000 人	9,712 人								
	◆めがねと旅する美術展(54日間)	20,000 人	10,013 人								
	◆1968年 激動の時代の美術展(37日間)	18,000 人	7,880 人								
	ふじのくに芸術祭	10,000 人	4,260 人								
	収蔵品展	12,000 人	12,815 人								
	移動美術展	10,000 人	2,298 人								
	2 自主企画・企画参加型の展覧会の回数(回)	3 回	3 回								
	3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)	88.0 %	87.9 %								
4 展覧会における新規来館者の割合(%)	20.0 %	22.1 %									
5 展覧会に対する外部評価【資料1-4】	-										
2 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します	6 調査研究の発表回数(回)	15 回	10 回	三谷	【成果】 ・館長出席のもと、学芸員による研究会をほぼ毎月のペースで実施し、コレクションについての研究を深めた。 ・7については6と同じ。 ・8については、以下の3件。①静岡大学との協働によるロダン館活用授業への協力②静岡県博物館協会事務局としての活動③静岡県立大学の展覧会見学授業の実施等、当館だけではできない事業を推進することができた。 ・9については、学芸員の調査研究に対して一定の成果が評価され、今後の活動の指針として活用されている。						
	7 内部セミナー・研究会・研修の回数(回)	14 回	10 回								
	8 他の美術館や大学と連携した取り組み件数(回)	3 回	3 回								
	9 調査研究に関する外部評価【資料1-4】	-		村上							
3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します	10 収蔵品展の観覧者数(人)	12,000 人	12,815 人	泰井	【成果】 ・日頃の学芸員の研究をもとに内容の充実した特色のある収蔵品展を開催した。 ・日本画、日本洋画、西洋美術の各ジャンルの優れた作品が購入することができ、また日本画、現代美術の作品の中でコレクション・ポリシーに相応しい作品の寄贈を受けることができた。 ・寄贈が、質と量ともに充実してきており、当館コレクションの核となりつつある。						
	11 収蔵品の公開件数(件)	300 件	308 件								
	12 作品購入件数・価格(件・千円)	4 件 10,000 千円	4 件 9,305 千円								
	13 作品寄贈件数・価格(件・千円)	10 件	7 件 37,250 千円								
	14 公開・貸し出した展覧会における学芸員のレポート【資料1-4】	-				南					

<2-1 基本方針別>

基本方針		B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します				
計画(P)			実施状況(D) H31.3.31現在		評価(C)	
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 質の高い芸術教育と普及のプログラムを開発します	15 学校教育と連携した取り組み数	250 件	170 件	西島	※プログラムの内訳は、別紙。	【成果】 ・出張授業において、学校側と内容検討の上、発達に応じた授業をすることができた。様々な校種で鑑賞教育分野での協力を求められることが増えている。 ・教員研修等で紹介してきたため、当館アートカードの認知度が高まってきており、貸出数も多い。 【課題】 ・学校教育と連携した取り組み数は、目標を達成できなかった。学校側が在館時間を短く設定しているため、鑑賞系プログラムへの参加を断念する学校が多い。学校の多忙化により来館困難な状態であることが推測される。 ・2クラス以上の団体観覧の場合、一斉にプログラムを実施できないため参加を断念する学校が多い。 ・アートカードの認知度は高まってきているが、図工・美術研修を選択しなかった教員には未だ認知度は低い。また、西部・東部方面は遠方を理由に借りにくさを感じているとのこと。広報と貸し出し方法の工夫をする必要がある。
	16 鑑賞系プログラム数	15 件	18 件			
	17 コレクションを活用したプログラム数	15 件	18 件			
	18 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【資料1-4】	—	別添			
2 講座・講演会・シンポジウム・演奏会等を充実します	19 講演会等の開催件数	140 回	130 回	石上	※数値内訳 No.20＝美術講座(7回)＋フロアレクチャー(18回)＋オリエンテーション(30回)＋出張美術講座(5回)＋展示関連普及事業(11回) No.19＝上記＋特別講演会・シンポジウム(7回)＋ボランティア等によるギャラリートツアー(50回)＋演奏会(2回)	【成果】 ・2つの指標はいずれも目標値を下回った。No.20「学芸員のフロアレクチャー等の数」については、オリエンテーションの減少によるところが大きい。 ・美術講座、フロアレクチャー、展示関連普及事業は、当初の目標回数を上回った。No.19「講演会等の開催件数」は、No.20にその他の項目を足し込んだものであり(左欄参照)、No.20の結果を受けて、こちらも目標値をやや下回る結果となった。 ・映画製作者の舞台挨拶を伴う『ディヴィノ・インフェルノ—そしてロダンは《地獄の門》を創った』特別上映会や、浅間神社大拝殿における「幕末狩野派展」関連天井絵特別鑑賞会等、これまでにない新たな試みをし、好評を得た。 【課題】 ・今後も講演会や美術講座、展示室でのレクチャー等の基本的な事業を継続する。あわせて企画展等に関連した多彩なプログラムを工夫して実施する。 ・オリエンテーション等、依頼にもとづいて実施する項目は目標設定が難しいが、丁寧な分析をもとに適切な数値設定を心掛ける。
	20 学芸員のフロアレクチャー等の数	90 回	71 回			
3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します	21 地域住民等と連携した取組数	4 件	6 件	松下	・地域住民と連携した取組に関する詳細は、【定性レポート】を参照。 ・館内空間を生かした催事については、本館エントランスを使用した「ちょこっと体験」実施、「めぐるりアート」の展示、ボランティアによるロダングalleryツアーを実施した。 ・また、ロダンウィークにおけるロダングallery内コンサート参加者も計上する。	【成果】 ・地域住民と連携した取組としては、草薙商店会主催「つながるくさなぎ」に参加し、夏フェス・冬フェスにて実技体験講座を開催するなど、目標数を超えることができた。 ・「一般社団法人草薙カルテッド」(草薙駅周辺の「産官学民」が一体となり、草薙駅周辺地区のまちづくりの検討を行ってきた「草薙駅まちづくり検討会議」は、平成29年2月に「一般社団法人草薙カルテッド」に引き継がれた。)に継続して参加し「まちづくりビジョン」の実現化のための検討をした。 ・県立大学・県立図書館・県立美術館等のムセイオン静岡参加施設を紹介する「ふじのくに文化の丘フェスタ2017」に参加し、静岡県立大学等との共同事業を引き続き実施した。 ・館内空間を生かした催事は、目標人数を大きく超えることができた。ちょこっと体験1,355人、めぐるりアート7,253人、ボランティアによるロダングalleryツアー480人、ロダングallery内コンサート400人の参加者を得た。 ・有度山フレンドシップ協定参加施設による「ふじのくにしずおか観光大商談会」において、有度地域の施設が一体となった誘客活動を継続して実施した。 【課題】 ・地域住民と連携した取組については、美術館を核とした地域づくりに努め、様々な取組を定着させるべく努力していくことが課題である。 ・ロダングallery内部空間を利用した催事では、他の観覧客が観覧制限を受けたり、ギャラリートツアーに参加していない観覧客が、コンサートの音楽やボランティアの解説を「雑音」と受け止め、苦情が発生した。催事と観覧客の調整が重要な課題となる。 ・有度山フレンドシップ協定参加施設により、地域全体のツアーガイドブック作成を検討しているが、予算の都合上進捗がみられない。
	22 館内空間を生かした催事の件数・参加者数	90 件 5,000 人	56 件 8,871 人			
	23 地域住民等と連携した取組に関する職員レポート【資料1-4】	—	別添			

<2-1. 基本方針別>

基本方針	C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます
------	---------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H31.3.31現在			評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 広報戦略を策定し、広報の質を高めます	24 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合	70.0 %	74.9 %	浦澤	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会・イベントについての情報や来館案内をホームページに掲載。 ・Facebook、Twitter、Instagramの利用。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでは、各展覧会およびイベントについて情報発信を行っている。2017年～18年にかけて行われたリニューアルにより、視認性やスマートフォンにおける操作性が大幅に向上した。例年多くのアクセス数を記録しており、館の情報提供に寄与している。 ・SNSで発信する情報は、より広く、より細やかなものを中心。イベントの申し込み方法や応募状況等を随時発信し、来館者へのサービスの向上に寄与するとともに、展覧会・イベントの開催の様子を、3つのSNSを併用し、投稿に相応しい時期を選ぶことで、幅広い層に鮮度の高い情報を発信し続けている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSについては、3つも運用しているため、目的に応じた使い分けや、館内での作業の分担が懸案となっている。 ・ホームページ内に館蔵品データベースと検索機能を搭載し、利用者に対して館蔵品を普及する試みを行なった。今後は、電子アーカイブについて、他館の先進事例等も研究し、更なる検索機能やサテライト展示機能の強化を図ることが課題である。
	25 ホームページのアクセス件数	600,000 件	950,461 件			
	26 ホームページの満足度	75.0 %	70.0 %			
2 観光業界等と連携した新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます	27 観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数	5 件	9 件	松下	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携の取組 「有度山フレンドシップ協定」 「静岡大学ロダン館ギャラリーートーク」 「草薙商店会等との協働」 「一般社団法人 草薙カルテッド」 「企画展における企業との連携」 「ムセイオン静岡」 「めぐりアート静岡」 「JR東海さわやかウォーキング」 「ふじのくに文化の丘フェスタ2017」 <p>詳細は【定性レポート】を参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報手法における新たな取組状況に関しての詳細は、【定性レポート】を参照。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草薙商店会との連携は、「つながるくさなぎフェス」や「ロダン・ウィーク」での「丘の上のロダンマルシェ」等の協働を実施した。 ・「一般社団法人草薙カルテッド」によるJR草薙駅周辺地区のまちづくりの検討を継続した。 ・草薙駅は、平成30年度末にリニューアルされ、草薙駅南口には「県大・美術館口」の名称がつけられたことは、広報効果として大きな成果である。また、この場所に、新たに美術館の情報掲示板を設置できた。 ・美術館による単独の広報は、HPやSNS、ポスター掲示やチラシの配架を積極的に実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携は、美術館単独では、静岡県外の誘客を図ることが困難であるため、今後も「有度山フレンドシップ協定」施設やJR東海、ムセイオン静岡等と協働していくことが重要である。 ・企画展ごとに新聞社やテレビ局等のマスコミとの連携ができれば効果的な広報が実施できるため、今後も積極的に取組むことが課題である。
	28 広報手法における新たな取組状況に関しての美術館職員のレポート【資料1-4】	-	-			
3 ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします	29 ロダン館の入場者数	60,000 人	42,361 人	松下	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月末まで改修工事のため本館は休館したが、ロダン館は開館した。本館企画展が開催されていない間は来館者が激減すると見込まれるため、ロダン館のみの開館でも誘客を図れるような広報に努めた。 ・また、「ロダン・ウィーク」開催期間中のイベント参加者を「観覧」に誘導するための方策を検討した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館を休館し、ロダン館のみ開館としたため、広報に努めた。 -本館正面玄関は閉鎖しロダン館1階から入館、仮設券売所を設けた。 -通常の経路・入口と異なるため、案内看板、入口の明示等のための特別ディスプレイを製作した。 -ロダン館の開館を企画展と同様のレベルで広報する。(駅前看板、プロムナード看板、チラシ、ポスター等) -チラシ、ポスターは公的機関、草薙商店会等に配架を依頼した。 -広報物には、7月中旬まで本館は工事休館であることを明示した。 ・「ロダン・ウィーク」開催中は、ロダン館・収蔵品展の観覧料を減免し、無料観覧としたことで、4日間で約1,400人の観覧を得た。今後も継続する予定である。

<2-1 基本方針別>

基本方針	D. 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めていきます
------	-------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H31.3.31現在			評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 館内施設を充実させ、満足度を高めます	30 美術館利用者数	231,721 人	160,738 人	伊藤	平成30年度は次の工事(小規模を除く)を行った。 ・本館展示室内装断熱改修工事 ・本館展示室他照明改修工事 ・ロダン館冷温水発生器等更新工事	【成果】 ・特記事項に記したとおり、展示室温湿度環境の改善等に向けた本館展示室内装断熱改修工事、展示ケース内照明等をLED照明に更新する本館展示室他照明改修工事及びロダン館冷温水発生器等更新工事を施工した。その他必要な改修工事等を実施し、良好な施設・設備の維持管理に努めた。 ・屋外の園地緑地環境についても、計画的な植栽・池の管理等、委託業者と連携して良好な環境整備に努めた。 ・「ミュージアムショップの満足度」は95.2%で、昨年度の90.5%から向上し、目標(85.0%)も上回った。特に企画展に合わせて商品のレイアウトを工夫し、お客様の満足度向上に努めた。 【課題】 ・当館は開館から30年以上が経過し、経年劣化による建築及び各設備の不具合が生じている。このため中長期的には、建築及び各設備の大規模改修を計画的に行なう必要がある。短期的には劣化診断結果等をもとに、大規模改修計画の検討状況を踏まえつつ、緊急度の高い施設・設備の修繕等を計画的に実施する。 ・「レストラン・カフェの満足度」は、昨年度の73.2%から今年度は71.1%に低下し、目標(75.0%)を下回った。 ・レストラン・カフェの運営については、平成29年4月より新たな委託業者に営業を委託している。美術館レストランとして、質の高いサービスの提供ができるよう、委託業者とのコミュニケーションを密にし、お客様のニーズの把握に努める。
	◆展覧会観覧者数	108,000 人	75,750 人			
	◆移動美術展	10,000 人	2,298 人			
	◆教育普及プログラム参加者数	24,721 人	22,092 人			
	◆ミュージアムコンサート入場者数	200 人	200 人			
	◆県民ギャラリー入場者数	40,000 人	28,058 人			
	◆講堂入場者数	8,000 人	6,452 人			
	◆レストラン・カフェ利用者数	20,000 人	14,146 人			
	◆ミュージアムショップ利用者数	20,000 人	11,311 人			
	◆図書閲覧室利用者数	800 人	431 人			
31 鑑賞環境に対する満足度	90.0 %	90.6 %				
32 レストラン・カフェに対する満足度	75.0 %	71.1 %				
33 ミュージアムショップに対する満足度	85.0 %	95.2 %				
2 周辺環境やアクセスの利便を向上させます	34 来館者のアクセス満足度 ※上段:公共交通機関利用 下段:自家用車利用	80.0 %	72.9 % 70.2 %	伊藤	【成果】 ・当館を利用する際の交通手段で最も多い「自家用車でのアクセス満足度」は72.9%と目標の80.0%には達しなかったが、昨年度の62.6%から向上した。来館者の多い企画展やロダンウィーク等のイベントの際には、交通渋滞を招かないよう隣接する県立大学の職員駐車場の借用、交通誘導員の配置等の対応を行った。 【課題】 ・自家用車・公共交通機関ともアクセス満足度は目標を下回った。自家用車利用者のアクセスについては、敷地内に無料の駐車場があるものの、収容台数が約400台と限られている。そのため、近くの駐車場から順次満車になり、駐車できるまでに時間がかかるうえ、美術館までの徒歩区間が長くなってしまうことがアクセスに満足できない要因になっていると考えられる。 ・公共交通機関を利用される場合については、お客様からのアクセスに関する問合せに対して、「JR草薙駅から運行する100円バスを利用するのが便利であること」を引き続き周知するよう配慮しているものの、来館者の多い日曜日と祝日の運行が1時間間隔であることが影響し、満足度を下げる結果となっていると考えられる。今後はバス会社への増便等の協力要請を含め対策を検討する必要がある。	

資料編

展覧会に関する自己点検評価表（平成 30 年度）

- 1 「安野光雅のふしぎな絵本」展
- 2 「幕末狩野派」展
- 3 「めがねと旅する美術館」展
- 4 「1968 年激動の時代の芸術」展

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	安野光雅のふしぎな絵本展		
期 間	7月14日(土)～9月2日(日) (44日間)		
場 所	静岡県立美術館第1～6展示室		
担当 者 名	三谷理華		
学芸員の企画への参加の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
マスコミ等による共催の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	巡回の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
記入日	企画	2018年 5月 31日(木)	
	実績	2018年 11月 29日(木)	
	企画	実績・検証	
目的・内容	<p>【内容】 画家、絵本作家、装丁家など、半世紀以上にわたり多彩な活動続ける安野光雅(1926-)。津和野町立安野光雅美術館の全面協力の下、「ふしぎ」をテーマに開催される本展では、想像力にみち、幅広い学識と豊かなユーモアをたたえた絵本原画104点を中心に展示し、安野のあふれるような空想の世界を紹介する。</p> <p>【目的】 安野の絵本デビュー作である『ふしぎなえ』をはじめ、『もりのえほん』や『ABCの本』、科学や数学をテーマにした『天動説の絵本』、『かぞえてみよう』などの原画からは、綿密な描写のもたらす美しさのみならず、そこに仕込まれた楽しい仕掛けを発見する喜びをも味わうこともできる。これにより、作品をじっくりと観察する楽しみを伝えるとともに、日本の童画の質の高さを再確認できる場としてもいく。</p>		
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	<p>【ねらい】 ・著名な絵本作家の作品展示という親しみやすい展覧会の性格を活かし、普段はあまり美術館へ足を運ばない層の来館を促す機会とする。 ・綿密な描写をみせる安野光雅の初期絵本原画の展覧を通じ、作品をじっくりと観察する楽しみを伝える。 ・夏休み期間中の開催であることから、ワークショップ開催にも力点を置き、作品世界への多様なアプローチを示す。 ・展覧会の最後に読書コーナーを設置し、生活の中に存在する「絵本」というアートの再認識を促す。</p> <p>【ターゲット】 ・静岡県内在住のファミリー層 ・絵本愛好者</p>		
指標(数値目標)	<p>観覧者数見込 20,000人</p>		
収支計画	<p>観覧者数 28,772人</p>		
広報戦略 主な取組	<p>・市内書店での安野光雅著作物フェアの開催。 ・静岡市内児童クラブ・絵画教室等への追加広報。 ・静岡市内および近郊のカルチャー・スクール等への追加広報。 ・協力に同意していただいた学校教員の方々を通じての児童・生徒への観覧推奨。</p> <p>・遠鉄文字情報版・地デジデータ放送(8/20-26) ・松坂屋静岡店に大型懸垂幕設置(7/14-9/2) ・江崎書店、谷島屋、吉見書店、戸田書店で会期中特別フェア開催 ・「静岡こども美術の会(県内26園加盟)」、「静岡私立幼稚園協会(県内35園加盟)」を通じ、加盟園にポスター・チラシ送付 ・県内カルチャースクール(9件)、生涯学習センター(13件)にポスター・チラシ送付 ・児童クラブ(79クラブ)にポスター・チラシ送付 ・こどもクリエイティブタウンま・あ・るでの出張ワークショップ開催</p>		
自己評価 今後の課題	<p>・夏休み期間にファミリーでの来館を促すことが目的の一つであったが、達成できたと考えられる。 ・絵本愛好者層にも美術館に足を向けていただくことを目的の一つとしていたが、達成できたものと思われる。 ・関連事業として各種ワークショップも積極的に展開し、各回満員の好評を博した。特に未就学児参加可能なワークショップは、夏休み期間中ということもあり、大変好評であった。 ・未就学児向けワークショップのニーズが改めて認識されたが、幼児を安全にお預かりするには手間と人手も通常よりかかることもまた実感された。今後ワークショップを企画する際の参考としていきたい。</p>		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	幕末狩野派展
------	--------

期間	9月11日(火)～10月28日(日) (42日間)
----	---------------------------

場所	静岡県立美術館第1～6展示室
----	----------------

担当者名	野田麻美
------	------

学芸員の企画への参加の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
マスコミ等による共催の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巡回の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

記入日	企画	2018年5月28日(月)
	実績	2019年1月23日(水)

企画		実績・検証	
目的・内容	<p>2018年は、明治維新によって新しい時代を迎えた1868年から150年という節目の年に当たり、全国各地で記念イベントが企画される。本展では、明治150年を記念して、明治維新を境に日本絵画史が大きく転換する前の状況に注目し、幕末に活躍した狩野派の絵師たちを紹介する。</p> <p>時代劇や大河ドラマなどで人気のある、幕末の動乱期に焦点を当て、時代が生んだ退廃美、尊皇攘夷活動の影響を受けた王朝趣味的な作品などを通じ、明治維新前夜の幕末の絵画の個性、きらめきを紹介する。また、近年数多くの入館者を動員した幕末狩野派の個性的な絵師たちの作品も展示し、そのルーツをたどる。さらに、有名な大作・傑作以外にも、新出作品や初公開作品を多数展示する。</p> <p>当館では、開館以来、江戸時代の狩野派の作品を収集し、全国随一のコレクションを形成してきた。長年にわたる研究成果を活かし、当館の特色を打ち出した明治維新</p>	<p>【研究活動評価委員会からの意見(要約)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 館蔵品を有効に使うとともに、新資料を提示し、充実した内容となった。幕末狩野派の様式展開をたどろうとした試みを評価したい。(榊原委員) 図録の内容は充実しており、当該分野における基本文献となるだろう。ただし一般の鑑賞者にここまでの図録が必要か疑問が残る。(榊原委員) 今回の展覧会では栄信・養信が中心であったが、典信の再評価、養信の真景図の検討を期待したい。(榊原委員) 幕末狩野派を新しい視点から捉えようとする野心的な企画展で、新出作品をよく集めており、作品は完成度の高いものが多い。(金原委員) 図録は充実しているが、アカデミックすぎるくらいがあり、もう少しコンパクトな冊子形式が望まれる。(金原委員) 狩野派を収集している県立美術館でなければ成立しなかった展覧会である。見学者に若い世代が少ないことが残念である。(金原委員) 	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕末の歴史や文化ファン、江戸絵画ファンは多いが、「幕末」をキーワードにした絵画展は少ない。幕末の絵師を特集することで、幕末の歴史や絵画に関心のある人々の潜在的なニーズを開拓する。 近年、幕末に活躍した狩野派の作品は注目されつつあるが、未だ活動の全容は不明である。本展では、東西画壇の幕末狩野派作品の特徴を対比的に捉えることで、近代日本画の母胎となった幕末の江戸狩野派作品を再評価する。 <p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内を中心とした中高年層 芸術のほか幕末期の歴史に関心の高い人々 県内外の江戸絵画ファン 	<p>【アンケートにみる特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女比は約4:6(男:女)で、庭園画展とほぼ同様である。 50代がメイン層(1/4程度)であった。庭園画展では70代が2割程度でメイン層であったが、70代が1割程度減り、その分1割程度50代が増えている。 通常、新聞・テレビを見て展覧会に来る入館者が多いが、新聞・テレビにも男女平均約5%と非常に低い。ポスターを見て来た人が20%程度で非常に多い。ポスターのインパクトの大きさが効果的な広報につながったようである。 見ごたえがあった、迫力があつたなど、作品に関してはおおむね好評であるが、キャプションが難しい、白黒逆で読みづらいという意見が寄せられた。 狩野派作品が展示されたことに対するコメントが多く、当館の長年の活動のなかで狩野派ファンが固定客として存在している可能性を感じた。 	
指標(数値目標)	観覧者数見込 18,000人	観覧者数 9,712人	
収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 歳出 14,336千円 歳入 9,924千円 特財率 69.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 歳出 12,400千円 歳入 5,602千円 特財率 45.2% 	
広報戦略 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 幕末の絵画の魅力を分かり易く伝える印刷物や、テレビCMによる広範な宣伝によって、幕末ファン・江戸絵画ファンに、幅広く展覧会の魅力を訴える。 「明治150年ロゴマーク」を使用し、全国の明治150年記念事業のイベント告知に参加するなど、明治150年記念事業のイベントとして、幅広い周知を狙う。 全国で同時期に開催される明治150年記念の展覧会の担当者などと情報交換を行い、各館でチラシなどの配架、展覧会周知で連携をはかる。 県内の明治維新関連の施設、下田など幕末期に重要な舞台となった土地などで広報を集中的に行い、県内の明治150年記念事業と連携をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター、チラシ等印刷物のインパクトの強いデザインが話題を呼び、江戸絵画展としては20代などの若い層が比較的多く来館し、新規顧客獲得に結びついた。 同時期に明治150年記念事業として開催されていた展覧会にチラシ配架などで相互協力をしたため、展覧会の周知を幅広く行うことができた。 浅間神社との連携ができ、コラボイベントを開催したことで、市内での広報が幅広く行えた。 	
自己評価 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 当館で久々に行う狩野派展ということで、業界だけでなく、一般の狩野派ファンからも注目を集めることができた展覧会であったと思われる。チラシ・ポスターでは、幕末の狩野派＝つまらないという業界や一般的な見方をくつがえそうと、派手でインパクトの強いデザインとしたが、それが話題になり、集客にも効果的であった。また、明治維新150年記念の企画として、他館との連携を行ったことが、全国紙の記事などで紹介され、時宜にかつた展覧会となったように思う。 展覧会の内容に関しては、新出作品が半数以上を占め、幕末狩野派の知られざる全貌を示した点、従来等閑視されてきた、近代日本画へと続く幕末狩野派様式の特徴を指摘し、その史的意義を明らかにした点が研究者からの評価につながったと考えられる。一般の客層にも、クオリティーの高い作品が集まっている点が高評価であったが、研究者、一般客ともに、図録やキャプションが難解であるという意見が寄せられた。今後、江戸狩野派の作品の魅力を分かり易く見せる努力も必要であると感じた。 イベントの多い展覧会であったが、浅間神社と県内の初コラボ事業は、浅間神社の広報ネットワークを使わせていただいたことで、定員オーバーとなる人気で、広報にも役立つ好企画となったように思う。ただ、テレビ、新聞の広報があまり効果的ではなかったことがアンケートからうかがわれ、今後の広報活動に関する課題を残した。 		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	めがねと旅する美術展
------	------------

期間	11月23日(金・祝)～1月27日(日) (54日間)
場所	静岡県立美術館第1～6展示室

担当者名	村上敬
------	-----

学芸員の企画への参加の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
マスコミ等による共催の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巡回の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

記入日	企画	2018年5月15日(火)
	実績	2019年3月25日(月)

企画		実績・検証	
目的・内容	<p>・「めがね」をひとつのシンボルとして展覧会のテーマに据え、視覚芸術について広く考察する展示を目指す。</p> <p>・幕末明治期の西洋絵画や蘭書蘭学の影響による日本美術の変容を、「浮絵」「のぞきからくり」といったモチーフによってふりかえる。</p> <p>・加えて、その後の近代美術、現代アートやサイエンスにおけるAR/VRといった視覚体験の隆盛まで問いかけを延長し、現代の来館者にもリアリティのあるテーマとして捉えていただけるように工夫する。</p>	<p>【研究活動評価委員会からの意見(要約)】</p> <p>・空間の伸縮変化が、実は非常に古い時代から試みられてきたことを想起させますし、今後のアートのコンセプトとしての可能性も豊かな領域であることを気付かせてくれる大変に魅力的な展覧会と思いました。／構想の大きさに展示スペースや品目が追いつかなかったのではと感じたところが、何ヶ所かあったように記憶しています。もっと作例があって、そういうものも見たいと思いました。バルトルシャイテスのアナモルフォーズなども参考になるのかも？(坂本委員)</p> <p>・現実をリアルにとらえるための技術や技法が求められてきたことが、それらの技術や技法に慣らされた身体をつくってきたことにも気づかされる企画であった。／本展覧会の各章でテーマとされたことをさらに深める企画も可能ではないか。一方で、本企画の根底のテーマである「ものをよく見ること」の大切さを、より直接的に伝える企画も望ましい。(山梨委員)</p>	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	<p>・「ねらい」は上記「目的・内容」に準ずる。幕末期の視覚体験が現代のわれわれにも結びついているテーマであることを楽しみつつ実感していただくことを目指す。</p> <p>・近現代美術全般に関心のある層や現代アート、視覚文化・サブカルチャー一般に関心のある層を主なターゲットとする。</p> <p>・年齢層としては10代から40代メイン。男女比は半々か。</p>	<p>【アンケートにみる特徴】</p> <p>・男女比が拮抗するのではないかという予想に反し、一般的な美術展のような男女比(女性6割・男性4割)になった。「ロボットと美術」「美少女の美術史」に比してサブカルチャー色が薄くなったためと思われる。</p> <p>・年齢層は10代、20代、30代、40代、50代、とほぼ僅差で分け合う感じとなった。ただし、60代以上は10%以下とかなり少ない。</p> <p>・自由意見としては、映像体験作品が多かったため楽しく観られたという前向きな意見とともに、美術と関係ないものは出さないでほしい(70代男性)、美術と言うより博物的(50代男性)、映像作品が長い(複数)、展覧会名から内容が想像しにくい(複数)といった厳しい意見もあった。</p>	
指標(数値目標)	観覧者数見込 20,000人	観覧者数 10,013人	
収支計画	<p>・歳出 14,429千円</p> <p>・歳入 10,938千円</p> <p>・特財率 75.8%</p>	<p>・歳出 13,517千円</p> <p>・歳入 5,307千円</p> <p>・特財率 39.3%</p>	
広報戦略 主な取組	<p>・名義共催相手であるテレビ静岡のCM等を利用した広報浸透を目指す。</p> <p>・先行会場の青森県立美術館・島根県立石見美術館の広報に相乗りする形で、3館全体としてのウェブ、雑誌取材等の盛り上げを狙う。</p>	<p>・テレビ静岡のCMやウェブ広報等でそれなりの拡散をすることができたと考えられる。</p> <p>・総務担当者のSNS発信や会期中の新聞掲載(日経、朝日、毎日)、テレビでの出品作品放映(テレビ東京「美の巨人たち」による不楽録紹介)などメディアへの浸透もまずまずあった。</p> <p>・観覧者数は1万人余にとどまったが、時期を考えれば健闘の部類に入ると考えられる。</p>	
自己評価 今後の課題	<p>・アンケートや評価委員の見解にみられるとおり、展覧会のコンセプトや主題は時宜にかなったものであったと自己評価する。くわえて、美術館連絡協議会より「美連協奨励賞」を受賞したり、地方館の展示にもかかわらず日経・朝日・毎日各紙の文化欄に展評が掲載されるなど、一定の評価は得た。</p> <p>・その一方で、同じく寄せられた意見や評価を検討すれば、コンセプトを深く納得させるに十分な出品がなかったとまではいえないようである。</p> <p>・タイトルや広報イメージの伝わりにくさも問題である。総じて、「心あまりて言葉足らず」という印象。</p> <p>・今後の企画に際しては、コンセプトを精査して深く掘り下げていくような形で展覧会をデザインしていく必要があるだろう。</p>		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	1968年激動の時代の芸術展
------	----------------

期 間	2月10日(日)~3月24日(日) (37日間)
-----	--------------------------

場 所	静岡県立美術館第1~6展示室
-----	----------------

担当者名	学芸課 川谷承子
------	----------

学芸員の企画への参加の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
マスコミ等による共催の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巡回の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

記入日	企画	2018年5月31日(木)
	実績	2019年4月19日(金)

企画	実績・検証
<p>目的・内容</p> <p>1968年は、20世紀における歴史の転換点と呼ばれています。世界中で学生運動・社会運動が同時多発的に起こり、また日本でも全共闘運動が活発化し、社会が騒然とした雰囲気になりました。この時代、美術の領域では、アンソングラやカウンター・カルチャーが脱領域的な広がりを見せると同時に、「もの派」をはじめ新世代が一気に台頭しました。本展では、今から50年前のこの混沌とした時代の、日本の文化状況を、美術を中心に、写真、舞台、建築、漫画など周辺領域も交えて紹介します。</p>	<p>【研究活動評価委員会からの意見(要約)】</p> <p>展覧会について ・総じて意義深い展覧会だった。基本的にはそのことに尽きるが、ただ、取り上げられた資料や作家に関しては地域的な偏りがあったことは否めない。また同時代に実際に生きた者としては、まだまだ語り残すべきものがあるのではないかと思う。(潮江委員)</p> <p>図録について ・巻頭論文、草解説、証言や補足解説文、いずれも読みごたえのある内容を含んだ図録になっており、現代美術の研究者にとっては、書架に置いておくべき図録に仕上がっている。(潮江委員)</p>
<p>期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット</p> <p>【ねらい】 従来の美術の枠にとどまらず、混沌とした転換の時代に沸き起こったカルチャーを、350点を超える作品、資料、写真で振り返ります。美術作品だけでなく、資料や写真もあわせて展示し、この時代を知っている世代も、また知らない世代にも、時代の熱い雰囲気の一部を体感してもらえるような展示を行います。</p> <p>【ターゲット】 幅広い年代の現代美術、デザイン、写真、映画の愛好者(10代~70代の男女 静岡) 1968年に青春時代を過ごした、団塊の世代の男女。 1960年代~70年代のカルチャーに関心のある若者。 1960年代~70年代の現代美術に関心のある美術関係者、研究者、学生。</p>	<p>【ターゲットにみる特徴】</p> <p>・実施せず</p>
<p>指標(数値目標)</p> <p>観覧者数見込 18,000人</p>	<p>観覧者数 7,880人 会期37日間、1日平均212人</p> <p>(参考)「アートのみぞなぞ 高橋コレクション」展 2017年12月23日~2月28日実施 観覧者数 10,982人 会期56日間 1日平均196.1人</p>
<p>収支計画</p> <p>・歳出 15,625千円 ・歳入 9,924千円 ・特財率 63.5%</p>	<p>・歳出 15,452千円 ・歳入 5,112千円 ・特財率 33.1%</p>
<p>広報戦略 主な取組</p> <p>・共催マスメディアによるCMの広報。 ・1968年をテーマにした本が多数出版されている事から、書店でのフェア開催を呼びかける。 ・団塊の世代(60歳代後半~70歳代前半)の世代の読者が多く見込まれる新聞、雑誌への、プレスリリースを送付する。</p>	<p>・共催マスメディアによるCM、twitterの広報。 ・県立美術館公式SNSによる情報発信。 ・NHK「たっぷり静岡 待ち合わせは美術館」への取材協力 ・現代美術に強い美術館(90か所)へのチラシ配架依頼 ・銀座鳥谷書店、戸田書店での図録販売</p>
<p>自己評価 今後の課題</p>	<p>千葉市美術館、北九州市立美術館と当館との3館で共同で企画し2018年9月~3月にかけて3館を巡回した。約400点の作品や資料とともに、「政治の季節」の社会状況との関わりの中で、1968年頃の高揚した芸術状況を輪切りして整理して見せた点が、この展覧会の大きな成果だったといえるだろう。内容面での高い評価を受け、美術館連絡協議会の「2018年 美連協大賞」を受賞した。また、読売新聞(全国版12/20)で、建島哲氏が選ぶ2018年の展覧会ベスト4の内の1つに選出されたほか、毎日新聞(全国版12/20)では「節目を意識させられる」展覧会として、また日本経済新聞(全国版12/22)でも大きく取り上げられ「現代において、1968年の「精神」抵抗の文化を検証する意義」を評価する記事が掲載された。展覧会図録についても、日本タイポグラフィ年鑑のエディトリアル部門ベストワーク賞を受賞。図録は、巡回館各館ともに完売となった。同展には、10点の当館収蔵品を出品し、とりわけ静岡ゆかりの作家、グループ「幻蝸」を、戦後日本の美術史上に位置づけ、彼らの動向をより広く伝えることができた点は特筆すべきであろう。来場者数は、7,880人と、目標の18,000人には到底およびなかった点は大いに反省しなければならない。ただ巡回館2館の実績を聞いたところ、1日の平均入場者数は当館が最も多く、巡回中に広まった展覧会の評判を聞いて他会場で見逃した来館者を取りこむことができたと思われる。また昨年度当館で実施した現代美術の展覧会「アートのみぞなぞ展」と比較したところ1日あたりの平均入場者数では、本展の方が上回っていた。今回は、年間計画を立てる上でやむを得なかったのが、入場者数を増やすという点からいえば、展覧会会期をあと10日~20日多く確保できればよかったことと、開催時期が夏休みやゴールデンウィーク、お正月など長期休暇にかかっていればよかった。</p>

【資料2】

調査・研究に関する自己評価点検評価報告書(平成30年度)

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 3 月 27 日	
職・氏名	学芸課長・三谷理華
●専門分野	美術史
●所属学会	美術史学会、美学会、日仏美術学会、ジャポニズム学会、九州藝術学会、Société de l'histoire de l'art français、ICOM
●主要研究テーマ	ヨーロッパ近代美術史、日仏文化交流史
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
1 「作品紹介：フィラデルフィア美術館所蔵 ラファエル・コラン作《朝》」『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第 129 号、2018 年 4 月 1 日、pp. 6-7。	小計 1 本
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業	
1 「安野光雅のふしぎな絵本展」主担当	
2 出張授業 静岡市立服織中学校 美術部 7 月 4 日	
3 静岡大学新入生セミナー 7 月 16 日	
4 「安野光雅のふしぎな絵本展」友の会フロアレクチャー 7 月 28 日	
5 「安野光雅のふしぎな絵本展」フロアレクチャー 7 月 28 日	
6 「安野光雅のふしぎな絵本展」特別ワークショップ(講師：つみきのそのさん) 企画、運営補助 8 月 4 日	
7 「安野光雅のふしぎな絵本展」実技講座(講師：野呂美樹氏) 企画補助、運営補助 8 月 5 日	
8 「安野光雅のふしぎな絵本展」特別講演会(講師：齋藤道夫氏) 運営 8 月 11 日	
9 「安野光雅のふしぎな絵本展」未就学児向けワークショップ(講師：丸山成美氏) 企画補助、運営補助 8 月 26 日	
10 「安野光雅のふしぎな絵本展」わくわくアトリエ(講師：福井利佐氏) 企画補助、運営補助 8 月 27 日	
11 「安野光雅のふしぎな絵本展」セルフガイド製作補助	
12 ロダンウィーク特別上映会 映画「デヴィノ・インフェルノ——そしてロダンは《地獄の門》を創った」上映、舞台挨拶(講師：ゾエ・バルチュス氏) 企画、運営、講師通訳 11 月 3 日、4 日	
13 収蔵品展「不思議なアート」フロアレクチャー 11 月 11 日	
14 ボンランティア採用研修講師 2 月 3 日、7 日	
	小計 14 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
1 第98回九州藝術学会 口頭発表「ラファエル・コラン《眠り》をめぐって——新出作品紹介と考察」7月7日	
2 NHK しずおか「ドラマチック！秋まつり」ルーヴル美術館 4K8K 画像解説講師 11 月 10 日	
3 ジャポニズム学会理事	
4 ふじのくに芸術祭 2018 企画委員、美術部門美術展審査員	
5 ふじのくに子ども芸術大学実行委員会委員	
6 ふじのくに文化芸術センター運営委員	
	小計 6 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等 無し	
	小計 0 本
合計 21 本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 3 月 20 日	
職・氏名	上席学芸員 南 美幸
●専門分野	美学・美術史
●所属学会	美術史学会、日仏美術学会
●主要研究テーマ	西洋美術史、ロダン関連
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	小計 本
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業 1 静岡高校ギャラリートーク用レクチャー 2 ロダン館タッチ・ツアー	小計 2 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	小計 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	小計 本
合計 2 本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 年 4 月 1 日

職・氏名 上席学芸員 新田建史

- 専門分野 美学美術史
- 所属学会 地中海学会、保存修復学会
- 主要研究テーマ 西洋 16～18 世紀美術、東西美術交流史、東西版画史、文化財保存

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

小計 0 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「美を旅する」展 4 月 14 日(土)～5 月 20 日(日) 上原美術館との共同展

小計 1 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・「愛知県立芸術大学集中講義」9 月 18 日(火)、19 日(水)
- ・「静岡県立美術館の地震防災対策について」(地震対策研修会「MKN learning-すぐに役立つ、そして使える学びを！」) 1 月 17 日(木)
- ・「静岡県立美術館 ケース等の温湿度環境改善について」(日本建築学会熱環境運営委員会湿気小委員会、文化財の保存と活用のための環境制御 WG) 3 月 28 日(木)

小計 3 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 0 本

合計 4 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 4 月 1 日	
職・氏名	上席学芸員・村上 敬
●専門分野	日本近代美術・デザイン史、文化資源学
●所属学会	美学会、美術史学会、明治美術学会、文化資源学会
●主要研究テーマ	明治・大正期を中心とした近代日本洋画等
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
(1) 論文「川村清雄《海底に遺る日清勇士の髑髏》考」(『静岡県立美術館研究紀要』34号)	
	小計 1 本
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業	
・企画展「めがねと旅する美術」展(主担当)	
・同展企画者トークショー (11/23)	
・同展館長美術講座 (1/20)	
・同展フロアレクチャー (1/6)	
	小計 4 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・静岡市芹沢銈介美術館協議会委員	
	小計 1 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
(1) 論文「川村清雄《海底に遺る日清勇士の髑髏》考」(『静岡県立美術館研究紀要』34号)	
	小計 (1) 本
合計 6 本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成31年3月19日	
職・氏名	上席学芸員 泰井良
●専門分野	日本近代洋画、ロダン、ミュージアムマネジメント、文化政策
●所属学会	美術史学会、明治美術学会、文化経済学会、日本文化政策学会
●主要研究テーマ	明治美術会から太平洋画会、明治から昭和期の美術
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	小計 本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「新収蔵品展」フロアレクチャー(7/29) ・「日本の自然」展(主担当) ・「日本の自然」展フロアレクチャー(2/10、3/10、3/24) ・静岡大学比較言語文化各論Ⅰ(4/17、4/24、5/12、6/26、7/15、7/22、11/3) 	小計 12 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人地域創造公立美術館活性化事業企画検討委員 ・全国美術館会議地域美術研究部会幹事 ・一般社団法人浜松市創造都市協議会理事 ・磐田市文化協会工芸部門審査員 	小計 4 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	小計 本
合計 16 本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 3 月 31 日

職・氏名 上席学芸員 川谷承子

- 専門分野 現代美術
- 所属学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・「1968 年 激動の時代の芸術」展図録
- 章解説 4 本 「B-5 トリックス・アンド・ヴィジョン」
- 「C-2 イラストレーションの氾濫」
- 「D-1 『プロヴォーク』の登場」
- 「D-2 もの派の台頭」
- エッセイ 1 本 「1968 年の石子順造 日本現代美術の底流」
- インタビュー 1 本 「北井一夫〈バリケード〉と〈三里塚〉」

小計 6 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- 新収蔵品展
- 「1968 年 激動の時代の芸術」展
 - ・対談「1968 年と 1980 年代は地続きか？」森村泰昌氏（美術家）と木下館長との対談
 - ・対談「漫画と 1968『月刊漫画ガロ』を中心に」ライアン・ホームバーグ氏（東京大学 特任准教授）、と成相肇氏（東京ステーションギャラリー 学芸員）との対談
 - ・江戸アニメ「写し絵」ワークショップ 「1968 年」展出品作家中嶋興氏による講座
 - ・北井一夫×村上仁一「これからの写真家」「1968 年」展出品作家北井一夫氏による講座
 - ・北井一夫×千葉由美子「アートマーケットとの付き合い方」「1968 年」展出品作家北井一夫氏による講座
 - ・「1968 年 激動の時代」展関連 館長美術講座「1968 年と明治 100 年-政治と歴史と文化」
 - (*展覧会のフロアレクチャーをされた方はここに記載してください。)
 - ・新収蔵品展フロアレクチャー
 - ・「1968 年展 激動の時代の芸術」展フロアレクチャー 2 回

小計 8 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・寄贈作品の受け入れ（作品 2 点）宮島達男、ジュリアン・オピー
- ・石田徹也作品の海外貸出（作品 11 点）

小計 2 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

- ・「1968 年 激動の時代の芸術」展図録
- 章解説 3 本 「B-5 トリックス・アンド・ヴィジョン」
- 「D-1 『プロヴォーク』の登場」
- 「D-2 もの派の台頭」
- インタビュー 1 本 「北井一夫〈バリケード〉と〈三里塚〉」

小計 (4) 本

合計 16 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 4 月 1 日	
職・氏名	上席学芸員 石上充代
●専門分野	近世・近代の日本画
●所属学会	美術史学会
●主要研究テーマ	近代日本画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
1 論文「中村大三元《浄謚》について」『静岡県立美術館紀要』第 34 号 平成 31 年 3 月	小計 1 本
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業	
1 収蔵品展『日本画の情景—幕末から近代へ』担当	
2 同展 フロアレクチャー 2 回	
3 企画展『幕末狩野派展』副担当	
4 企画展『めがねと旅する美術展』副担当	
5 出張美術講座 2 回	
	小計 5 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
1 静岡市三保松原保全活用計画推進専門委員会委員	
	小計 1 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
1 論文「中村大三元《浄謚》について」『静岡県立美術館紀要』第 34 号 平成 31 年 3 月	
(←寄託品も収蔵作品に入れてよいでしょうか)	
	小計 (1) 本
合計 7 本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 3 月 25 日	
職・氏名	上席学芸員・野田麻美
●専門分野	日本近世絵画
●所属学会	美術史学会
●主要研究テーマ	狩野派を中心とする桃山末～江戸時代の絵画
<p>1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幕末狩野派の史的位置—狩野栄信・養信を中心とする十九世紀江戸狩野派様式の展開」(『幕末狩野派展』静岡県立美術館、2018年9月) ・「幕末狩野派の倣古図様式の展開—狩野栄信・養信を中心に」(『幕末狩野派展』静岡県立美術館、2018年9月) ・「江戸狩野派による雪舟様式の展開について—江戸狩野派の倣古図における雪舟図様の変遷をめぐる諸問題」(『和漢の故事人物と自然表象—16、7世紀の日本を中心に』ワークショップ、2018年12月23・24日於東京大学) ・「狩野邦信《倣雪舟 梅潜寿老図》と狩野芳崖《寿老人図》—幕末維新时期における雪舟受容の諸相」(『アマリス』132号、2019年1月) ・「江戸狩野派による雪舟学習をめぐる諸問題—倣古図の分析から」(『天開圖畫』11号、2019年3月) ・Haneda Masashi, Oka Mihoko eds. <i>A Maritime History of East Asia</i>. 京都大学学術出版会 (2019年3月) ※共著形式、16世紀の美術部門に寄稿。『東アジア海域に漕ぎ出す1 海から見た歴史』(東京大学出版会、2013年)の英語版 <p style="text-align: right;">小計 6本</p>	
<p>2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『幕末狩野派展』(2018年9月11日～10月28日) 同展美術講座1回(2018年10月14日) 同展フロアレクチャー2回(2018年9月30日、10月27日) <p style="text-align: right;">小計 4本</p>	
<p>3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『美術史』(美術史学会誌) 第186号 査読委員 <p style="text-align: right;">小計 1本</p>	
<p>4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幕末狩野派の史的位置—狩野栄信・養信を中心とする十九世紀江戸狩野派様式の展開」(『幕末狩野派展』静岡県立美術館、2018年9月) ・「幕末狩野派の倣古図様式の展開—狩野栄信・養信を中心に」(『幕末狩野派展』静岡県立美術館、2018年9月) ・「江戸狩野派による雪舟様式の展開について—江戸狩野派の倣古図における雪舟図様の変遷をめぐる諸問題」(『和漢の故事人物と自然表象—16、7世紀の日本を中心に』ワークショップ 2018年12月23・24日於東京大学) ・「狩野邦信《倣雪舟 梅潜寿老図》と狩野芳崖《寿老人図》—幕末維新时期における雪舟受容の諸相」(『アマリス』132号、2019年1月) ・「江戸狩野派による雪舟学習をめぐる諸問題—倣古図の分析から」(『天開圖畫』11号 2019年3月) <p style="text-align: right;">小計 (5) 本</p>	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成31年4月1日	
職・氏名	主任学芸員 植松 篤
●専門分野	現代美術
●所属学会	美学会、広島芸術学会
●主要研究テーマ	戦後美術
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
研究ノート「白髪一雄の初期の展示活動について」『アマリリス』第131号、2018年10月1日 エッセイ「写真からメディアを見る」『めぐりアート静岡 2018 4つの会場をめぐる、アートの散策。』(記録集)、静岡大学発行、2019年2月28日	
	小計 2本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・「めぐりアート静岡 2018 4つの会場をめぐる、アートの散策。」 主担当 ・同展アーティストトーク1回(講師:鈴木諒一、11月4日) ・「美術の時間 現代アートにおける時間の表現」主担当 ・同展フロアレクチャー2回(12月24日、1月5日) ・「1968年 激動の時代の芸術」副担当 ・新収蔵品展関連事業「石川直樹アーティストトーク」(講師:石川直樹、8月26日) ・「8Kアートトーク 8Kで体感する“草間彌生”」(NHK 静岡放送局、11月11日)	
	小計 8本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動 VOCA 展推薦委員(推薦文、作品解説執筆) 富士市美術展審査員(彫刻分野、総評・作品評執筆)	
	小計 2本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	
	小計 0本
合計 12本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 31 年 3 月 30 日	
職・氏名	主任学芸員 浦澤倫太郎
●専門分野	日本美術史
●所属学会	美術史学会
●主要研究テーマ	近世絵画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	小計 0 本
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業 <ul style="list-style-type: none"> ・安野光雅展 (副担当) ・安野光雅のふしぎな絵本展フロアレクチャー (8 月 19 日) 	小計 2 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動 出張美術講座 (富士市立田子浦中学校、1 月 16 日)	小計 1 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	小計 0 本
合計 3 本	

定性評価の状況（平成30年度）

【幕末狩野派 展】〈自主企画展〉

(金原委員)

総評：会場が広く、大きいので見やすい展示となっていた。ギャラリートークのあった日に拝見したが、そのトークは常設室の作品に対してのみ行われていた。今展覧会の企画室の当該作品にこそギャラリートークは行われるべきではなかったか。いずれにしろ狩野派を収集している県立美術館でなければ成立しなかった展覧会であることは間違いない。

今後の課題：休日の日に参観したのであるが、そのためもあって若い学生たちの姿もちらほら見ることができた。しかしながら、若い世代の見学者が少ないのは(他の公私立美術館でも同様であるが)残念なことである。広報活動も今回は大いになされた効果であると思われるのであるが如何であろうか。

(榊原委員)

総評：江戸時代の狩野派の動向を、その様式的展開を含め跡づけようとした点、大いに評価できる。展示作品も新出のものが多く、江戸狩野研究に大きな刺激となった。

今後の課題：今回の展示では、栄信、養信父子の作品を中核にしているが、狩野派・木挽町家の組織のことを考えれば典信の存在は無視できない。彼の仕事の検討が必要ではないか。また養信の真景図(スケッチ類)が多く遺り、いずれも遠近、広がり意を用いた風景表現になる。華山の四州真景図と較べても遜色ない。そのあたりに焦点を絞った展示も期待したい。

【めがねと旅する美術展-視覚文化の探究-】〈自主企画展〉

(坂本委員)

総評：全体としての面白さと、内容の分類(整理)とが、すこしうまくないのでは、と思いました。そのひとつの理由としてはこの展覧会は小さすぎるからと感じました。もっと作例があつて、そういうものも見たいと思いました。バルトルシャイテスのアナモルフォーズなども参考になるのかも？

今後の課題：企画を拡充された、何年かあとにもう一度見せていただきたいです。

(山梨委員)

総評：技術の進歩により、誰もが高精細画像を容易に取得して世界中に拡散できるようになり、また画像の加工も容易になって、「リアルな画像」が必ずしも現実と結びつかないという状況になっている現在、「見る」ことに関わる道具がどのように我々の視覚に関わるかをテーマとした本展覧会が行われた意義は大きい。

現実をリアルにとらえるための技術や技法が求められてきたことが、それらの技術や技法に慣らされた身体をつくってきたことにも気づかされる企画であった。

今後の課題：本展覧会の各章でテーマとされたことをさらに深める企画も可能ではないか。一

方で、本企画の根底のテーマである「ものをよく見ること」の大切さを、より直接的に伝える企画も望ましい。

【1968年 激動の時代の美術】〈自主企画展〉

(潮江委員)

総評：展覧会は、総じて意義深い展覧会だと思う。基本的にはそのことに尽きる。ただ同時代を生きた者として、まだまだ語り残すべきものがあるのではと思う、記憶がある。例えば、『日本列島沈没』を書いた小松左京でさえ、万博をパロディする短編を書いており、反万博は、意外と根強い風潮であったこととか。それなのに、今では、アート・イベントを開催して経済の活性化に繋げるという思考回路が当たり前となっていることとのギャップは何なのかは、やはり考えてしまう。

今後の課題：今回の展覧会はとても有意義で実り豊かな切り口であった。ただ、それが正統的であるとはいえ、取り上げられた資料や作家が、少しばかり東に傾きすぎてはいないか、という気がする。同じテーマを再び取り上げることはもはやないと思うが、同じ年を京都で過ごした者からすると少し残念だ。例えば、造反有理、反権力、叛芸術という形で、大学教育解体を叫んでいた大学改革の動向に関して言えば、結果として一般的には講座制組織の教授の権威主義が少し和らいだ程度の修正主義的成果を得ただけに終わったが、京都市立芸術大学美術学部では、大学の教員と学生が手を携えて徹底して討論した結果、1970年に、大学の構成員としての教員と学生の平等性、共通原理としての造形に基づく素材別の教育研究組織とカリキュラムという、徹底した「改革案」が具体的な制度として実現させたことを改めて知って欲しい。その結果生まれたのが、コンセプチュアル・アート等に対応する「構想設計」という耳慣れない名前の専攻であり、現在の教育研究制度自体は現実的な対応で修正が加えられているとはいえ、この一専攻を作った問題意識が、そしてその存在そのものが、他専攻を含めて芸術制作へのアプローチを抜本的に変え、特異な個性の芸術家達を輩出する芸術大学へと変貌したことを知って欲しい。

(山梨委員)

総評：海外では1950年代60年代の日本美術の顕彰が行われるようになってきている中で、本展は日本ではまだ十分に検討がなされていない時代の前衛美術について、社会の動きと絡めて網羅的にふりかえろうとする意欲的な企画であった。こうした展覧会が、設立当初から現代美術の収集と展示をひとつの柱としてきた静岡県立美術館で開催されたのは喜ばしい。

担当学芸員の当該分野における調査研究成果の蓄積と、他機関とのネットワークがよく活かされた展覧会であった。

静岡市美術館で2019年1月5日から3月24日まで「起点としての80年代」展が開催され、近接地域で連携して日本の現代美術をふり返ることができるように図られていたことも、地域内の関連機関のネットワークの成果として評価できる。

今後の課題：本展覧会はもの派や概念芸術など、70年代の新たな動きの台頭で締めくくられている。本展の視点を踏まえた70年代美術の展覧会を改めて開催する意義があるように思われる。あるいは近代のとらえ直しが行われたという視点での所蔵品特集展示も可能ではないか。

① 研究紀要 石上充代「中村大三郎《浄謚》について」

(金原委員)

総評：作品と能との関係をもっと調査されると京文化に根ざした画家の本質的なものを把握できるものと考え。大正末期から昭和10年前後の健康で明るい知性的な女性を画面に登場させた的を射た画面づくりは、描かずにはいられなかった大三郎の使命感のたまものである。浮世絵によく見られる抑圧的な暗さが無いところ、最大の長所であると考え。

今後の課題：能楽に見られる静寂で高雅な雰囲気は日本画家中村大三郎の最大の特色でもある。小面は能の気持ちを全身で表していると考えられる。その女人の顔と姿を十二分に捉えている技術と心持ち（意欲）を作品からくみ取りたいと思う。

「京文化を否定することは大三郎にとって、その画家としての存在価値を否定することであった」と馬場京子は美人画論で説いているが、まことにその通りであり、能の舞台姿に全力で取り組んだ中村大三郎こそ希有の画家といえよう。

(榊原委員)

総評：彦根屏風、邸内遊楽図、寛文美人図、舞踊図など近世初期風俗画と中村大三郎作品との関連を述べるが、比較はもう少し具体的であるべきでは。

また、取り上げる初期風俗画の作例ももう少し幅広くする必要を痛感する。挿図4《雙六》など、ほとんど松浦屏風そのものだと思うからである。

挿図2《懺悔》の女性にも何か範例とすべき作があったように見えるのだが。

今後の課題：中村大三郎研究の深化を目指すのか、同種の手法で他の画家の作品分析へと向かうのか、後者を期待したいのだが……。さらにそうした視点からの展覧会も実現して欲しい。

② 研究紀要 村上敬「川村清雄《海底に遺る日清勇士の髑髏》考」

(坂本委員)

総評：1) で述べたように、この絵の「表現」に関する村上氏の理解がほとんど分からないが、「もの」としての客観的な状況は分かる。敵対する死者の骨を描く意味は？作者の名は忘れたが、ロシアの画家が山のように頭骨を積み上げたものが19世紀にある。それが伝えられた可能性もあると思うが（確認は必要）、テーマの反戦か厭戦か、「昭和6年」の状況、敗戦後の、また近年の、戦争観の動きと微妙に反応し合うような問題をはらむという点で、この絵の魅力と考えることができそうに思う。

そういうことで、非常に興味のある問題をはらんだ論文だと思いました。

今後の課題：村上氏の記すように、「昭和6年」頃の「明治再評価」は是非続けていただきたい。

(山梨委員)

総評：本稿は、川村清雄による《海底に遺る日清勇士の髑髏》について、従来の歴史画へのアプローチとは異なる方法で論ずる為の基礎的な作業、すなわち作品観察と施主などの関係者に関する資料収集を行ったものである。

国民国家論やメディア論といった視点からではなく、作品を巡る人やそれらの人々の考え方から歴史主題を描いた作品に迫ろうとする方法の導入部が示されたことを評価する。

今後の課題：川村清雄は徳川家の幕臣の中でも、將軍家に非常に近い位置にあり、明治以降の人間

関係も勝海舟を始め、旧幕臣たちを中心に築かれていた。川村の制作を支えた施主、絵画の主な享受者も、西洋化・近代化に対して、いわゆる維新派とは異なる心性を持っていたことが推測され、その点を踏まえての作品に関する考察が求められる。本稿はそれを踏まえて、この作品を国民国家論的視点から離れてとらえることを提案している点が意義深い。

戦においては敵同士であった者も、戦が終れば共に海底に眠る、というこの作品の主題は、直接的には日清戦争を題材としたものであるが、徳川幕府と尊皇攘夷派とも通ずるものである。そうした点が、この作品にこめられているかといった分析も含め、今後、具体的に本論が展開されることを期待したい。

(西洋)

今年度は例年よりも件数が少なく、国内の2本の展覧会への貸出実績があった。メディアでも注目された、渋谷区立松涛美術館による「廃墟の美術史」展へは、油彩画1点と版画6点を貸し出した。中でも19世紀のアカデミックな油彩画であるアシル＝エトナ・ミシャロン作《廃墟となった墓を見つめる羊飼ひ》は、SNSでも発信される作品となり、話題を呼んだ。

(日本画)

10件の展覧会に31件の作品を出品した。

「池大雅 天衣無縫の旅の画家」(京都国立博物館)、「没後400年 雲谷等顔展」(山口県立美術館)にそれぞれ所蔵品、寄託品を出品、展覧会の中で重要な位置を占めた。「生誕150年 横山大観展」(東京国立近代美術館・京都国立近代美術館)には所蔵品2件を出品。《群青富士》は展覧会広報のメインビジュアルとして使用され、横山大観の代表作として広く認知される機会となった。また《春園の月》についても出品を機に新知見を得られた。「生誕110年 秋野不矩 あふれる生命の耀き」(浜松市秋野不矩美術館・田辺市立美術館)には《廻廊》をはじめとする秋野不矩の重要作品6件を出品、静岡ゆかり作家の個展の内容充実に、当館所蔵品がおおいに貢献した。

また、「めがねと旅する美術展」には所蔵品・寄託品9件を出品、自館のコレクションを活用して企画展の内容を充実させることができた。

(現代)

収蔵品展「美術の時間 現代アートにおける時間の表現」では、収蔵品の中から、時間をテーマにした現代作品34点を選び展覧した。野田哲也の「Diary」シリーズ、岡田謙三《時》、難波田龍起《石の時間》など、ここ数年展示する機会が無かった版画、絵画を複数公開した。

当館も参加した企画展「1968年 激動の時代の芸術」に、10点の収蔵品の公開・貸出を行った。同展覧会は、千葉市美術館、北九州市立美術館にも巡回し、美術館連絡協議会の美連協大賞を受賞するなど内容面で高い評価を受けた。この展覧会に、静岡ゆかりの作家、グループ「幻触」の作品を出品することにより、「幻触」を、戦後日本の美術史上に位置づけ、彼らの動向をより広く伝えることができた。

(日本洋画)

平成30年度の日本洋画の公開・貸出については、当館が休館したこともあって、例年より件数は少なかった。

特筆すべきは、「没後50年 藤田嗣治展」に当館所蔵《モン・ルージュ、パリ》が出品されたことである。本展は、藤田嗣治の没後50年という節目となる年に開催され、これまでで最大規模の作品点数が出品された大回顧展で、東京都美術館と京都国立近代美術館の2館で開催された。

当館所蔵《モン・ルージュ、パリ》は、初期の風景画作品として位置づけがなされ、また人物が中心の藤田の作画活動の中で、異質ながらも、その存在感を発揮することができた。風景画をコレクション・ポリシーとする当館として、本作品が美術史的に評価されたことは、極めて重要である。

<一般向け>

「幕末狩野派」展関連の実技講座「日本画・金箔貼り『扇面に描く』」や、「1968年 激動の時代の芸術」展関連では、展示作家の北井一夫氏と編集者やギャラリストとの対談「北井一夫と考える2020年代のアーティスト像」など、展覧会と関連させた内容の普及活動をバランスよく行い、展示と鑑賞を結びつけた静岡県立美術館ならではの教育普及活動を展開することができた。

一般向け実技室プログラム「ロダン館デッサン会」「実技講座」などの利用者は、リピーターが多い傾向にある。しかし、フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用した情報発信を行う事で、10～30代の参加率が増加傾向となった。また、本格的にHPからの参加申し込みが可能になったことで、県内だけでなく、様々な地域からの参加がみられるようになった。

<学校向け>

県総合教育センター主催で5年継続して行っている教員向け鑑賞教育研修や富士宮市教育委員会との連携で4年連続実施をした上井出小学校での《曾我物語図屏風》を題材にした出張事業など、静岡県立美術館との連携による教育的効果が認められ、単年度実施で終わるのではなくその後も継続する活動となるケースが増えている。

平成32年度から全面実施となる新学習指導要領では総授業時数が増加となり、現行指導要領以上に授業としての美術館への来館は難しくなることが予想される。一方で新指導要領の内容では図画工作科・美術科の「鑑賞」分野について「美術館や博物館との連携を図ったり、それらの施設や文化財を積極的に活用したりすること」と、より明確な表現になっているため、出張美術講座の充実や収蔵品の新規レプリカ製作等の継続的な教材開発・提供など、学校連携を模索する必要性がある。

これまでの地域等の連携をさらに深め、地域をパートナーと考える経営を推進した。

地域・企業等

- (1) 開館以来、活動を続けている県立美術館ボランティアは活動任期が3年であり、平成27年度に3年の任期が満了したため、平成28年度に新たに募集し、117名を採用した。平成30年度末に任期が切れたため、新ボランティアの募集を行い、136名を採用した。
 - ・活動期間（任期）：平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）
 - ・活動方針：「来館者サービスの充実、美術館運営支援、地域連携推進」
- (2) 有度山地域に立地する5施設、県立美術館、SPAC、日本平ホテル、日本平動物園久能山東照宮による「有度山フレンドシップ協定」による協働。
 - ・「ふじのくにしずおか観光大商談会」等への協働参加、誘客促進。
 - ・今後、企画展との連携事業を検討していく。
- (3) 静岡大学と連携し授業単位に認定した「大学生によるロダン館ギャラリートーク」の実施。
- (4) 草薙商店会等との協働
 - ・草薙商店会主催の「つながるくさなぎ」にて実技体験を実施。夏フェス（うちわづくり）及び冬フェス（銅版画製作）
 - ・草薙地域で活動しているグループと連携して美術館前の広場でロダン・ウィーク「丘の上のマルシェ」を開催
- (5) ロダン・ウィーク

平成26年度、開館20周年を契機に開始した「ロダン・ウィーク。その第5回を11月1日（木）から4日（日）の間、開催した。

映画の上映や、草薙商店会との協働による「丘の上のロダンマルシェ」、ロダン賞コンサート、めぐりアート静岡の展示、友の会主催のタブレット画作り、にがお絵、ボランティア主催の呈茶サービス等のイベントを実施し、ロダン館への誘客を図った。

また、今年度から「ロダン・ウィーク」期間中は、ロダン館・収蔵品展の入館料を減免し、無料観覧による誘客を図った。4日間で約1,400人の観覧者を得た。
- (6) 企画展における企業との連携による効果
 - ・「安野光雅のふしぎな絵本展」では、市内書店内（江崎書店、谷島屋、吉見書店、戸田書店）で「安野光雅特別フェア」を開催した。
 - また、「静岡子ども美術の会」、「静岡私立幼稚園協会」の協力を得て加盟園でのポスター掲示、チラシ配架の協力を得た。
 - ・「幕末狩野派展」では、静岡浅間神社の協力を得て、共同企画を実施した。
 - 内容は、展覧会の招待券付きで、通常非公開の浅間神社天井絵（狩野栄信）を学芸員の解説付きで特別拝観できるというものであり、祝日3日間の開催に応募が殺到した。148名の観覧者増につながった。
 - また、県自治研修所主催の夜活応援講座として、学芸員フロアレクチャー付き夜間特別開館を実施し、25名の参加があった。図録も特別販売し8冊の実績を上げた。
 - ・「めがねと旅する美術展」では、松坂屋静岡店内の「東京メガネ」の協力を得て、展覧会期間

中に店内に特別展示を行った。

- ・「1968年 激動の時代の芸術」展では、静岡市美術館が同時期に開催していた「起点としての80年代」と協働し、相互チケット半券提示での割引や、同一講師を招いてのシンポジウムや鼎談を開催した。

ムセイオン静岡

谷田地域の文化教育6機関（県立大学、美術館、中央図書館、埋蔵文化財センター、SPAC、グランシップ、ふじのくに地球環境史ミュージアム）が多分野における連携を進め、更なる文化の情報発信を目指した。

(1) 「ふじのくに文化の丘フェスタ」の実施

ムセイオン7施設を巡るスタンプラリー

平成30年10月20日(土)から11月4日(日)に実施し、84通の応募があった。

昨年度に引き続き、様々な広報手段を活用し、県内外への広報を推進した。
企画展の共催者・協賛者等と協働した広域的な広報を目指した。

広報活動

- ① リニューアルしたホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターによる情報発信と、訪問者の情報解析等
- ② 展覧会等イベント情報のマスコミへの資料提供
- ③ ポスター、チラシの配布、駅貼り、車内吊り
- ④ 県公聴広報課との連携（県民だより、県政番組、ラジオ番組出演）
- ⑤ 広報サポーターへの情報提供
- ⑥ 展覧会共催者（新聞社・テレビ局）、協賛者等との連携
- ⑦ 共催者が企画する講演会・イベントを館内で行い集客を図った。
- ⑧ 美術館ニュース「アマリリス」の発行
- ⑨ グーグル アートのサイト上でのコレクション画像やロダン館ストリートビューをPRした。

県有文化施設と協働した広報

- ① JR東海「さわやかウォーキング」清水駅コース、「2018 トレイン&ミュージアム」への参加
- ② 「ふじのくに文化の丘フェスタ 2018」文化の丘スタンプラリーに参加
- ③ 「めぐりアート静岡」への参加

新たな取組

当館は、開館 30 年以上が経過し、経年劣化等により建築及び各設備に多くの不具合が生じていることから、本館展示室内断熱改修工事及び展示ケース内照明等のLED照明化工事を、平成 30 年 3 月から 7 月まで実施した。

この間、本館を休館し、ロダン館のみを開館としたため、誘客の広報に努めた。

- ① 本館正面玄関は閉鎖しロダン館 1 階から入館、仮設券売所を設けた。
- ② 通常の経路・入口と異なるため、案内看板、入口の明示等のためのディスプレイを特注した。
- ③ ロダン館の開館を企画展と同様のレベルで広報した。
- ④ 駅前看板、プロムナード看板、チラシ、ポスター等の製作。
- ⑤ チラシ、ポスターは公的機関施設、草薙商店等へ配架を依頼した。
- ⑥ 広報物には、7 月中旬まで本館は工事休館であることを明示した。

また、当館収蔵品を広く知ってもらうため、毎年開催の移動美術展を上原美術館との共同開催企画として実施。「美を旅する ―静岡県立美術館のコレクションとともに―」展と題し、下田市で開催した。（4 月 14 日～5 月 20 日）

【資料 4】

【平成 30 年度第三者評価委員会での意見と対応状況】

〔1〕 達成目標等に対する二次評価

基本方針	意見	対応状況
<p>A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します</p>	<p>県立美術館のコレクションを代表する作品について、県民の認知度を高めるための取組が必要である。</p>	<p>代表的な作品をデジタル化し、HPで公開している。また、幕末狩野派展や1968展など、コレクションを活用した企画展を実施した。今後も情報発信を強化する。</p>
	<p>展覧会毎にターゲットとなる年代を設定し、内容の企画や広報手段の選択を行うべきではないか。</p>	<p>SNSを活用した情報発信の他、呼び込みたい年齢層を意識したデザイン、チラシの配布先の選定、特色のあるイベントを企画している。</p>
	<p>チームとして展覧会の準備や広報に取組むという体制は日本の公立美術館に欠けている。</p>	<p>文化政策課と美術館の学芸課、総務課の職員が、毎月広報委員会を実施し、展覧会の効果的な広報について検討、実践している。 取組を更に拡充していくためには、ご指摘のとおり、広報の核となる広報専従職員の設置や、広報予算の充実について検討していく。</p>
<p>B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します</p>	<p>文教地区である草薙地区のまちづくりの主体は、県立美術館、県立大学やSPACであり、美術館としても積極的に提案していくことが必要である。</p>	<p>引き続き草薙地区の商店街との連携、草薙カルテッド（有度地区の街おこしを实践する社団法人）の街づくり構想への参画に加え、ムセイオン静岡の一員として関連の講演会を当館で実施するなど積極的に協力する。</p>
<p>C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます</p>	<p>展示室での撮影の許可は情報の拡散に繋がるため、もっと活用すべきである。</p>	<p>観覧者が作品を静かに鑑賞する環境の確保を優先し、写真撮影を制限している。しかし、広報の強化のため、令和元年度最初の「屏風爛漫展」では写真撮</p>

		影コーナーを設け、続く「古代アンデス文明展」では、展示品の撮影を原則許可した。今後、許可、不許可の基準作りに取り組んでいく。
	ホームページの閲覧状況や時期、閲覧されたページの種類等を把握すれば、インターネット上でのアクセスの実態が分かるのではないか。	閲覧状況は、アクセス解析により閲覧数や曜日や時間帯の動向を把握し、アクセス向上の参考にしている。特に週末の昼に向けてアクセスが伸びるため、その前にホームページの更新を行っている。
	ロダンウィーク期間中の常設展無料化を積極的に広報することにより、コレクションを見てもらう機会の拡大に結びつけるべきである。	ロダンウィークのチラシへ掲載、HP、SNSで積極的に告知した。今後も無料化を継続することにより、見てもらう機会の拡大に結びつけていく。
	展覧会等の美術館の取組について、館側の意識と県民側の認識のギャップを小さくするための方法を検討する必要がある。	美術館協議会で示された意見や、来館者のアンケート結果をもとに、今後美術館の伝えたい内容、メッセージがより伝わるデザイン、広報手段により県民に届く方法を検討する。
D 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めていきます	県内全域からの集客にあたっては、東・西部の遠隔地からのアクセスの利便性を高めるため、駐車場の整備が非常に重要である。	現状では、駐車場の拡張は困難であるため、多くの来館者が見込まれる場合は、県立大学の駐車場を借用することで対応している。 県立中央図書館の移転後には、空きスペースを駐車場として活用することも検討したい。
	美術館の将来の展望に合わせて、施設改修及びソフト面は一体として考えなければならない。	ケース内展示照明をLED化するなど展示環境は改善しているが、収蔵庫の容量不足や常設展示のための展示室拡張が今後の課題となっている。 県立中央図書館の移転後には、空きスペースへの収蔵庫及び常設展示室の増築を検討した

		い。 また、図書室に人員が配置できず、活用できていないことも課題である。専任の職員を配置し、活用を図りたい。
--	--	---

〔2〕 その他の意見に対する対応状況

意見	対応状況
県立美術館のアイデンティティについて、設置者である県が認識する必要がある。また、県民の持つイメージも把握しなければならない。	開館以来 33 年間に築いたコレクションが、美術館のアイデンティティの中核であると捉えており、これを踏まえた収集活動を今後も継続、展開したい。 また、県民が持つイメージについては、県が 3 年に 1 度実施している文化に関する意識調査において、県民が美術館に期待することを調査項目に設け、把握を行っているほか、必要に応じ、県立美術館において、県民ギャラリーの利用者である美術関係団体からの意見聴取も実施するなど、把握に努めていく。
開館後 30 年間の館の総括的な評価を行い、今後取り組むべき課題を検討すべきではないか。	施設の老朽化が進んでいるほか、収蔵庫や常設展示機能の拡充、広報体制の強化、企画展の充実、収蔵品の購入について対応すべき課題が様々ある。今後も、第三者評価委員会を継続して実施するとともに、県及び県立美術館において、現状を分析し、今後の美術館が取り組むべき課題を検討していく。
文化振興基本計画に基づき美術館の姿を中長期的に描いたうえで、年度ごとの工程表を作成して評価を行うことが望ましい。	施設・設備の維持修繕や、収蔵品の充実及びその効果的な活用など、様々な課題への対応が必要である。とりわけ喫緊の課題である施設・設備の維持修繕については、計画的に実施できるよう修繕計画を今年度策定する予定である。その他、広報体制の強化、企画展の充実等、課題を整理した上で、準備ができたものから工程表を作成していく。

【資料5】

平成30年度 設置者の取組状況

(1) 美術館実施事業への協力

- ・美術館企画展等の広報において、年間6回の報道機関への情報提供や、東京事務所、県観光協会へ展示会のチラシの送付を行った。

(2) 美術館の企画運営への参画及び支援

- ・県と県立美術館の意見交換の場として開催する美術館企画運営会議に文化政策課長又は課長代理が出席して情報共有を図った。
- ・月1回開催される美術館の広報委員会に担当職員が出席し、「県民だより」等広報媒体の情報共有を図るほか、随時広報機会の提供を行った。

(3) 施設・設備の計画的更新

- ・設置から32年の経年に伴い不具合が生じている電気、機械設備等の更新を計画的に実施している。30年度においては主なものとして下記の工事を行った。

【平成30年度】

案件名	予算額(工事費)	備考
本館展示室内装断熱改修	80,000,000円	平成30年1月23日着工
本館展示室照明設備改修	100,000,000円	平成30年3月27日着工
ロダン館空調設備更新	54,879,000円	
ロダン館床暖房膨張タンク修繕工事	1,026,000円	
計	235,905,000円	

- ・令和元年度当初予算としては、設備整備費1億3,201万円の他に、中期維持保全計画(5年間の修繕計画)の策定のため劣化診断の予算250万円を確保した。

【令和元年度】

案件名	予算額(工事費)	備考
プロムナード等屋外照明更新工事	20,930,000円	
本館収蔵庫中二階改修工事	45,046,000円	
本館機械室内断熱材改修工事	15,840,000円	
低圧配電盤、接地端子盤変圧器更新工事	47,630,000円	
その他小規模修繕工事	2,563,000円	本館吸収式冷温水発生機修繕ほか
計	132,009,000円	

【別添資料】

平成 30 年度
静岡県立美術館評価業務
報 告 書

平成 31 年 3 月
静岡県立美術館

平成 30 年度 静岡県立美術館評価業務 報告書

目 次

1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	実施概要	1
(3)	報告書内のデータ記述について	1
2	調査結果概要	2
(1)	結果概要	2
(2)	提言	2
3	美術館評価指標の現状値	3
4	展覧会アンケート結果	4
(1)	回収状況	4
(2)	観覧者の属性	6
(3)	観覧者の行動	12
(4)	展覧会の評価	24
5	レストランアンケート結果	44
(1)	実施数(回答数)	44
(2)	アンケート結果	44
6	カフェアンケート結果	51
7	ミュージアム・ショップアンケート結果	51
(1)	実施数(回答数)	51
(2)	アンケート結果	51
8	美術館ホームページアンケート結果	56
(1)	実施数(回答数)	56
(2)	アンケート結果	56
9	自由意見	59
<A	感想>	59
<B	要望>	70
<C	苦情>	76

1 調査概要

(1) 調査目的

静岡県立美術館では、評価委員会提言「評価と経営の確立に向けて」（平成17年3月）を踏まえ、館長公約を柱とする自己評価システムの体系を構築している。

今般、館の全体像を把握する評価指標を整理するためアンケートを実施した。

(2) 実施概要

	安野光雅の ふしぎな絵本展		幕末狩野派展		めがねと旅する 美術展	
会期	平成30年7月14日 ～9月2日		平成30年9月11日 ～10月28日		平成30年11月23日 ～平成31年1月27日	
開催日数	44日		42日		54日	
観覧者数	28,772人		9,712人		10,013人	
1日あたり平均観覧者数	654人/日		231人/日		185人/日	
アンケート実施日	7月14日 ～7月31日	94件	9月11日 ～9月26日	24件	11月23日 ～12月13日	93件
	8月1日 ～8月17日	178件	9月27日 ～10月12日	196件	12月14日 ～1月6日	122件
	8月18日 ～9月2日	294件	10月13日 ～10月28日	165件	1月7日 ～1月27日	245件
アンケート実施数	566件		385件		460件	
回収率 ※観覧者数に占める実施の割合	2.0%		4.0%		4.6%	

平成30年度は展覧会開催中、調査票を出口付近に置き、来館者の自記式により調査を行った。回答が少ない展覧会では、調査票を配布した。

(3) 報告書内のデータ記述について

- ・比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が100%にならないことがある。
- ・基数とすべき実数は、表中に「件数」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- ・質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える場合がある。
- ・平成27年度以前の報告書は、無回答を除いて割合を算出している。平成28年度以降は無回答を含み集計している。また、本報告書中の表で無回答がないのは、無回答が0%である。

2 調査結果概要

(1) 結果概要

	安野光雅の ふしぎな絵本展		幕末狩野派展		めがねと旅する 美術展	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
① 展覧会満足度 (展覧会別)	92.2%		87.5%		87.6%	
② 展覧会満足度 (経年)	94.2%	90.3%	88.6%	84.5%	89.4%	
③ レストラン満足度	73.1%	65.7%	76.7%	73.2%	71.1%	
④ ミュージアム・ショップ満足度	87.2%	92.1%	92.9%	90.5%	95.2%	
⑤ ホームページ満足度	72.5%	70.7%	72.2%	72.7%	70.0%	

(2) 提言

満足度と評価の相関係数

問	Q4①	Q4②	Q4③	Q4④	Q4⑤	Q4⑦
評価	作品やテーマへの興味・関心の深まり	会場における観覧時の心地よさ	スタッフの対応の適切さ	展覧会のことを勧めたいか	情報の入手しやすさ	交通機関の利用のスムーズさ
安野光雅のふしぎな絵本展	0.537	0.546	0.556	0.533	0.451	0.441
幕末狩野派展	0.491	0.500	0.514	0.412	0.373	0.440
めがねと旅する美術展	0.696	0.598	0.508	0.628	0.406	0.442
全体	0.595	0.546	0.521	0.545	0.419	0.441

※算出方法：展覧会の評価【Q4①～⑦】の5段階評価を1点～5点に置き換えて相関係数を算出した。ただし無回答については「どちらともいえない(3点)」と換算した。

※相関係数：-1～1をとる係数で、0に近いほど相関は薄い。1に近づくほど正の相関が、-1に近づくほど負の相関がある。(0.0～±0.2…ほとんど相関がない/±0.2～±0.4…やや相関がある/±0.4～±0.7…相関がある/±0.7～±0.9…強い相関がある/±0.9～±1.0…極めて強い相関がある)

相関係数をみると、評価が高いほど満足度も高い傾向にある項目は、下表のとおり。

安野光雅のふしぎな絵本展	1位	スタッフの対応の適切さ	0.556
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.546
	3位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.537
幕末狩野派展	1位	スタッフの対応の適切さ	0.514
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.500
	3位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.491
めがねと旅する美術展	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.696
	2位	展覧会のことを勧めたいか	0.628
	3位	会場における観覧時の心地よさ	0.598
全体	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.595
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.546
	3位	展覧会のことを勧めたいか	0.545

3 美術館評価指標の現状値

			H29 実績	H30 実績	展覧会			
					A*	B*	C*	
A	2	展覧会リピート率	74.2%	77.9%	80.4%	82.1%	71.3%	
	3	展覧会満足度	84.5%	89.4%	92.2%	87.5%	87.6%	
	8	鑑賞環境満足度	86.9%	90.6%	89.9%	90.4%	91.7%	
B	23	風景美術館認知度	64.2%	67.3%	63.3%	70.6%	69.3%	
C	25	情報が「入手しやすい」	71.9%	74.9%	78.8%	68.1%	75.9%	
	26	公共交通機関アクセス満足度	72.5%	72.9%	74.2%	76.5%	70.5%	
	27	自家用車アクセス満足度	62.6%	70.2%	71.6%	66.2%	71.8%	
	29	スタッフ対応満足度	82.4%	85.5%	84.3%	84.4%	87.8%	
	34	レストラン満足度	73.2%	71.1%				
	36	ミュージアム・ショップ満足度	90.5%	95.2%				
D	46	ホームページ満足度	72.7%	70.0%				
	51	展覧会での新規観覧者の割合	25.5%	22.1%	19.6%	17.9%	28.7%	
	52	展覧会での新規観覧者満足度	85.7%	90.1%	89.2%	89.9%	90.9%	
	53	地域別利用者割合	東部	11.8%	14.6%	13.8%	16.1%	14.3%
			中部	49.1%	56.1%	61.7%	56.6%	48.9%
			西部	20.7%	14.7%	15.2%	14.0%	14.8%
			県外	17.5%	14.1%	8.5%	13.2%	21.7%
54	2・3世代観覧割合	37.8%	51.0%	69.2%	41.6%	33.0%		

* 展覧会 A 安野光雅のふしぎな絵本展

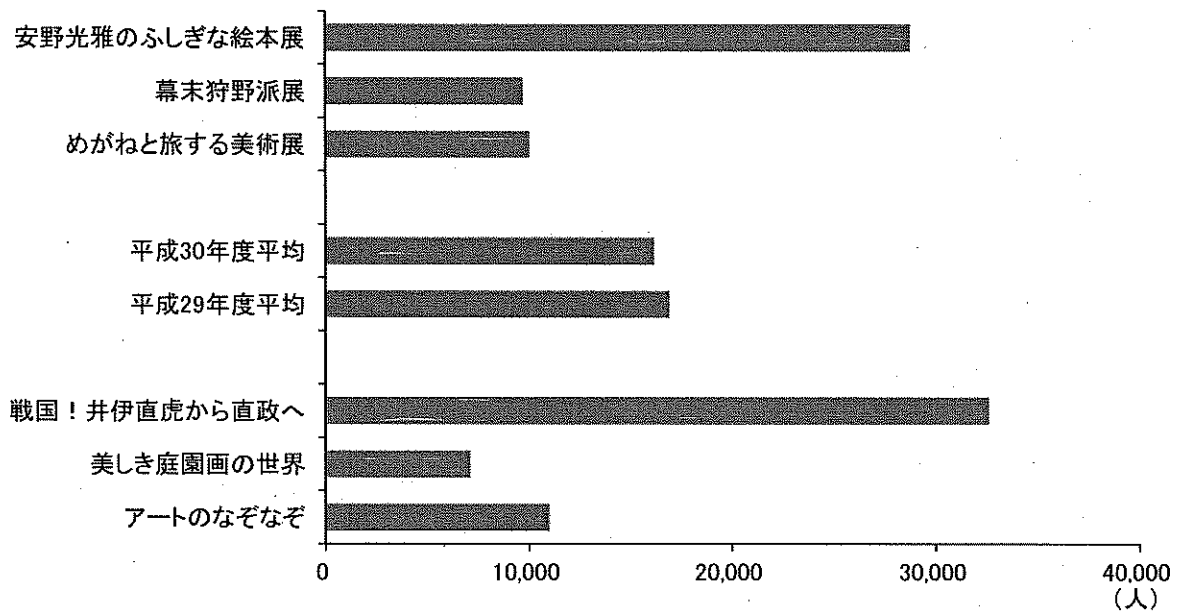
展覧会 B 幕末狩野派展

展覧会 C めがねと旅する美術展

4 展覧会アンケート結果

(1) 回収状況

		観覧者数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	28,772	566	2.0
	幕末狩野派展	9,712	385	4.0
	めがねと旅する美術展	10,013	460	4.6
経 年	平成 30 年度平均	16,166	470	2.9
	平成 29 年度平均	16,907	410	2.4
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	32,624	539	1.7
	美しき庭園画の世界	7,116	309	4.3
	アートのなぞなぞ	10,982	383	3.5



(2) 観覧者の属性

① 性別

全体

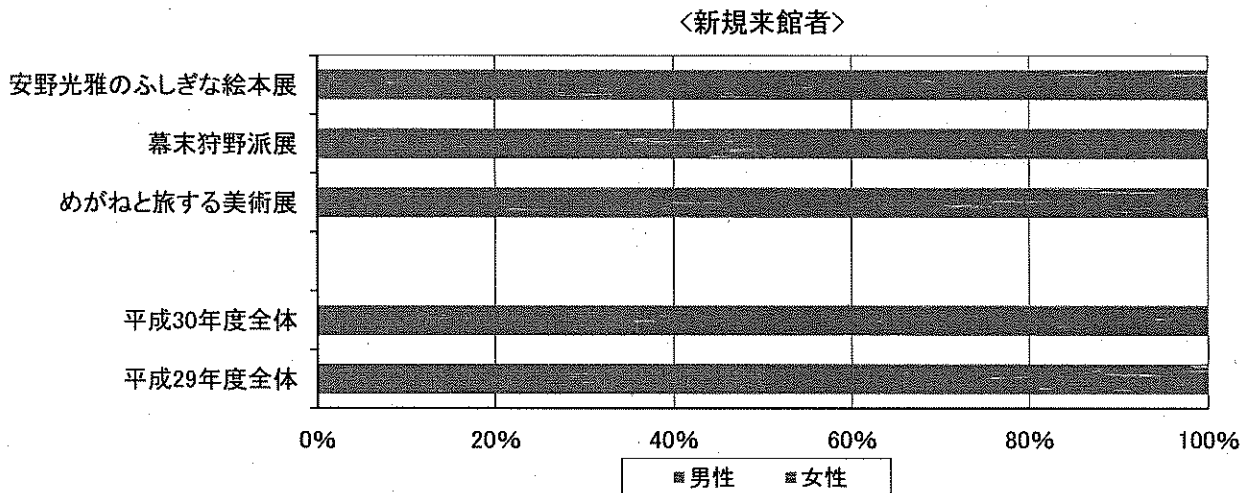
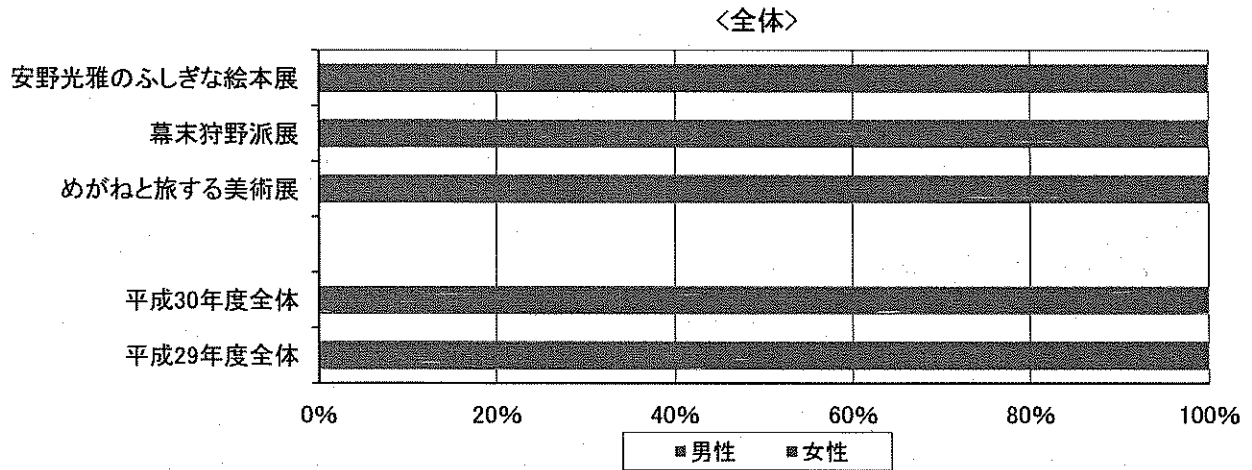
		件数 (件)	男性	女性
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	23.9	76.1
	幕末狩野派展	385	42.3	57.7
	めがねと旅する美術展	460	38.9	61.1
経 年	平成 30 年度全体	1411	33.8	66.2
	平成 29 年度全体	1231	42.2	57.8
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	38.0	62.0
	美しき庭園画の世界	309	42.7	57.3
	アートのなぞなぞ	383	47.5	52.5

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	男性	女性
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	27.0	73.0
	幕末狩野派展	69	49.3	50.7
	めがねと旅する美術展	132	37.1	62.9
経 年	平成 30 年度全体	312	36.2	63.8
	平成 29 年度全体	314	50.3	49.7
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	41.6	58.4
	美しき庭園画の世界	70	62.9	37.1
	アートのなぞなぞ	83	56.6	43.4

単位：%



性別について、平成30年度全体は、「男性」が33.8%、「女性」が66.2%と、平成29年度全体より「男性」が8.4ポイント低くなり、「女性」が8.4ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、「男性」が最も高いのは、『幕末狩野派展』の42.3%となっている。「女性」が最も高いのは、『安野光雅のふしぎな絵本展』の76.1%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「男性」が36.2%、「女性」が63.8%と、平成29年度全体より「男性」が14.1ポイント低くなり、「女性」が14.1ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、「男性」が最も高いのは、『幕末狩野派展』の49.3%、「女性」が最も高いのは、『安野光雅のふしぎな絵本展』の73.0%となっている。

② 年齢

全体

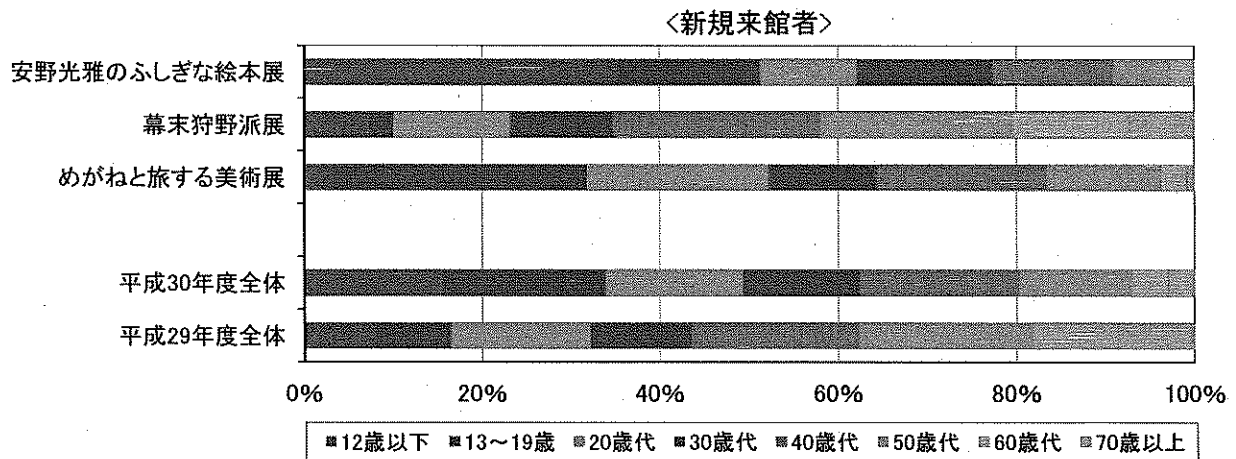
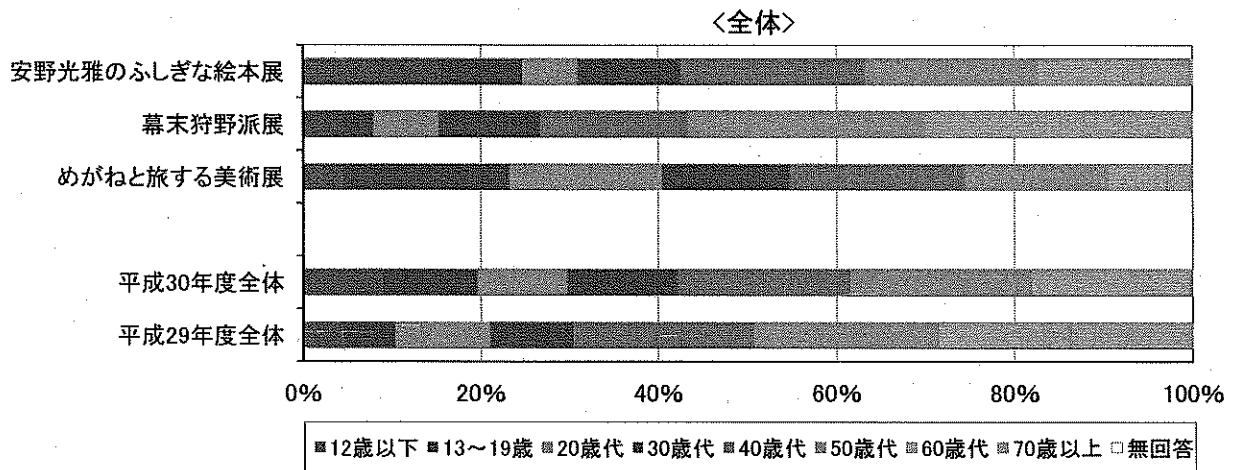
		件数 (件)	12 歳 以下	13 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上	無 回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	15.7	9.0	6.2	11.7	20.7	19.4	11.7	5.5	0.2
	幕末狩野派展	385	4.4	3.6	7.3	11.4	16.6	26.8	17.7	12.2	0.0
	めがねと旅する美術展	460	4.3	18.9	17.2	14.3	19.8	16.1	6.5	2.8	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	8.9	10.8	10.1	12.5	19.3	20.3	11.6	6.4	0.1
	平成 29 年度全体	1231	4.5	6.0	10.6	9.4	20.3	20.7	14.8	13.7	0.0
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	7.6	3.0	6.1	7.4	23.6	22.6	16.3	13.4	0.0
	美しき庭園画の世界	309	0.3	6.5	9.7	11.3	12.3	17.5	20.7	21.7	0.0
	アートのなぞなぞ	383	3.4	9.9	17.5	10.7	22.2	20.6	7.8	7.8	0.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	12 歳 以下	13 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	35.1	16.2	10.8	15.3	13.5	6.3	0.0	2.7
	幕末狩野派展	69	7.2	2.9	13.0	11.6	23.2	21.7	13.0	7.2
	めがねと旅する美術展	132	3.0	28.8	20.5	12.1	18.9	12.9	3.0	0.8
経 年	平成 30 年度全体	312	15.4	18.6	15.4	13.1	17.9	12.5	4.2	2.9
	平成 29 年度全体	314	8.0	8.6	15.6	11.5	18.8	19.4	9.6	8.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	12.4	4.3	9.3	8.1	23.6	24.2	10.6	7.5
	美しき庭園画の世界	70	0.0	10.0	15.7	17.1	10.0	12.9	14.3	20.0
	アートのなぞなぞ	83	6.0	15.7	27.7	13.3	16.9	15.7	3.6	1.2

単位：％



年齢について、平成30年度全体は、「50歳代」が20.3%と最も高く、次いで「40歳代」が19.3%、「30歳代」が12.5%の順となっている。

展覧会別にみると、『安野光雅のふしぎな絵本展』では他の展覧会と比べて「12歳以下」が15.7%と高く、また『めがねと旅する美術展』では「13~19歳」が18.9%、「20歳代」が17.2%と高くなっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「13~19歳」が18.6%と最も高く、次いで「40歳代」が17.9%、「12歳以下」と「20歳代」が15.4%の順となっている。

特に『安野光雅のふしぎな絵本展』では「12歳以下」が35.1%と高く、『幕末狩野派展』では「50歳代」が21.7%、「60歳代」が13.0%と他の展覧会と比べて高くなっている。『めがねと旅する美術展』では「13~19歳」が28.8%と高くなっている。

③ 居住地

全体

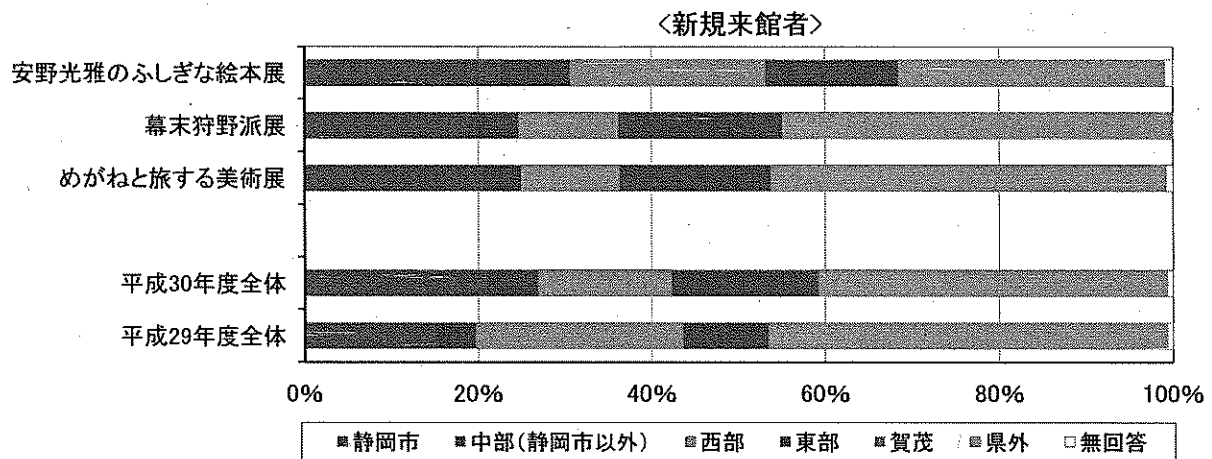
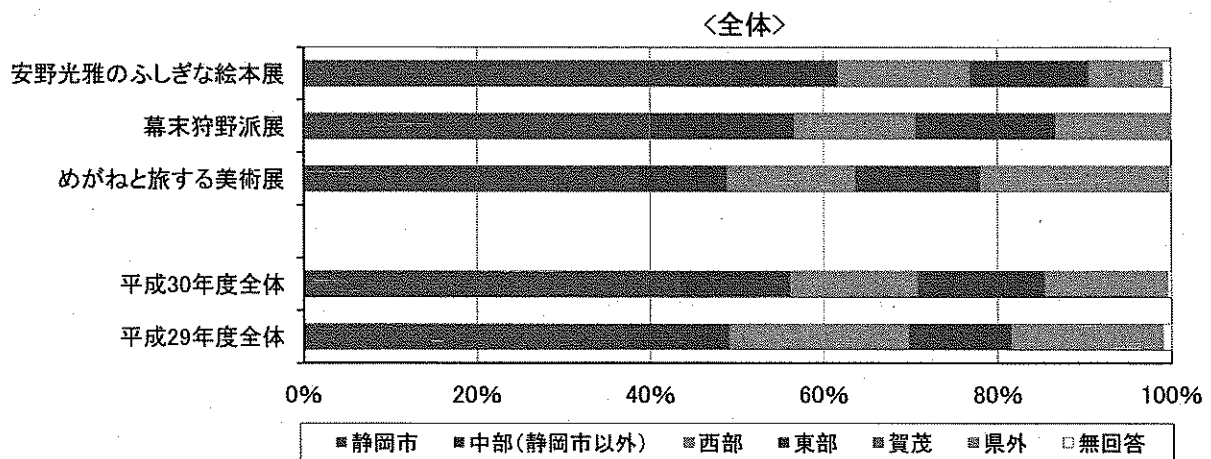
		件数 (件)	静岡 市	中部 (静岡 市以外)	西部	東部	賀茂	県外	無回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	49.3	12.4	15.2	13.8	0.0	8.5	0.9
	幕末狩野派展	385	40.0	16.6	14.0	16.1	0.0	13.2	0.0
	めがねと旅する美術展	460	38.7	10.2	14.8	14.3	0.0	21.7	0.2
経 年	平成 30 年度全体	1411	43.3	12.8	14.7	14.6	0.0	14.1	0.4
	平成 29 年度全体	1231	37.3	11.9	20.7	11.8	0.0	17.5	0.9
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	33.2	11.7	31.5	10.6	0.0	12.2	0.7
	美しき庭園画の世界	309	40.5	13.3	10.7	12.0	0.0	22.3	1.3
	アートのなぞなぞ	383	40.5	11.0	13.6	13.3	0.0	20.9	0.8

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	静岡 市	中部 (静岡 市以外)	西部	東部	賀茂	県外	無回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	22.5	8.1	22.5	15.3	0.0	30.6	0.9
	幕末狩野派展	69	18.8	5.8	11.6	18.8	0.0	44.9	0.0
	めがねと旅する美術展	132	20.5	4.5	11.4	17.4	0.0	45.5	0.8
経 年	平成 30 年度全体	312	20.8	6.1	15.4	17.0	0.0	40.1	0.6
	平成 29 年度全体	314	15.0	4.8	23.9	9.9	0.0	45.9	0.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	12.4	5.6	38.5	7.5	0.0	34.8	1.2
	美しき庭園画の世界	70	17.1	5.7	11.4	11.4	0.0	54.3	0.0
	アートのなぞなぞ	83	18.1	2.4	6.0	13.3	0.0	60.2	0.0

単位：％



居住地について、平成30年度全体は、「静岡県」が43.3%と最も高く、次いで「西部」が14.7%、「東部」が14.6%の順となっている。

展覧会別にみると、『めがねと旅する美術展』では「県外」が21.7%と他の展覧会と比べて高くなっている。また、『安野光雅のふしぎな絵本展』と『幕末狩野派展』では、「静岡県」と「中部（静岡県以外）」を合わせた「中部」が半数を超えている。

新規来館者の平成30年度全体は、「県外」が40.1%と最も高く、次いで「静岡県」が20.8%、「東部」が17.0%の順となっている。平成29年度全体と比べると、「静岡県」は5.8ポイント、「東部」は7.1ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、『安野光雅のふしぎな絵本展』では「西部」が22.5%と他の展覧会と比べて高くなっている。

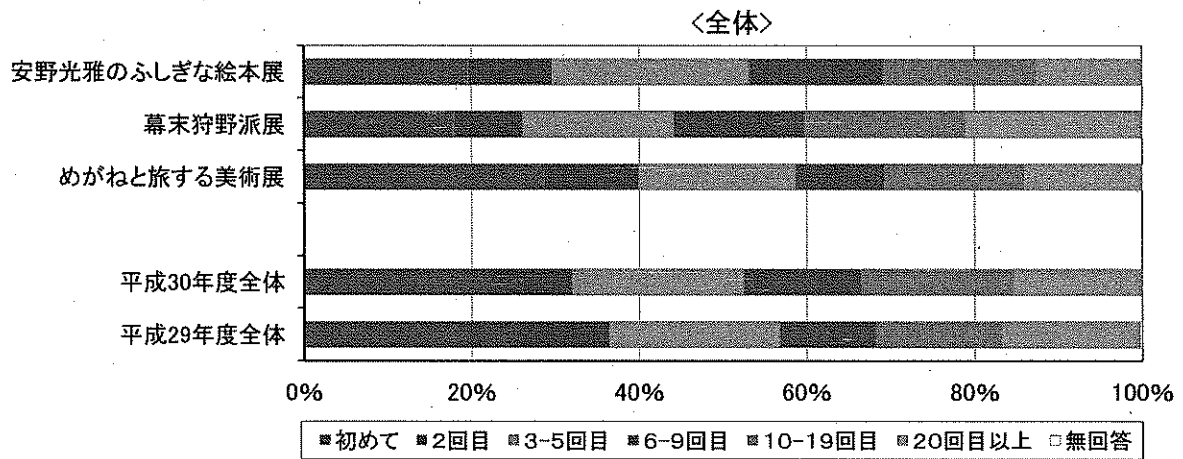
(3) 観覧者の行動

① 美術館への来館回数

全体

		件数 (件)	初 め て	2 回 目	3 - 5 回 目	6 - 9 回 目	10 - 19 回 目	20 回 目 以 上	無 回 答
平成 30 年 度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	19.6	10.1	23.5	15.9	18.4	12.5	0.0
	幕末狩野派展	385	17.9	8.3	17.9	15.6	19.2	21.0	0.0
	めがねと旅する美術展	460	28.7	11.3	18.7	10.7	16.5	14.1	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	22.1	10.0	20.4	14.1	18.0	15.4	0.0
	平成 29 年度全体	1231	25.5	11.0	20.3	11.5	14.9	16.5	0.2
平成 29 年 度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	29.9	14.1	21.3	10.8	12.2	11.7	0.0
	美しき庭園画の世界	309	22.7	7.4	19.7	10.0	16.2	23.6	0.3
	アートのなぞなぞ	383	21.7	9.4	19.3	13.8	17.8	17.5	0.5

単位：%



美術館への来館回数について、平成30年度全体は、「初めて」が22.1%と最も高く、次いで「3-5回目」が20.4%、「10-19回目」が18.0%の順となっている。

展覧会別にみると、「初めて」が最も高いのは『めがねと旅する美術展』の28.7%で、次いで『安野光雅のふしぎな絵本展』が19.6%、『幕末狩野派展』が17.9%の順となっている。

② 来館時の人数

全体

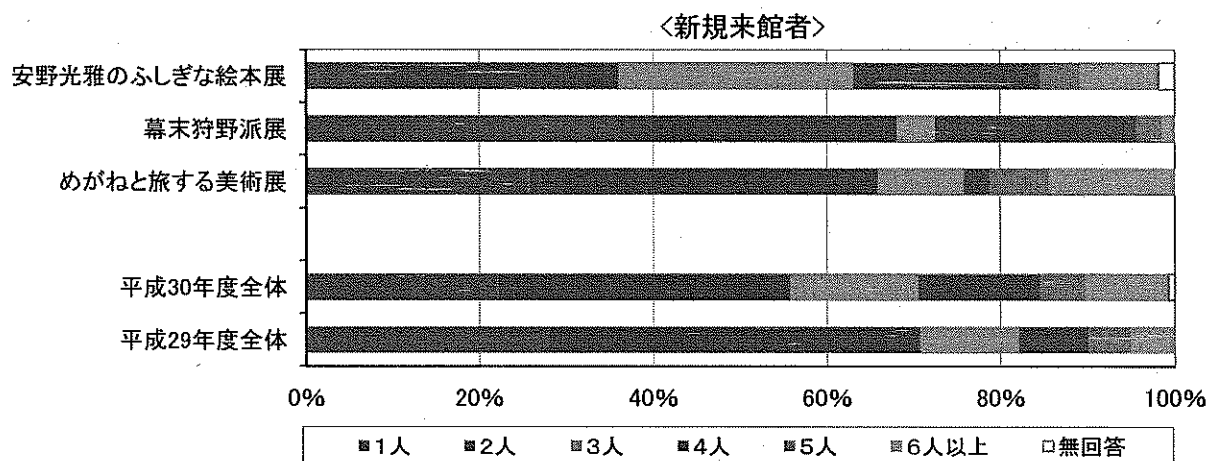
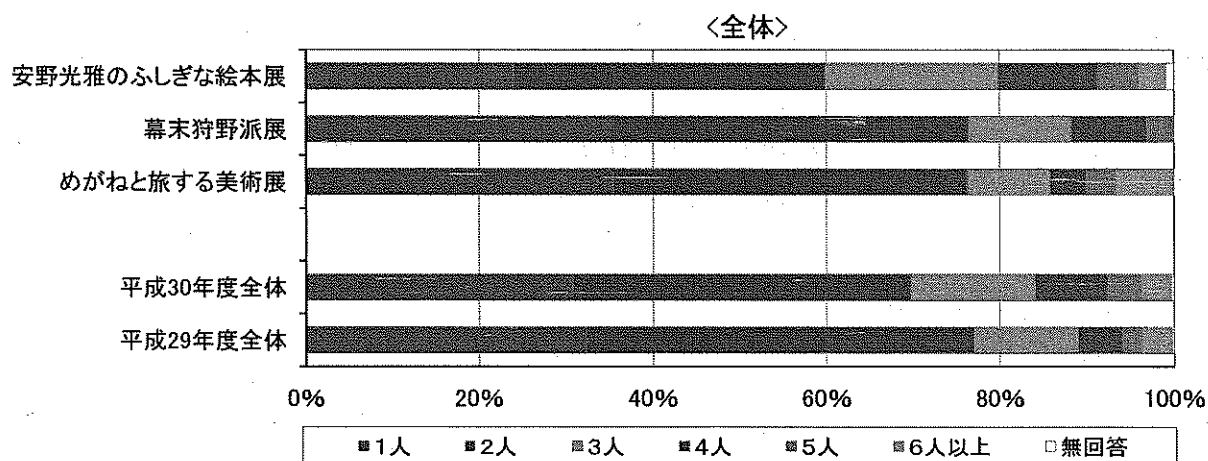
		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上	無 回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	24.0	35.9	20.0	11.5	4.6	3.2	0.9
	幕末狩野派展	385	35.1	41.3	11.9	8.6	2.9	0.3	0.0
	めがねと旅する美術展	460	35.4	40.9	9.6	4.1	3.5	6.5	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	30.8	39.0	14.4	8.3	3.8	3.5	0.4
	平成 29 年度全体	1231	32.3	44.7	12.1	5.0	2.4	3.4	0.2
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	28.2	44.7	15.2	6.7	2.6	2.6	0.0
	美しき庭園画の世界	309	42.4	45.6	6.8	1.9	1.0	2.3	0.0
	アートのなぞなぞ	383	30.0	43.9	12.0	5.0	3.1	5.5	0.5

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上	無 回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	9.0	27.0	27.0	21.6	4.5	9.0	1.8
	幕末狩野派展	69	36.2	31.9	4.3	23.2	2.9	1.4	0.0
	めがねと旅する美術展	132	25.8	40.2	9.8	3.0	6.8	14.4	0.0
経 年	平成 30 年度全体	312	22.1	33.7	14.7	14.1	5.1	9.6	0.6
	平成 29 年度全体	314	28.0	42.7	11.5	8.0	4.8	5.1	0.0
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	23.0	41.6	17.4	11.2	3.7	3.1	0.0
	美しき庭園画の世界	70	37.1	51.4	5.7	1.4	1.4	2.9	0.0
	アートのなぞなぞ	83	30.1	37.3	4.8	7.2	9.6	10.8	0.0

単位：%



来館時の人数について、平成30年度全体は、「2人」が39.0%と最も高く、次いで「1人」が30.8%、「3人」が14.4%の順となっている。

展覧会別にみると、『安野光雅のふしぎな絵本展』では「3人」が20.0%と他の展覧会と比べて高くなっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「2人」が33.7%と最も高く、次いで「1人」が22.1%、「3人」が14.7%の順になっている。

展覧会別にみると、『安野光雅のふしぎな絵本展』では他の展覧会と比べて「3人」が27.0%と高く、「1人」は9.0%と低くなっている。『幕末狩野派展』では「1人」が36.2%と他の展覧会と比べて高くなっている。

③ 当日の来館の同行者（複数回答可）

来館時の人数で、2人以上で来館したと回答した方のみ

全体

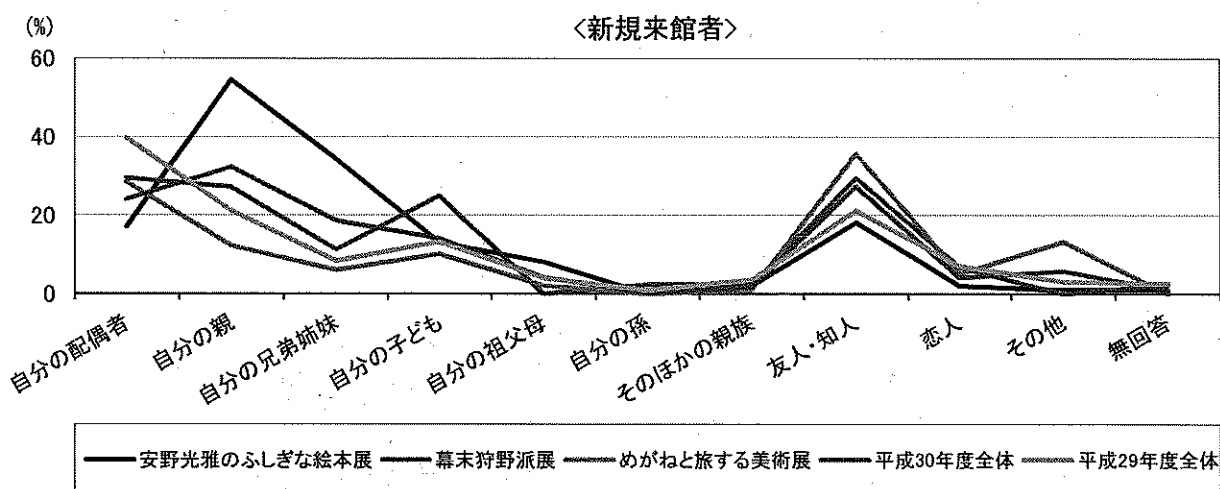
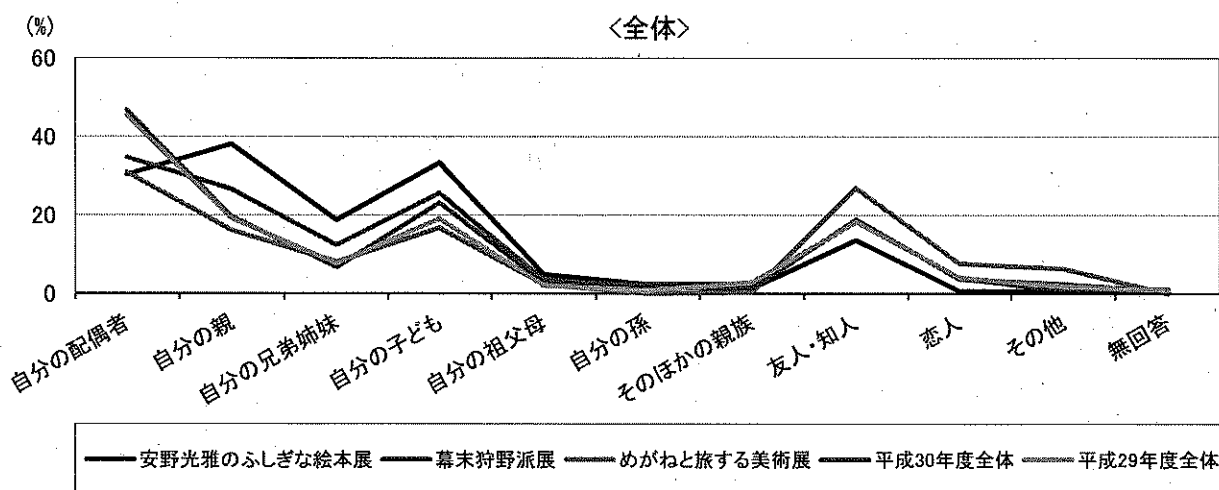
		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他	無 回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	425	30.4	38.1	18.8	33.4	4.9	2.4	1.4	13.6	0.7	0.7	0.5
	幕末狩野派展	250	46.8	19.6	6.8	23.2	2.8	2.4	2.4	18.4	4.0	0.8	1.2
	めがねと旅する美術展	297	31.0	16.2	8.1	16.8	2.4	0.0	0.3	26.9	7.7	6.4	0.0
経 年	平成 30 年度全体	972	34.8	26.6	12.4	25.7	3.6	1.6	1.3	18.9	3.7	2.5	0.5
	平成 29 年度全体	831	45.4	19.3	7.7	19.1	2.0	0.8	2.9	18.3	4.1	1.9	0.8
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	387	48.8	22.7	7.5	18.3	2.8	1.6	4.7	14.0	1.8	2.1	1.3
	美しき庭園画の世界	178	44.9	8.4	7.9	15.2	0.6	0.0	1.7	26.4	5.1	1.7	0.0
	アートのなぞなぞ	266	40.6	21.4	7.9	22.9	1.9	0.4	1.1	19.2	6.8	1.9	0.8

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他	無 回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	99	17.2	54.5	34.3	13.1	8.1	0.0	2.0	18.2	2.0	1.0	1.0
	幕末狩野派展	44	29.5	27.3	11.4	25.0	0.0	2.3	2.3	29.5	6.8	0.0	2.3
	めがねと旅する美術展	98	28.6	12.2	6.1	10.2	2.0	0.0	1.0	35.7	5.1	13.3	0.0
経 年	平成 30 年度全体	241	24.1	32.4	18.7	14.1	4.1	0.4	1.7	27.4	4.1	5.8	0.8
	平成 29 年度全体	226	39.8	21.2	8.4	13.3	4.0	0.9	3.5	21.2	7.1	3.1	2.7
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	124	43.5	26.6	8.1	19.4	5.6	1.6	4.8	11.3	4.0	2.4	3.2
	美しき庭園画の世界	44	52.3	2.3	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	36.4	4.5	4.5	0.0
	アートのなぞなぞ	58	22.4	24.1	15.5	6.9	3.4	0.0	3.4	31.0	15.5	3.4	3.4

単位：%

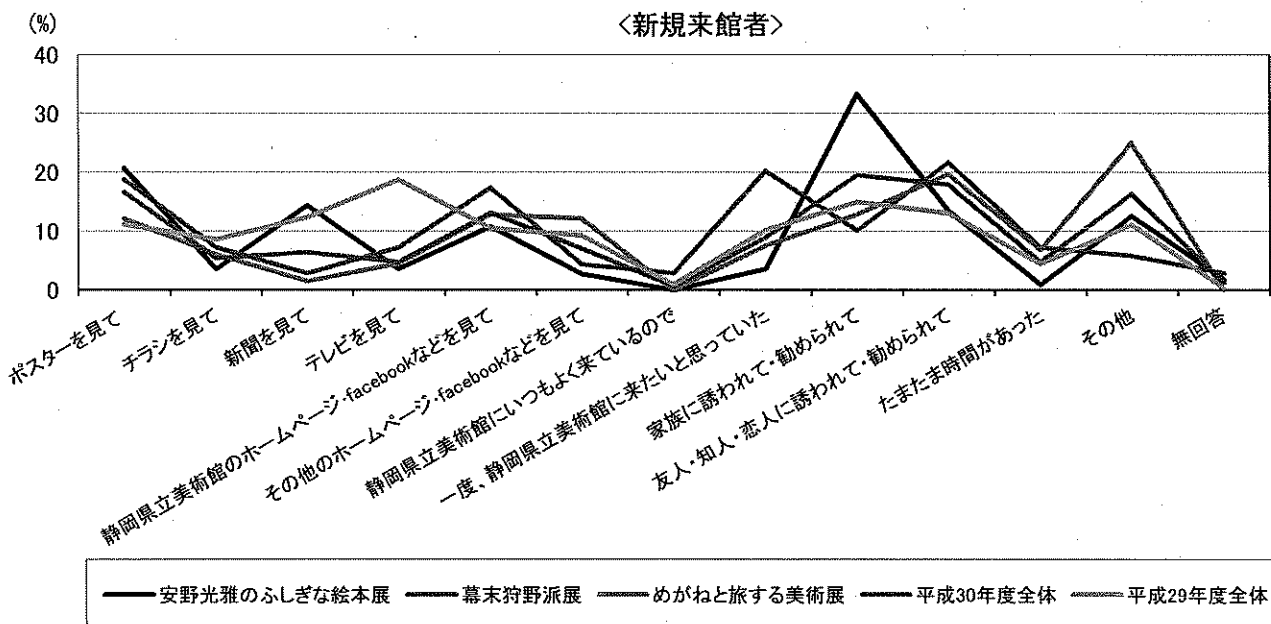
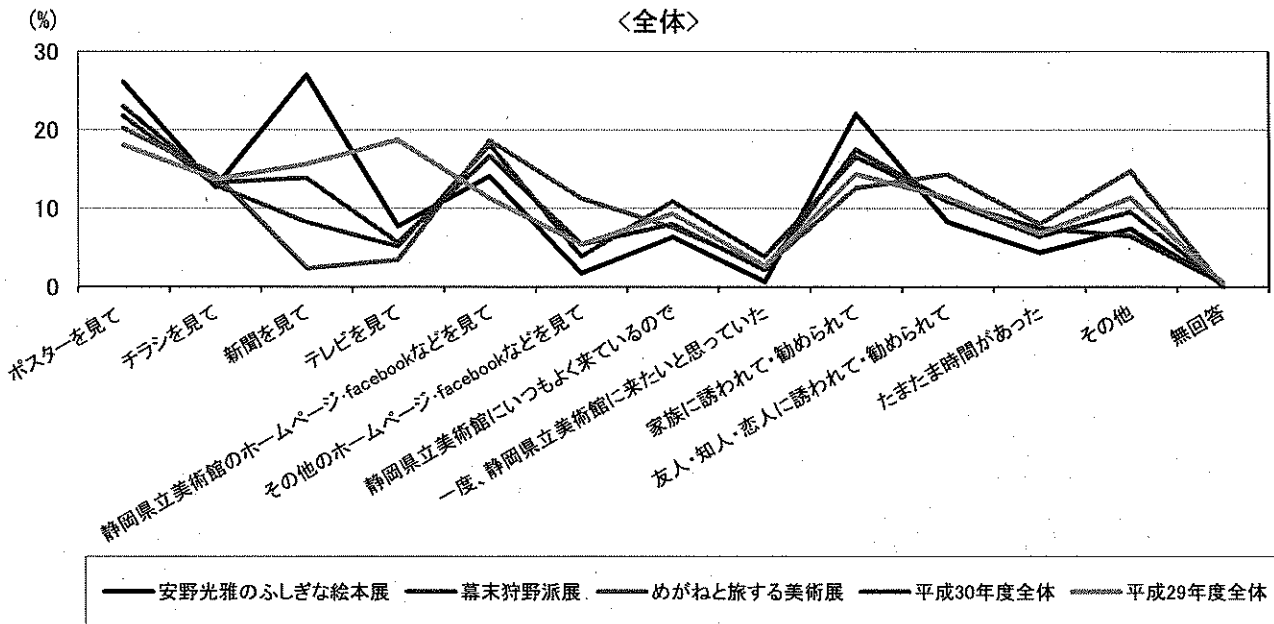


当日の来館の同行者について、平成30年度全体は、「自分の配偶者」が34.8%と最も高く、次いで「自分の親」が26.6%、「自分の子ども」が25.7%の順となっている。

展覧会別にみると、『幕末狩野派展』では「自分の配偶者」が46.8%と他の展覧会と比べて高くなっている。「安野光雅のふしぎな絵本展」では「自分の親」が38.1%、「自分の子ども」が33.4%と高くなっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「自分の親」が32.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が27.4%、「自分の配偶者」が24.1%の順となっている。

展覧会別にみると、『めがねと旅する美術展』では「友人・知人」が35.7%と最も高くなっている。「安野光雅のふしぎな絵本展」では「自分の親」が54.5%、「自分の兄弟姉妹」が34.3%と他の展覧会と比べて高くなっている。



展覧会に来たきっかけ・理由について、平成30年度全体は、「ポスターを見て」が23.0%と最も高く、次いで「家族に誘われて・勧められて」が17.5%、「静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て」が16.7%の順になっている。

展覧会別にみると、『安野光雅のふしぎな絵本展』では「新聞を見て」が27.0%と最も高く、次いで「ポスターを見て」が26.1%の順になっている。『めがねと旅する美術展』では「その他のホームページ・facebookなどを見て」が11.3%と他の展覧会と比べて高くなっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「家族に誘われて・勧められて」が19.6%と最も高く、次いで「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」が17.9%、「ポスターを見て」が16.7%の順になっている。

展覧会別にみると、『安野光雅のふしぎな絵本展』では「家族に誘われて・勧められて」が33.3%と最も高く、『めがねと旅する美術展』では「その他」が25.0%となっている。『幕末狩野派展』では「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」が21.7%と最も高く、次いで「一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた」が20.3%の順になっている。

来館時期別 展覧会に来たきっかけ・理由

展覧会	件数(件)			ポスターを見て			チラシを見て			新聞を見て			テレビを見て		
	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	566	385	460	26.1	21.8	20.2	12.7	13.0	14.3	27.0	8.3	2.4	7.8	5.2	3.5
序盤	94	24	93	24.5	33.3	19.4	17.0	12.5	12.9	25.5	4.2	0.0	7.4	4.2	2.2
中盤	178	196	122	26.4	20.4	19.7	10.7	15.3	10.7	21.9	10.2	2.5	9.6	4.1	2.5
終盤	294	165	245	26.5	21.8	20.8	12.6	10.3	16.7	30.6	6.7	3.3	6.8	6.7	4.5
	静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て			その他のホームページ・facebookなどを見て			静岡県立美術館にいつもよく来ているので			一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた			家族に誘われて・勧められて		
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	14.1	18.2	18.7	1.8	3.9	11.3	6.4	10.9	7.6	0.7	3.9	2.6	22.1	16.6	12.6
序盤	19.1	29.2	17.2	2.1	0.0	11.8	5.3	12.5	9.7	1.1	0.0	3.2	24.5	16.7	8.6
中盤	16.3	18.4	25.4	1.7	4.6	14.8	4.5	12.8	9.0	0.6	3.6	0.8	20.2	15.8	12.3
終盤	11.2	16.4	15.9	1.7	3.6	9.4	7.8	8.5	6.1	0.7	4.8	3.3	22.4	17.6	14.3
	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて			たまたま時間があつた			その他			無回答					
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*			
全体	8.3	10.9	14.3	4.4	7.5	8.0	7.4	6.5	14.8	0.4	0.5	0.0			
序盤	5.3	16.7	14.0	6.4	12.5	10.8	9.6	4.2	20.4	0.0	0.0	0.0			
中盤	6.2	10.2	12.3	3.9	12.2	8.2	8.4	4.6	18.0	0.6	0.0	0.0			
終盤	10.5	10.9	15.5	4.1	1.2	6.9	6.1	9.1	11.0	0.3	1.2	0.0			

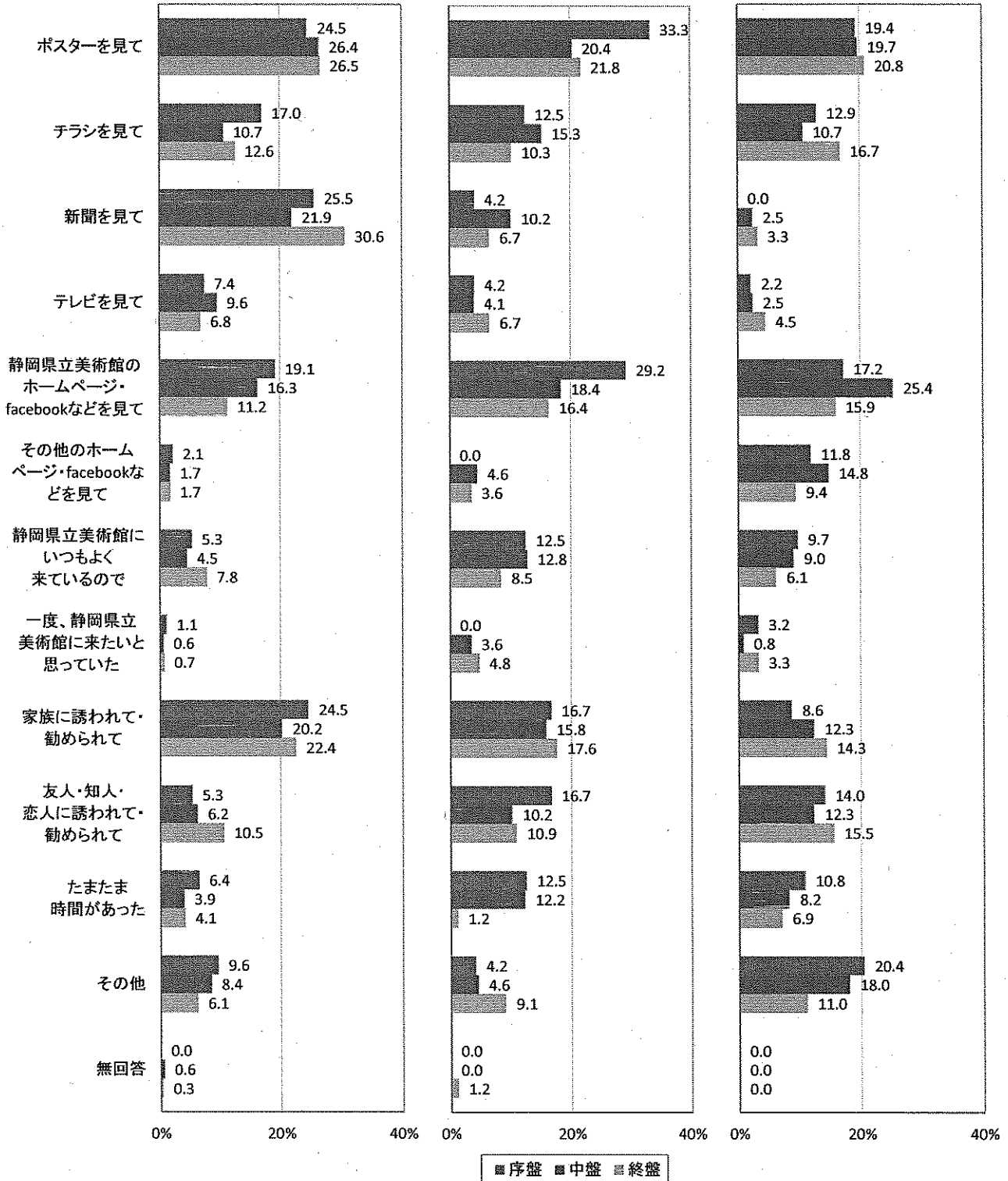
単位：%

*展覧会A・・・安野光雅のふしぎな絵本展
 展覧会B・・・幕末狩野派展
 展覧会C・・・めがねと旅する美術展

<安野光雅のふしぎな絵本展>

<幕末狩野派展>

<めがねと旅する美術展>



来館時期別来館のきっかけについて、『安野光雅のふしぎな絵本展』では「新聞を見て」が<全体>27.0%と最も高く、<序盤>25.5%、<中盤>21.9%、<終盤>30.6%となっている。『幕末狩野派展』では、「ポスターを見て」が<全体>21.8%と最も高く、<序盤>33.3%、<中盤>20.4%、<終盤>21.8%となっている。『めがねと旅する美術展』では、「ポスターを見て」が<全体>20.2%と最も高く、<序盤>19.4%、<中盤>19.7%、<終盤>20.8%となっている。

⑥ 勧誘の手段（複数回答可）

展覧会に来たきっかけ・理由で、家族・友人・知人・恋人に誘われて・勧められてと回答した方のみ
全体

		件数 (件)	直接会 つて	電話 で	SNS など	携 帯メ ール	エ メ ール (パ ソ コ ン)	そ の 他	無 回 答
平成 30 年 度	安野光雅のふしぎな絵本展	169	86.4	1.8	3.6	4.1	0.6	0.0	3.6
	幕末狩野派展	105	82.9	3.8	3.8	6.7	0.0	3.8	1.9
	めがねと旅する美術展	124	69.4	0.8	18.5	4.8	0.0	8.1	3.2
経 年	平成 30 年度全体	398	80.2	2.0	8.3	5.0	0.3	3.5	3.0
	平成 29 年度全体	313	72.2	6.4	12.8	6.4	1.0	2.6	3.2
平成 29 年 度	戦国！井伊直虎から直政へ	118	73.7	6.8	6.8	11.0	0.0	1.7	4.2
	美しき庭園画の世界	90	70.0	6.7	16.7	6.7	2.2	1.1	2.2
	アートのなぞなぞ	105	72.4	5.7	16.2	1.0	1.0	4.8	2.9

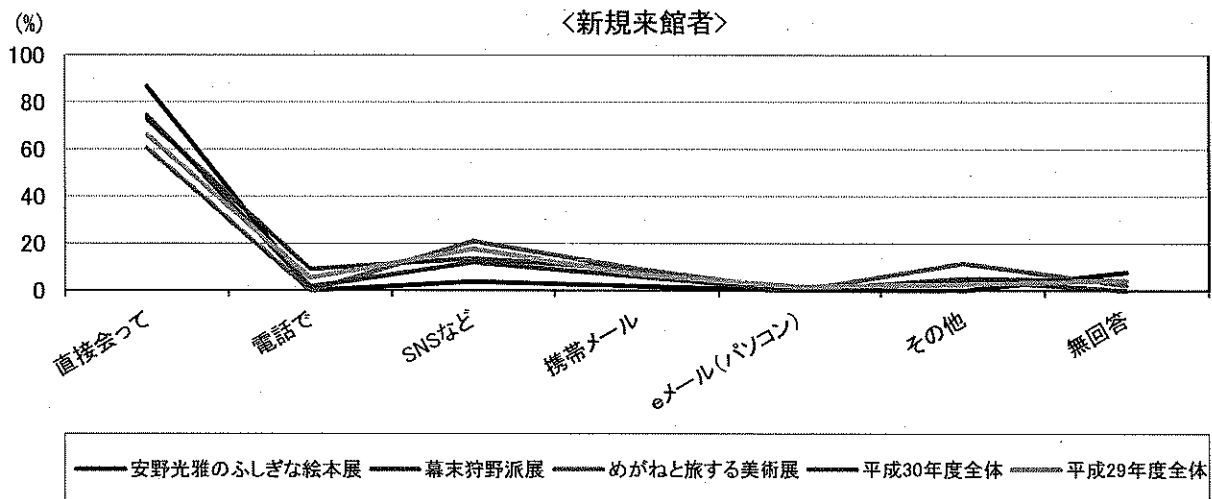
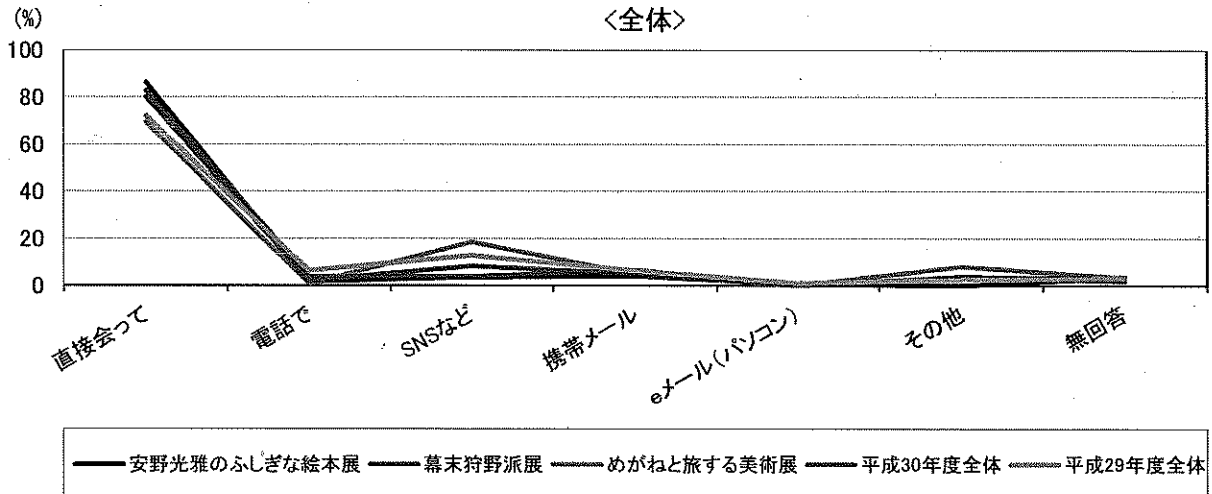
単位：％

新規来館者

		件数 (件)	直接会 つて	電話 で	SNS など	携 帯メ ール	エ メ ール (パ ソ コ ン)	そ の 他	無 回 答
平成 30 年 度	安野光雅のふしぎな絵本展	52	86.5	0.0	3.8	1.9	0.0	0.0	7.7
	幕末狩野派展	22	72.7	9.1	13.6	9.1	0.0	4.5	0.0
	めがねと旅する美術展	43	60.5	0.0	20.9	9.3	0.0	11.6	2.3
経 年	平成 30 年度全体	117	74.4	1.7	12.0	6.0	0.0	5.1	4.3
	平成 29 年度全体	186	66.1	5.4	17.7	7.0	1.6	2.7	4.3
平成 29 年 度	戦国！井伊直虎から直政へ	73	71.2	6.8	8.2	12.3	0.0	1.4	5.5
	美しき庭園画の世界	57	64.9	1.8	22.8	5.3	3.5	1.8	3.5
	アートのなぞなぞ	56	60.7	7.1	25.0	1.8	1.8	5.4	3.6

単位：％

※SNSなどはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixiなどを示す



勧誘の手段について、平成30年度全体は、「直接会って」が80.2%と最も高く、次いで「SNSなど」が8.3%、「携帯メール」が5.0%の順になっている。

展覧会別にみると、「めがねと旅する美術展」では「SNSなど」が18.5%と他の展覧会に比べて高くなっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「直接会って」が74.4%と最も高く、次いで「SNSなど」が12.0%、「携帯メール」が6.0%の順になっている。

展覧会別にみると、「めがねと旅する美術展」では「SNSなど」が20.9%、「その他」が11.6%と他の展覧会に比べて高くなっている。

(4) 展覧会の評価

① 作品やテーマへの興味・関心の深まり

全体

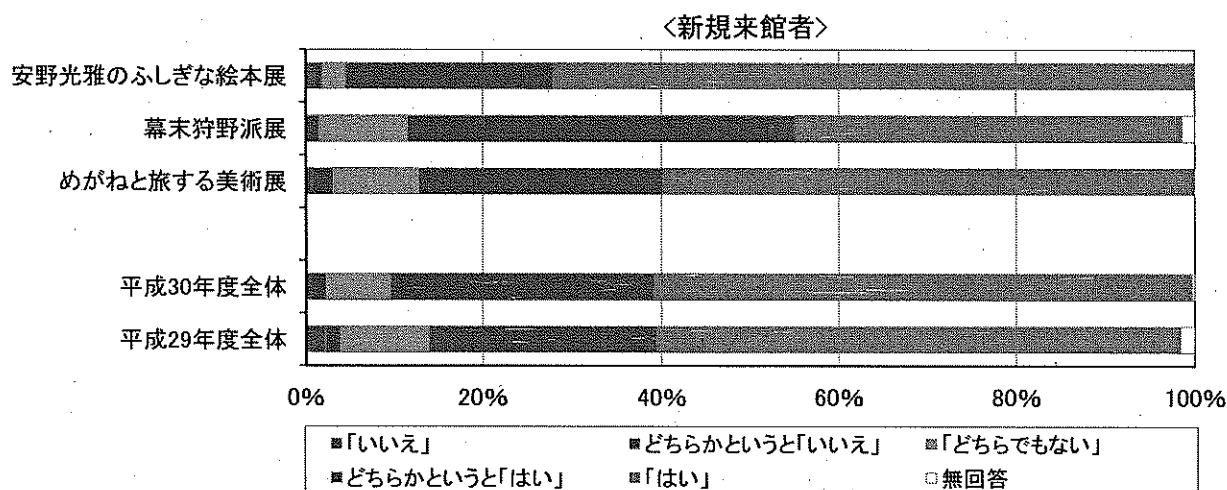
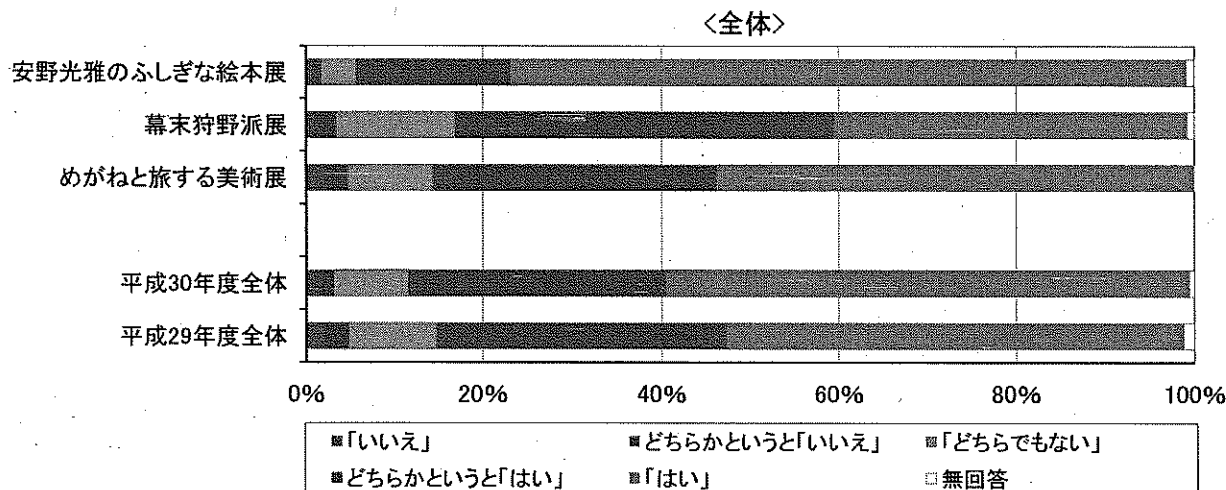
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	0.7	1.1	3.9	17.5	76.0	0.9
	幕末狩野派展	385	0.8	2.6	13.5	42.6	39.7	0.8
	めがねと旅する美術展	460	2.0	2.8	9.6	32.0	53.7	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	1.1	2.1	8.4	29.1	58.8	0.6
	平成 29 年度全体	1231	1.9	2.8	10.0	32.6	51.4	1.2
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	2.0	1.9	5.8	22.4	67.2	0.7
	美しき庭園画の世界	309	1.0	2.9	14.9	44.7	34.3	2.3
	アートのなぞなぞ	383	2.6	4.2	12.0	37.1	43.1	1.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	0.9	0.9	2.7	23.4	72.1	0.0
	幕末狩野派展	69	0.0	1.4	10.1	43.5	43.5	1.4
	めがねと旅する美術展	132	0.8	2.3	9.8	27.3	59.8	0.0
経 年	平成 30 年度全体	312	0.6	1.6	7.4	29.5	60.6	0.3
	平成 29 年度全体	314	2.2	1.6	10.2	25.5	58.9	1.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	4.3	1.9	5.6	21.1	66.5	0.6
	美しき庭園画の世界	70	0.0	1.4	18.6	25.7	50.0	4.3
	アートのなぞなぞ	83	0.0	1.2	12.0	33.7	51.8	1.2

単位：％



作品やテーマへの興味・関心の深まりについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が87.9%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が93.5%、『めがねと旅する美術展』が85.7%、『幕末狩野派展』が82.3%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は3.2%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が90.1%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が95.5%、『めがねと旅する美術展』が87.1%、『幕末狩野派展』が87.0%の順になっている。

否定的評価は2.2%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

② 会場における観覧時の心地よさ

全体

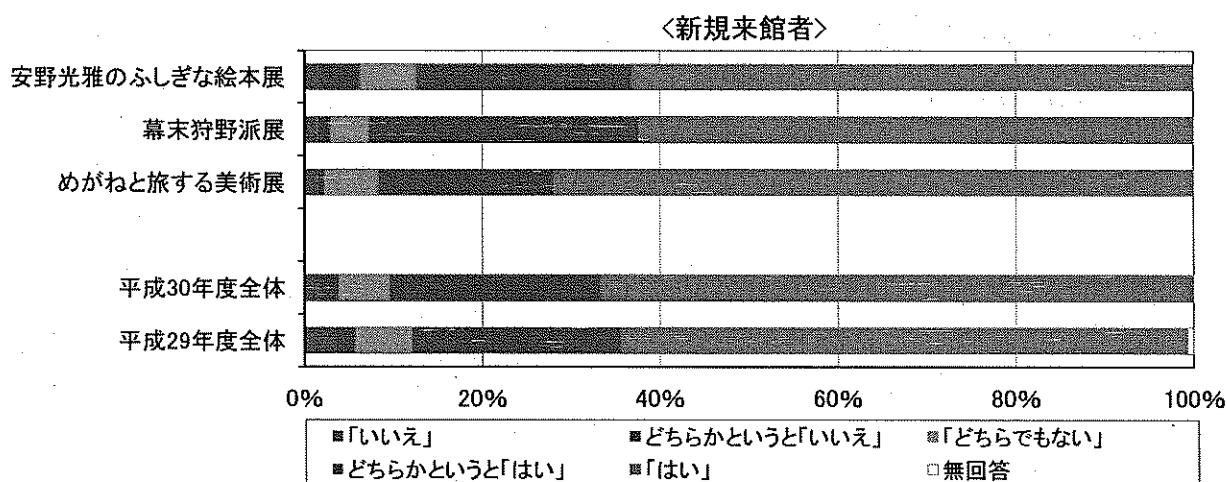
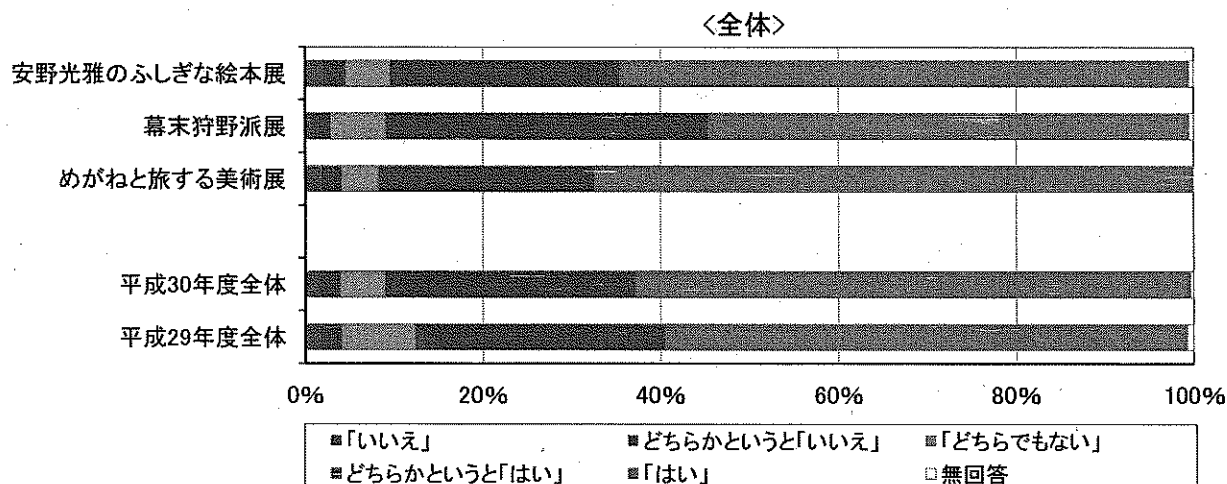
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	1.9	2.7	4.9	26.0	64.0	0.5
	幕末狩野派展	385	0.8	2.1	6.2	36.4	54.0	0.5
	めがねと旅する美術展	460	1.7	2.4	4.1	24.3	67.4	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	1.6	2.4	5.0	28.3	62.4	0.4
	平成 29 年度全体	1231	1.6	2.5	8.2	28.2	58.7	0.7
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	2.0	3.2	9.5	28.0	56.8	0.6
	美しき庭園画の世界	309	1.0	2.9	6.8	33.7	54.0	1.6
	アートのなぞなぞ	383	1.6	1.3	7.6	24.0	65.3	0.3

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	1.8	4.5	6.3	24.3	63.1	0.0
	幕末狩野派展	69	1.4	1.4	4.3	30.4	62.3	0.0
	めがねと旅する美術展	132	1.5	0.8	6.1	19.7	72.0	0.0
経 年	平成 30 年度全体	312	1.6	2.2	5.8	23.7	66.7	0.0
	平成 29 年度全体	314	3.5	2.2	6.4	23.6	63.7	0.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	5.0	2.5	8.7	24.8	59.0	0.0
	美しき庭園画の世界	70	2.9	4.3	4.3	24.3	62.9	1.4
	アートのなぞなぞ	83	1.2	0.0	3.6	20.5	73.5	1.2

単位：%



会場における観覧時の心地よさについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が90.6%となっている。肯定的評価は『めがねと旅する美術展』が91.7%、『幕末狩野派展』が90.4%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が89.9%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は4.0%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が90.4%となっている。肯定的評価は『幕末狩野派展』が92.8%、『めがねと旅する美術展』が91.7%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が87.4%の順になっている。

否定的評価は3.8%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

③ スタッフの対応の適切さ

全体

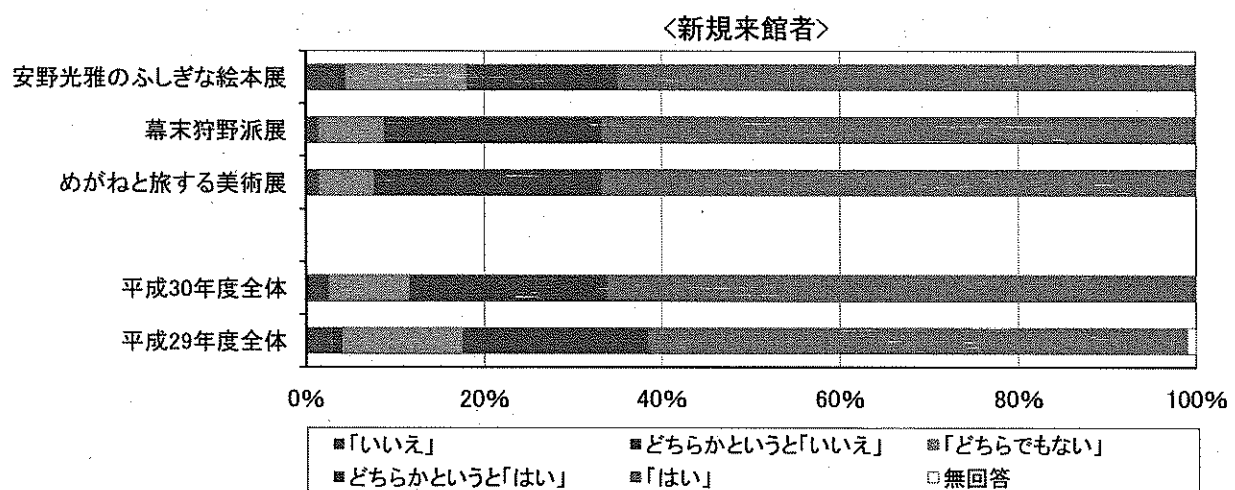
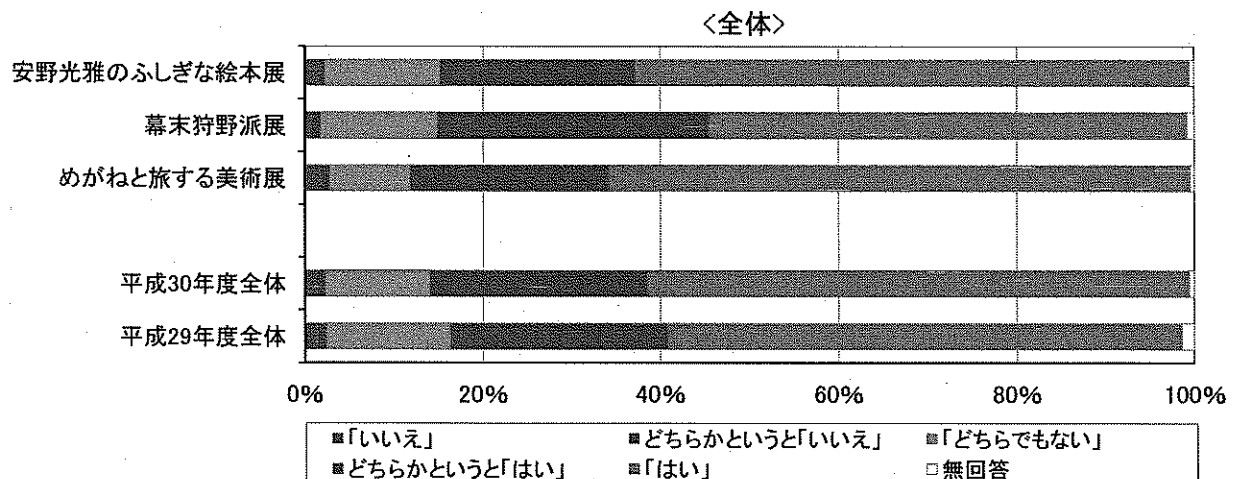
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「はい」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	1.8	0.5	12.9	22.1	62.2	0.5
	幕末狩野派展	385	0.8	1.0	13.0	30.6	53.8	0.8
	めがねと旅する美術展	460	1.7	1.1	8.9	22.6	65.2	0.4
経 年	平成30年度全体	1411	1.5	0.9	11.6	24.6	60.9	0.6
	平成29年度全体	1231	1.4	1.1	13.8	24.6	57.8	1.4
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	1.9	1.3	17.4	21.9	55.8	1.7
	美しき庭園画の世界	309	0.3	1.0	11.3	29.8	55.3	2.3
	アートのなぞなぞ	383	1.6	0.8	10.7	24.3	62.4	0.3

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「はい」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回 答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	3.6	0.9	13.5	17.1	64.9	0.0
	幕末狩野派展	69	1.4	0.0	7.2	24.6	66.7	0.0
	めがねと旅する美術展	132	1.5	0.0	6.1	25.8	66.7	0.0
経 年	平成30年度全体	312	2.2	0.3	9.0	22.4	66.0	0.0
	平成29年度全体	314	2.9	1.3	13.4	21.0	60.5	1.0
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	5.0	1.2	17.4	20.5	55.9	0.0
	美しき庭園画の世界	70	1.4	1.4	12.9	20.0	61.4	2.9
	アートのなぞなぞ	83	0.0	1.2	6.0	22.9	68.7	1.2

単位：%



スタッフの対応の適切さについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が85.5%となっている。肯定的評価は『めがねと旅する美術展』が87.8%、『幕末狩野派展』が84.4%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が84.3%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は2.3%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が88.5%となっている。肯定的評価は『めがねと旅する美術展』が92.4%、『幕末狩野派展』が91.3%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が82.0%の順になっている。

否定的評価は2.6%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

④ 展覧会のことを勧めたいか

全体

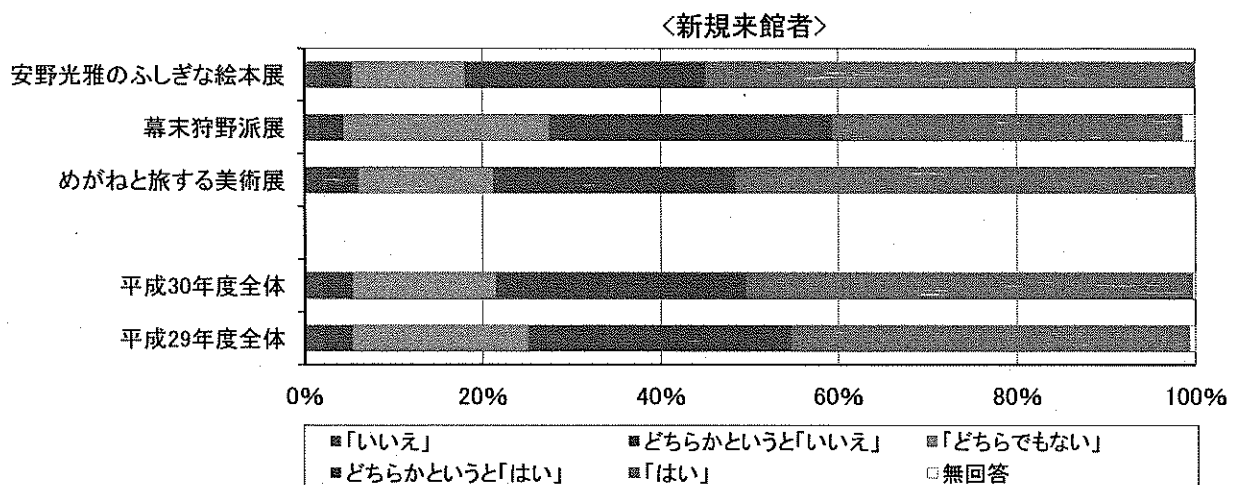
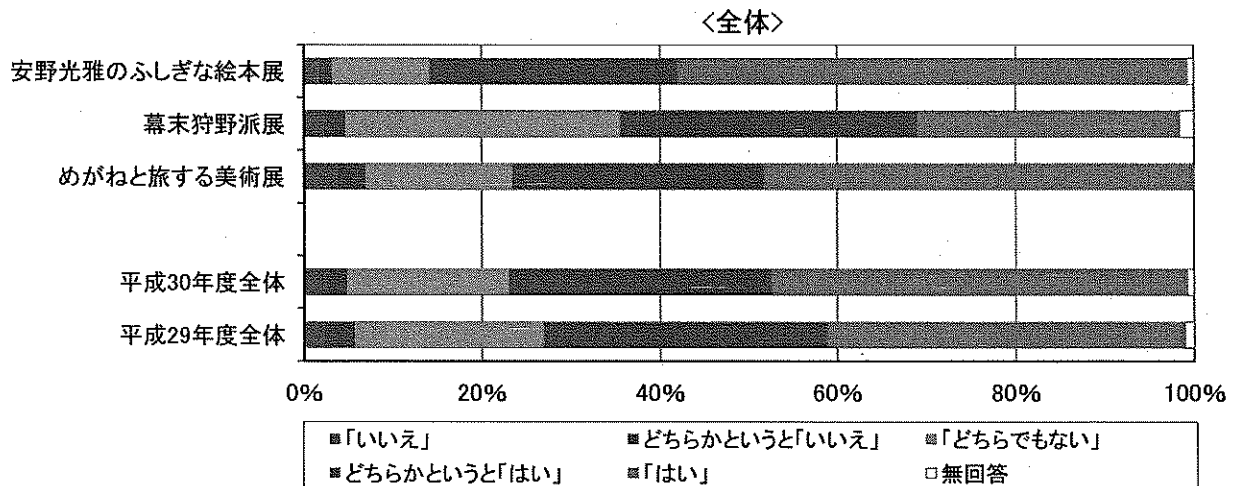
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	1.6	1.6	11.0	27.9	57.2	0.7
	幕末狩野派展	385	2.3	2.3	30.9	33.5	29.4	1.6
	めがねと旅する美術展	460	3.7	3.3	16.5	28.3	48.3	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	2.5	2.3	18.2	29.6	46.7	0.7
	平成 29 年度全体	1231	2.2	3.5	21.3	32.0	40.0	1.0
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	2.0	2.4	16.1	30.8	47.9	0.7
	美しき庭園画の世界	309	1.6	3.9	30.4	35.9	26.2	1.9
	アートのなぞなぞ	383	2.9	4.7	21.1	30.5	40.2	0.5

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	1.8	3.6	12.6	27.0	55.0	0.0
	幕末狩野派展	69	1.4	2.9	23.2	31.9	39.1	1.4
	めがねと旅する美術展	132	2.3	3.8	15.2	27.3	51.5	0.0
経 年	平成 30 年度全体	312	1.9	3.5	16.0	28.2	50.0	0.3
	平成 29 年度全体	314	2.2	3.2	19.7	29.6	44.6	0.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	4.3	3.7	16.8	27.3	47.8	0.0
	美しき庭園画の世界	70	0.0	1.4	22.9	37.1	37.1	1.4
	アートのなぞなぞ	83	0.0	3.6	22.9	27.7	44.6	1.2

単位：％



展覧会のことを勧めたいかについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が76.3%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が85.2%、『めがねと旅する美術展』が76.5%、『幕末狩野派展』が62.9%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は4.8%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が78.2%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が82.0%、『めがねと旅する美術展』が78.8%、『幕末狩野派展』が71.0%の順になっている。

否定的評価は5.4%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑤ 情報の入手しやすさ

全体

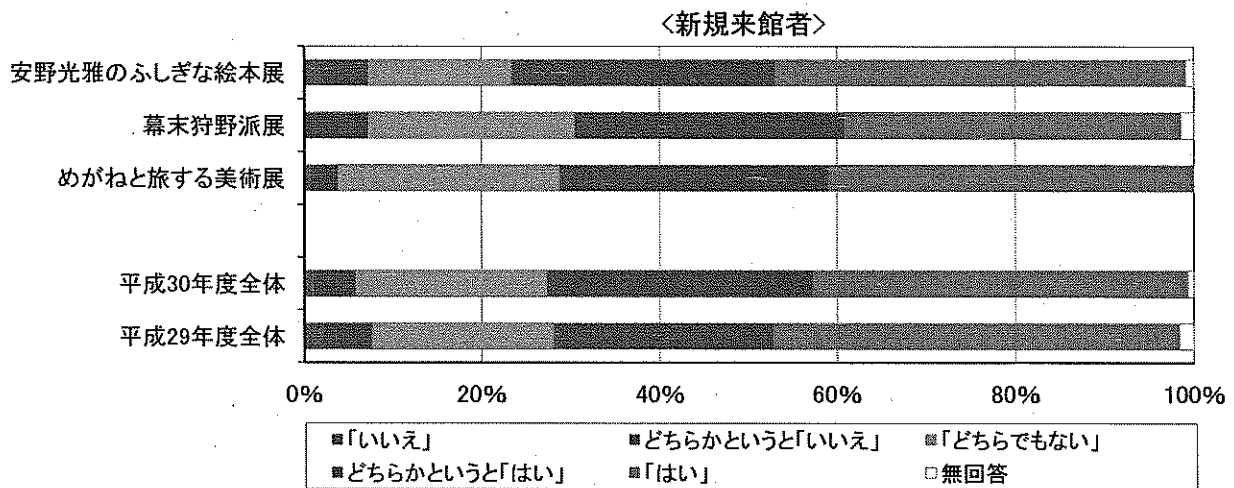
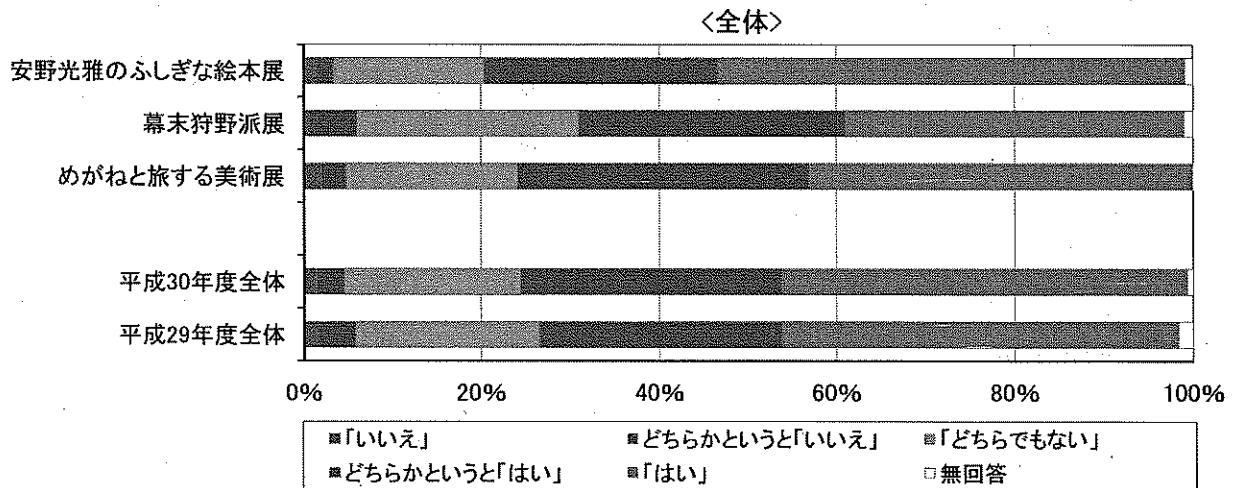
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	1.4	1.9	17.0	26.3	52.5	0.9
	幕末狩野派展	385	0.5	5.5	24.9	30.1	37.9	1.0
	めがねと旅する美術展	460	2.0	2.8	19.3	32.8	43.0	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	1.3	3.2	19.9	29.5	45.4	0.6
	平成 29 年度全体	1231	1.9	4.0	20.6	27.5	44.4	1.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	1.9	2.8	18.2	26.3	49.9	0.9
	美しき庭園画の世界	309	1.9	5.5	22.7	26.9	40.8	2.3
	アートのなぞなぞ	383	1.8	4.4	22.5	29.5	39.7	2.1

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	1.8	5.4	16.2	29.7	45.9	0.9
	幕末狩野派展	69	0.0	7.2	23.2	30.4	37.7	1.4
	めがねと旅する美術展	132	0.8	3.0	25.0	30.3	40.9	0.0
経 年	平成 30 年度全体	312	1.0	4.8	21.5	30.1	42.0	0.6
	平成 29 年度全体	314	2.2	5.4	20.4	24.8	45.5	1.6
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	3.1	3.7	18.6	24.2	49.7	0.6
	美しき庭園画の世界	70	2.9	10.0	22.9	20.0	40.0	4.3
	アートのなぞなぞ	83	0.0	4.8	21.7	30.1	42.2	1.2

単位：％



情報の入手しやすさについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が74.9%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が78.8%、『めがねと旅する美術展』が75.9%、『幕末狩野派展』が68.1%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は4.5%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が72.1%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が75.7%、『めがねと旅する美術展』が71.2%、『幕末狩野派展』が68.1%の順になっている。

否定的評価は5.8%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑥-1 来館の際の主な交通手段

全体

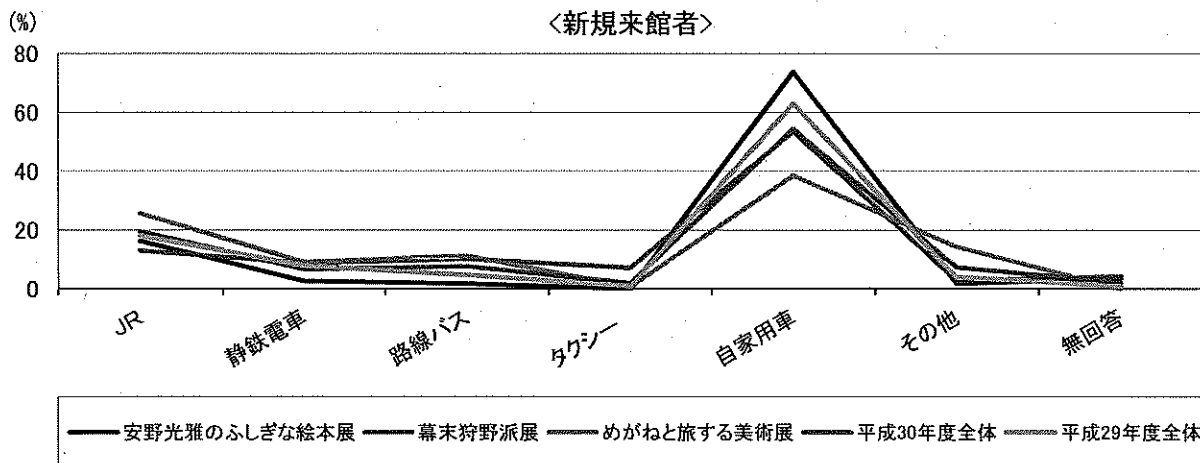
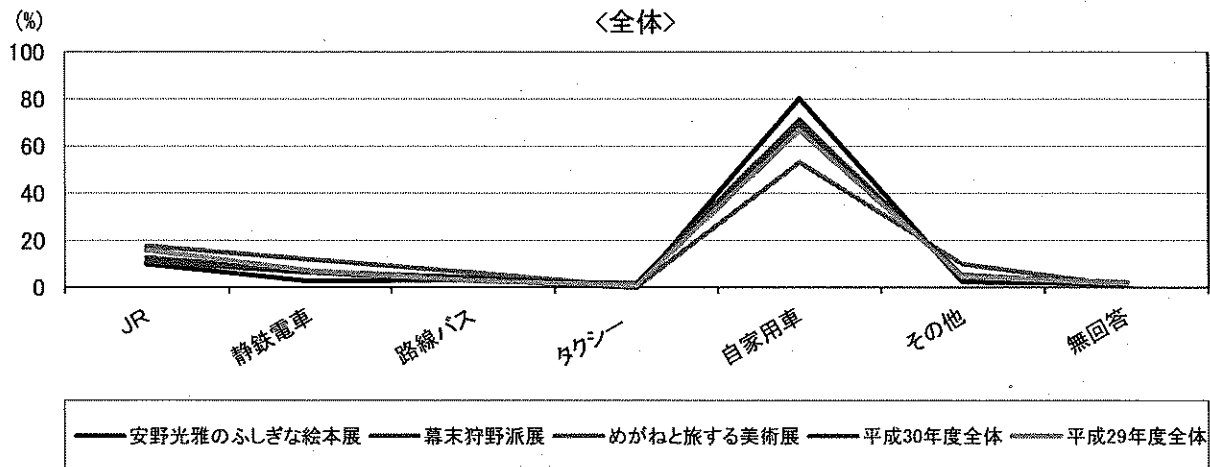
		件数 (件)	J R	静鉄電車	路線バス	タクシー	自家用車	その他	無回答
平成30年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	9.9	2.7	3.2	0.0	80.4	2.5	1.4
	幕末狩野派展	385	10.9	6.2	3.1	1.8	71.4	4.2	2.3
	めがねと旅する美術展	460	17.6	12.0	6.3	0.2	53.3	10.0	0.7
経年	平成30年度全体	1411	12.7	6.7	4.2	0.6	69.1	5.4	1.4
	平成29年度全体	1231	15.8	7.1	2.8	0.9	66.9	4.9	1.7
平成29年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	14.1	5.9	2.2	1.3	70.5	4.8	1.1
	美しき庭園画の世界	309	23.0	8.4	4.9	1.3	55.3	4.9	2.3
	アートのなぞなぞ	383	12.3	7.8	1.8	0.0	71.0	5.0	2.1

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	J R	静鉄電車	路線バス	タクシー	自家用車	その他	無回答
平成30年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	16.2	2.7	1.8	0.0	73.9	1.8	3.6
	幕末狩野派展	69	13.0	8.7	10.1	7.2	53.6	2.9	4.3
	めがねと旅する美術展	132	25.8	9.1	11.4	0.8	38.6	14.4	0.0
経年	平成30年度全体	312	19.6	6.7	7.7	1.9	54.5	7.4	2.2
	平成29年度全体	314	18.2	8.0	4.8	1.0	63.1	4.1	1.0
平成29年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	14.3	5.6	5.0	1.9	70.2	1.9	1.2
	美しき庭園画の世界	70	28.6	11.4	7.1	0.0	45.7	5.7	1.4
	アートのなぞなぞ	83	16.9	9.6	2.4	0.0	63.9	7.2	0.0

単位：%



来館の際の主な交通手段について、平成30年度全体は、「自家用車」が69.1%と最も高く、次いで「JR」が12.7%、「静鉄電車」が6.7%の順になっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「自家用車」が54.5%と最も高く、次いで「JR」が19.6%、「路線バス」が7.7%の順になっている。

⑥-2 公共交通機関の利用のスムーズさ

全体

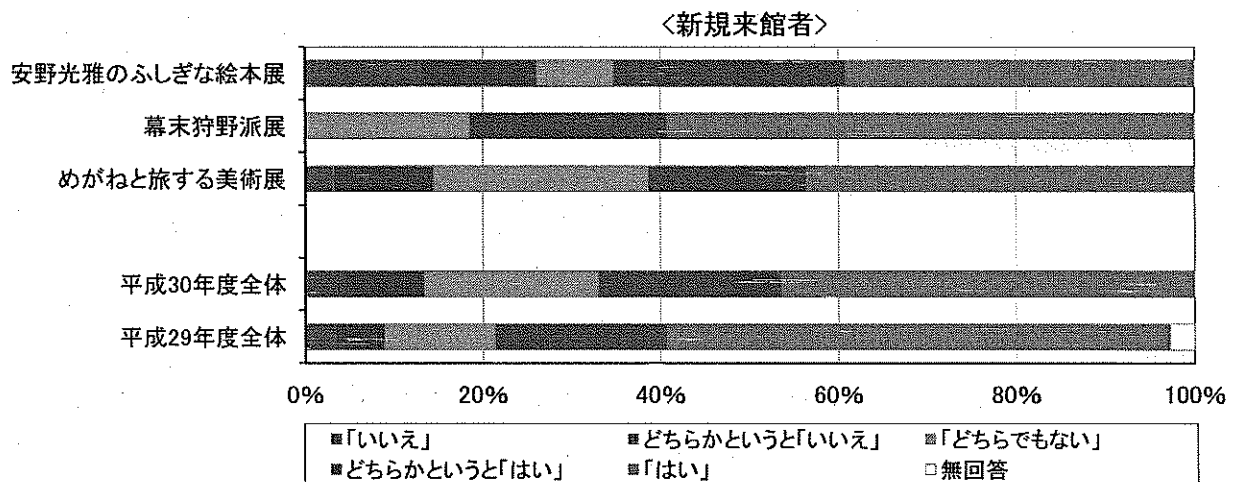
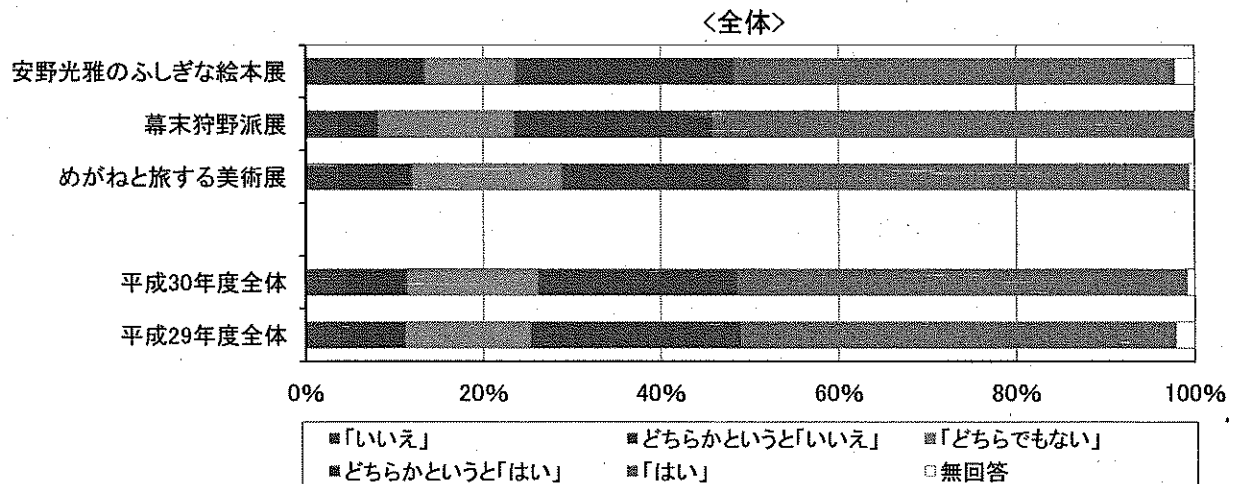
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	89	6.7	6.7	10.1	24.7	49.4	2.2
	幕末狩野派展	85	3.5	4.7	15.3	22.4	54.1	0.0
	めがねと旅する美術展	166	3.6	8.4	16.9	21.1	49.4	0.6
経 年	平成 30 年度全体	340	4.4	7.1	14.7	22.4	50.6	0.9
	平成 29 年度全体	327	4.0	7.3	14.1	23.5	48.9	2.1
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	127	3.1	4.7	18.9	20.5	49.6	3.1
	美しき庭園画の世界	116	5.2	10.3	9.5	26.7	47.4	0.9
	アートのなぞなぞ	84	3.6	7.1	13.1	23.8	50.0	2.4

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	23	13.0	13.0	8.7	26.1	39.1	0.0
	幕末狩野派展	27	0.0	0.0	18.5	22.2	59.3	0.0
	めがねと旅する美術展	62	3.2	11.3	24.2	17.7	43.5	0.0
経 年	平成 30 年度全体	112	4.5	8.9	19.6	20.5	46.4	0.0
	平成 29 年度全体	145	3.4	5.5	12.4	19.3	56.6	2.8
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	55	3.6	3.6	21.8	14.5	52.7	3.6
	美しき庭園画の世界	46	6.5	6.5	2.2	26.1	58.7	0.0
	アートのなぞなぞ	44	0.0	6.8	11.4	18.2	59.1	4.5

単位：%



公共交通機関の利用のスムーズさについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が72.9%となっている。肯定的評価は『幕末狩野派展』が76.5%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が74.2%、『めがねと旅する美術展』が70.5%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は11.5%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が67.0%となっている。肯定的評価は『幕末狩野派展』が81.5%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が65.2%、『めがねと旅する美術展』が61.3%の順になっている。

否定的評価は13.4%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑥-3 自家用車の利用のスムーズさ

全体

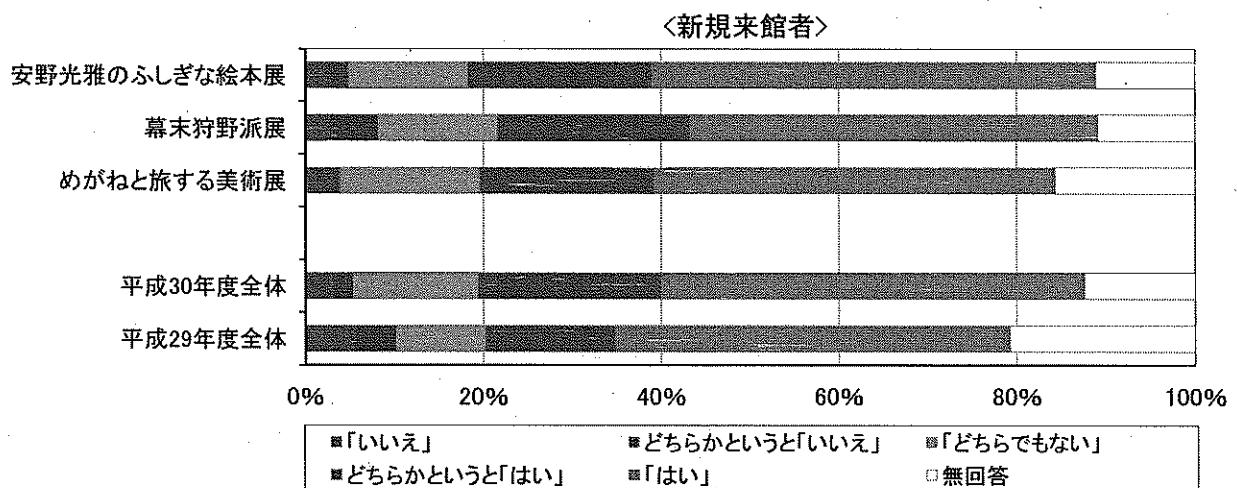
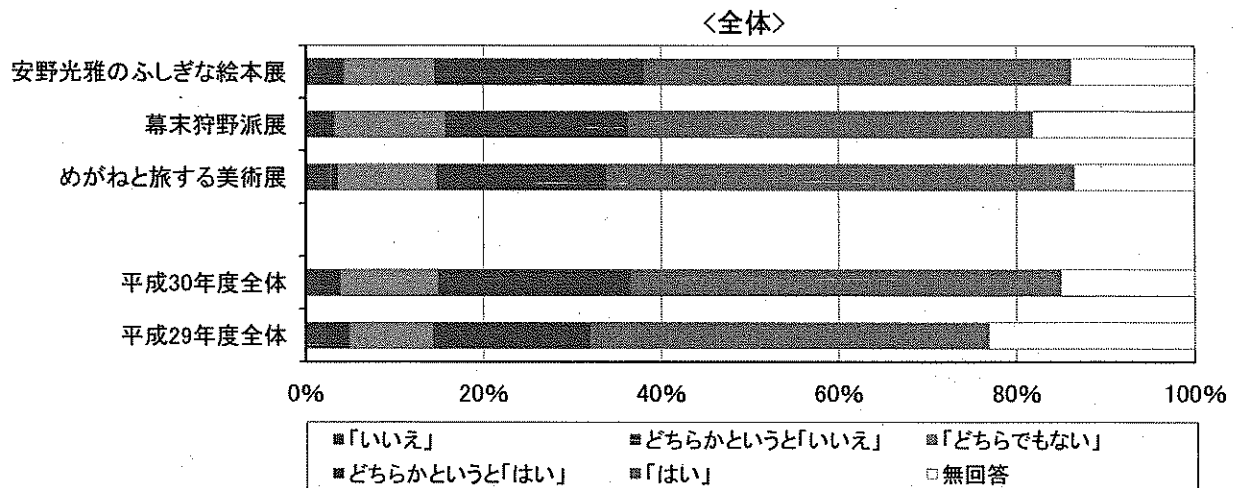
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	455	1.3	3.1	10.1	23.7	47.9	13.8
	幕末狩野派展	275	0.7	2.5	12.4	20.7	45.5	18.2
	めがねと旅する美術展	245	2.9	0.8	11.0	19.2	52.7	13.5
経 年	平成 30 年度全体	975	1.5	2.4	11.0	21.7	48.4	15.0
	平成 29 年度全体	823	2.2	2.8	9.4	17.7	44.8	23.1
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	380	2.9	3.9	11.6	15.5	37.6	28.4
	美しき庭園画の世界	171	0.6	1.8	9.4	21.1	45.0	22.2
	アートのなぞなぞ	272	2.2	1.8	6.3	18.8	54.8	16.2

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	82	2.4	2.4	13.4	20.7	50.0	11.0
	幕末狩野派展	37	2.7	5.4	13.5	21.6	45.9	10.8
	めがねと旅する美術展	51	3.9	0.0	15.7	19.6	45.1	15.7
経 年	平成 30 年度全体	170	2.9	2.4	14.1	20.6	47.6	12.4
	平成 29 年度全体	198	5.6	4.5	10.1	14.6	44.4	20.7
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	113	7.1	6.2	10.6	11.5	42.5	22.1
	美しき庭園画の世界	32	3.1	3.1	9.4	12.5	50.0	21.9
	アートのなぞなぞ	53	3.8	1.9	9.4	22.6	45.3	17.0

単位：%



自家用車の利用のスムーズさについて、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が70.2%となっている。肯定的評価は『めがねと旅する美術展』が71.8%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が71.6%、『幕末狩野派展』が66.2%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は3.9%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が68.2%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が70.7%、『幕末狩野派展』が67.6%、『めがねと旅する美術展』が64.7%の順になっている。

否定的評価は5.3%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑦ 満足度

全体

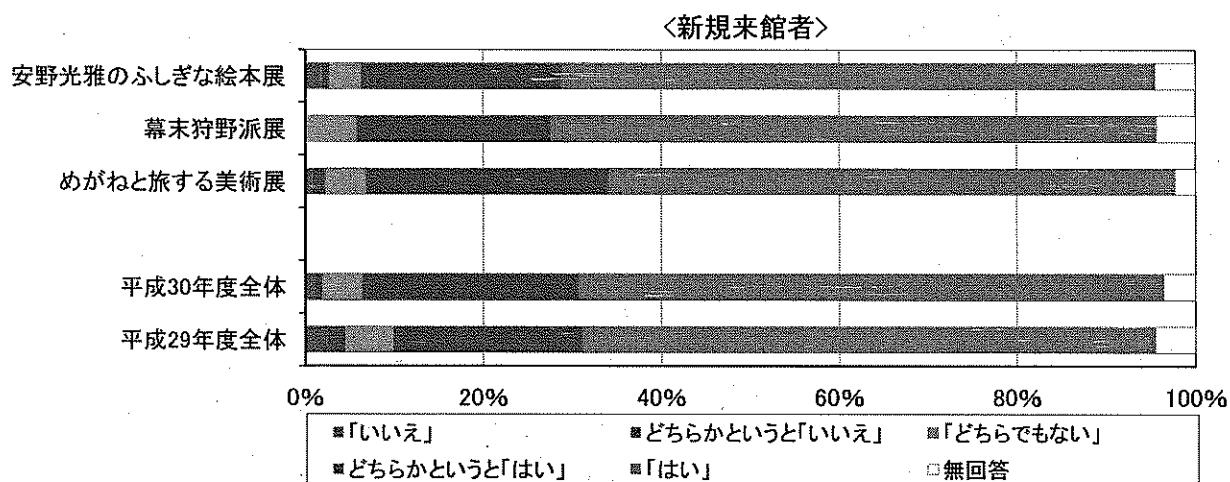
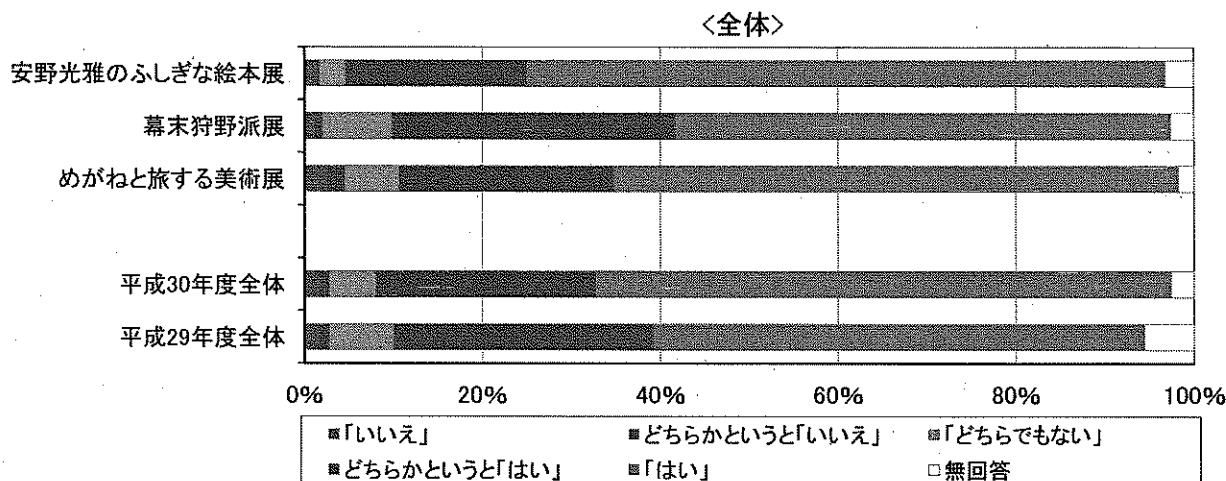
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	1.2	0.5	2.8	20.5	71.7	3.2
	幕末狩野派展	385	1.0	1.0	7.8	31.9	55.6	2.6
	めがねと旅する美術展	460	2.4	2.2	6.1	24.1	63.5	1.7
経 年	平成 30 年度全体	1411	1.6	1.2	5.2	24.8	64.6	2.6
	平成 29 年度全体	1231	1.5	1.3	7.1	29.2	55.2	5.5
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	1.3	1.5	7.4	23.6	58.4	7.8
	美しき庭園画の世界	309	2.3	1.3	8.7	37.9	46.3	3.6
	アートのなぞなぞ	383	1.3	1.0	5.5	30.3	58.0	3.9

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	1.8	0.9	3.6	22.5	66.7	4.5
	幕末狩野派展	69	0.0	0.0	5.8	21.7	68.1	4.3
	めがねと旅する美術展	132	0.8	1.5	4.5	27.3	63.6	2.3
経 年	平成 30 年度全体	312	1.0	1.0	4.5	24.4	65.7	3.5
	平成 29 年度全体	314	2.5	1.9	5.4	21.3	64.3	4.5
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	3.1	2.5	5.0	19.3	64.0	6.2
	美しき庭園画の世界	70	2.9	2.9	8.6	18.6	64.3	2.9
	アートのなぞなぞ	83	1.2	0.0	3.6	27.7	65.1	2.4

単位：％



満足度について、平成30年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が89.4%となっている。肯定的評価は『安野光雅のふしぎな絵本展』が92.2%、『めがねと旅する美術展』が87.6%、『幕末狩野派展』が87.5%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は2.8%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、肯定的評価が90.1%となっている。肯定的評価は『めがねと旅する美術展』が90.9%、『幕末狩野派展』が89.9%、『安野光雅のふしぎな絵本展』が89.2%の順になっている。

否定的評価は1.9%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑧ 「風景とロダンの美術館」としての認知度

全体

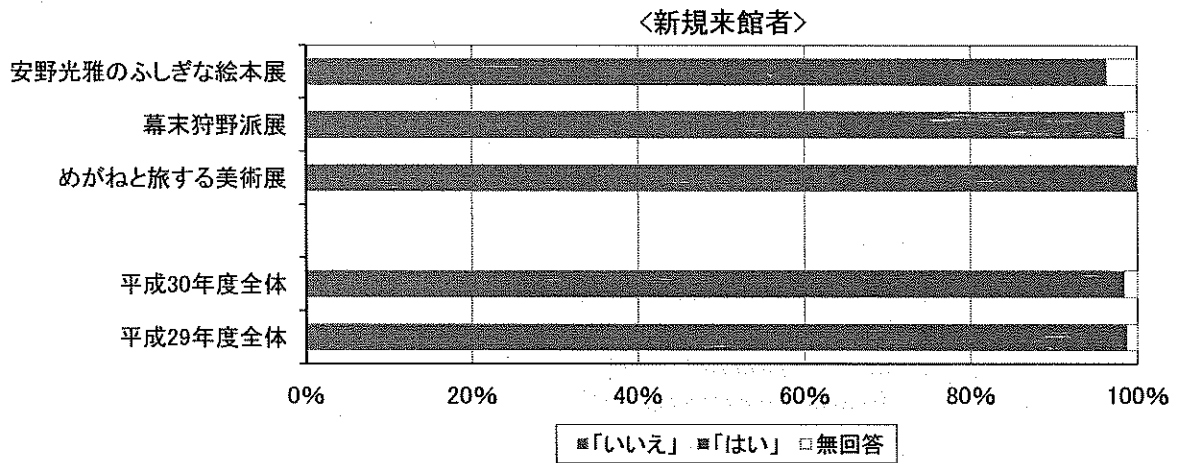
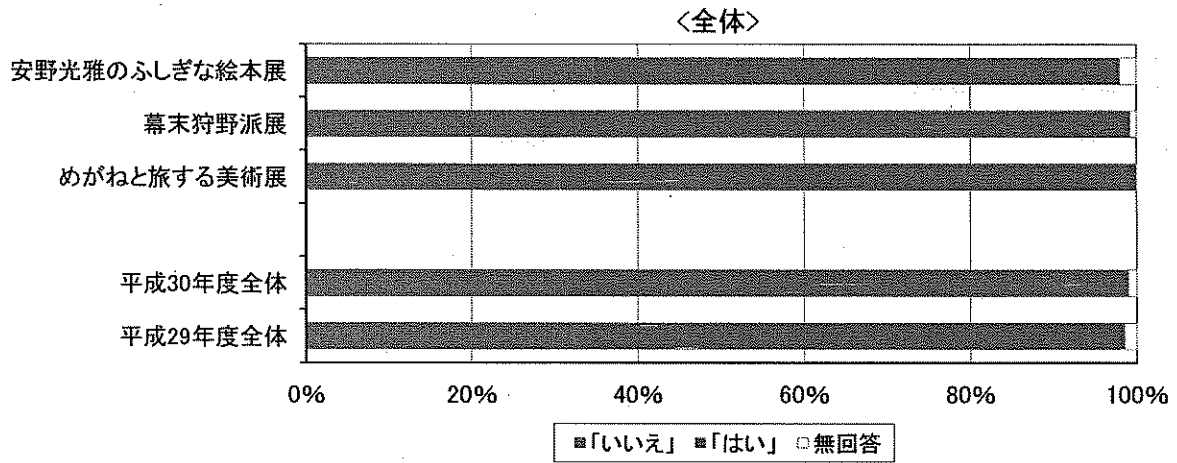
		件数 (件)	いいえ	はい	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	566	34.8	63.3	1.9
	幕末狩野派展	385	28.6	70.6	0.8
	めがねと旅する美術展	460	30.7	69.3	0.0
経 年	平成 30 年度全体	1411	31.8	67.3	1.0
	平成 29 年度全体	1231	34.4	64.2	1.5
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	41.4	56.2	2.4
	美しき庭園画の世界	309	33.7	65.0	1.3
	アートのなぞなぞ	383	25.1	74.7	0.3

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	いいえ	はい	無回答
平成 30 年度	安野光雅のふしぎな絵本展	111	71.2	25.2	3.6
	幕末狩野派展	69	63.8	34.8	1.4
	めがねと旅する美術展	132	62.9	37.1	0.0
経 年	平成 30 年度全体	312	66.0	32.4	1.6
	平成 29 年度全体	314	72.3	26.4	1.3
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	72.0	26.1	1.9
	美しき庭園画の世界	70	75.7	22.9	1.4
	アートのなぞなぞ	83	69.9	30.1	0.0

単位：%



「風景とロダンの美術館」としての認知度について、平成30年度全体は、「はい」が67.3%、「いいえ」が31.8%となっている。

新規来館者の平成30年度全体は、「はい」が32.4%、「いいえ」が66.0%となっている。

5 レストランアンケート結果

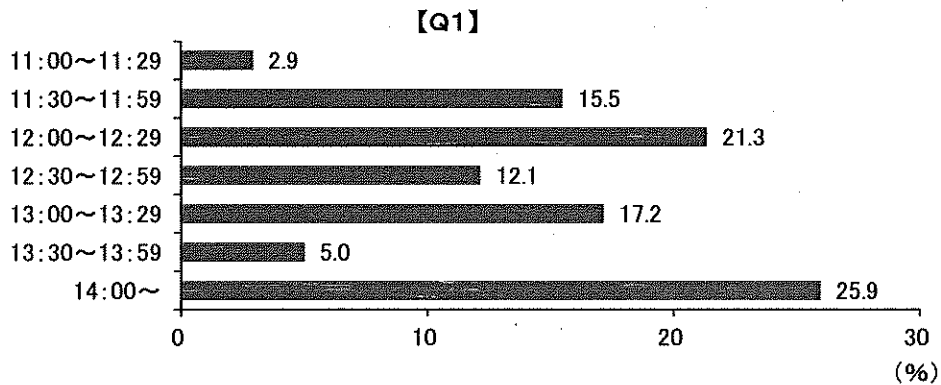
(1) 実施数 (回答数)

安野光雅のふしぎな絵本展	116 件
幕末狩野派展	66 件
めがねと旅する美術展	57 件
合計	239 件

(2) アンケート結果

Q1 入店時刻

		全 体	11:00 ~11:29	11:30 ~11:59	12:00 ~12:29	12:30 ~12:59	13:00 ~13:29	13:30 ~13:59	14:00 ~
平成 30年度	回答数 (件)	239	7	37	51	29	41	12	62
	割合 (%)	100.0	2.9	15.5	21.3	12.1	17.2	5.0	25.9
平成 29年度	回答数 (件)	235	6	30	47	31	20	20	81
	割合 (%)	100.0	2.6	12.8	20.0	13.2	8.5	8.5	34.5



Q2 注文内容

注文した料理	回答数(件)	注文した料理	回答数(件)
黒カレーライス	50件	ジェノベーゼパスタ	2件
パスタ	27件	ポテト	2件
ベーグル	18件	キャラメルプリンパフェ	2件
コーヒー	17件	アイスカフェラテ	2件
トマトソースパスタ	16件	ジンジャーエール	2件
抹茶ジェノベーゼ	16件	パフェ	2件
若鶏モモ肉のグリル	13件	ハンドドリップコーヒー	2件
ハンバーグ	12件	フレーバーティー	2件
和風ハンバーグ	12件	青みかんソーダ	2件
ドリンク	11件	和紅茶	2件
デミグラハンバーグ	10件	ペペロンチーノ	1件
アイスコーヒー	10件	デザート	1件
キッズプレート	6件	スイーツ	1件
チキン	6件	アップルパイ	1件
シーフードプレート	5件	アフオガート	1件
石釜ブレッド	4件	タルト	1件
カルボナーラ	4件	紅茶シフォンケーキ	1件
フライ	4件	ソフトクリーム	1件
牡蠣のパスタ	3件	ザクロ黒酢	1件
スモークサーモンベーグル	3件	シェーク	1件
ケーキ	3件	ショコララテ	1件
チーズケーキ	3件	カフェモカ	1件
ココナッツベリータルト	3件	アサイージュース	1件
スムージー	3件	グリーンスムージー	1件
温州みかんジュース	3件	ベリーベリースムージー	1件
紅茶	3件	アイスティー	1件
水出しアイスコーヒー	3件	アイスラテ	1件

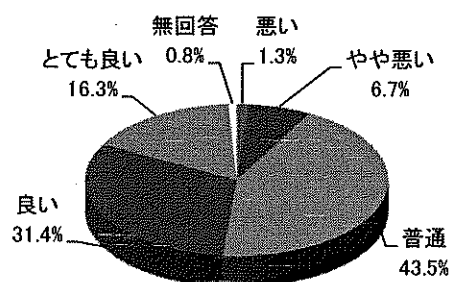
Q3① 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	3	16	104	75	39	2
	割合(%)	100.0	1.3	6.7	43.5	31.4	16.3	0.8
平成 29年度	回答数(件)	235	4	20	111	78	22	0
	割合(%)	100.0	1.7	8.5	47.2	33.2	9.4	0.0

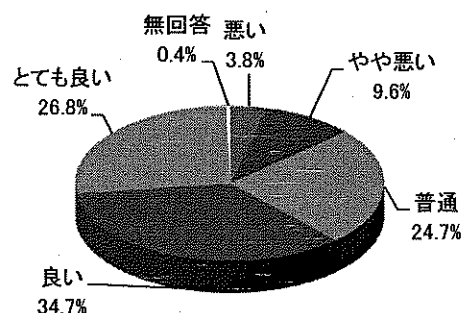
Q3② 席に案内するまでの時間

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	9	23	59	83	64	1
	割合(%)	100.0	3.8	9.6	24.7	34.7	26.8	0.4
平成 29年度	回答数(件)	235	5	12	74	77	67	0
	割合(%)	100.0	2.1	5.1	31.5	32.8	28.5	0.0

【Q3①】



【Q3②】



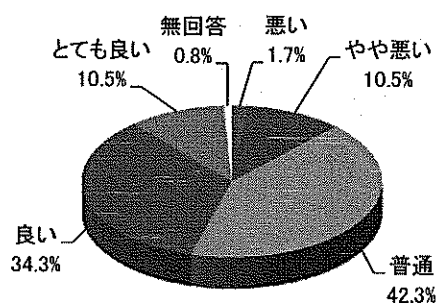
Q3③ メニューの種類の豊富さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	4	25	101	82	25	2
	割合(%)	100.0	1.7	10.5	42.3	34.3	10.5	0.8
平成 29年度	回答数(件)	235	4	24	105	73	27	2
	割合(%)	100.0	1.7	10.2	44.7	31.1	11.5	0.9

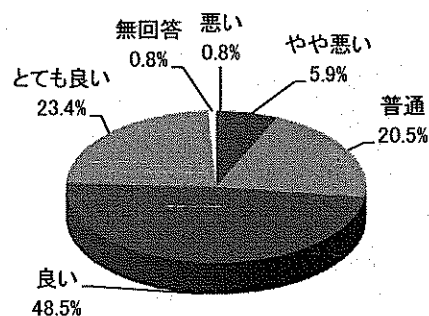
Q3④ 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	2	14	49	116	56	2
	割合(%)	100.0	0.8	5.9	20.5	48.5	23.4	0.8
平成 29年度	回答数(件)	235	5	7	52	113	57	1
	割合(%)	100.0	2.1	3.0	22.1	48.1	24.3	0.4

【Q3③】



【Q3④】



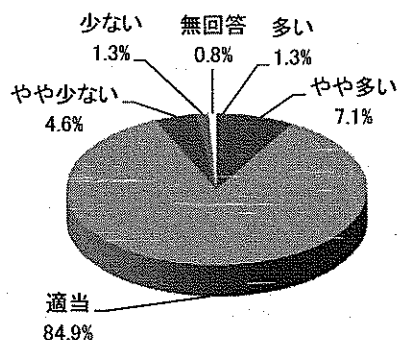
Q3⑤ 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない	無回答
平成 30年度	回答数 (件)	239	3	17	203	11	3	2
	割合 (%)	100.0	1.3	7.1	84.9	4.6	1.3	0.8
平成 29年度	回答数 (件)	235	2	23	195	12	1	2
	割合 (%)	100.0	0.9	9.8	83.0	5.1	0.4	0.9

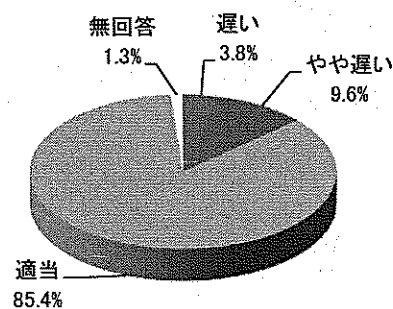
Q3⑥ 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当	無回答
平成 30年度	回答数 (件)	239	9	23	204	3
	割合 (%)	100.0	3.8	9.6	85.4	1.3
平成 29年度	回答数 (件)	235	8	17	208	2
	割合 (%)	100.0	3.4	7.2	88.5	0.9

【Q3⑤】



【Q3⑥】



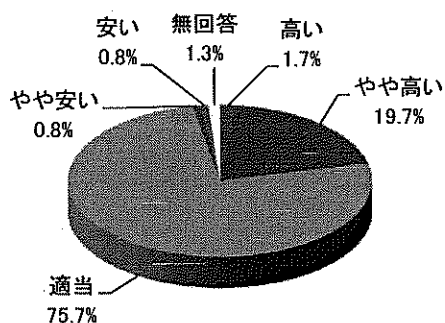
Q3⑦ 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	4	47	181	2	2	3
	割合(%)	100.0	1.7	19.7	75.7	0.8	0.8	1.3
平成 29年度	回答数(件)	235	2	54	175	3	0	1
	割合(%)	100.0	0.9	23.0	74.5	1.3	0.0	0.4

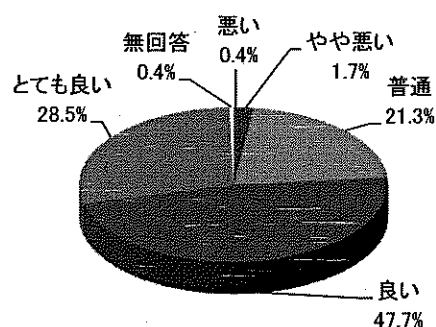
Q3⑧ 店の雰囲気・清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	1	4	51	114	68	1
	割合(%)	100.0	0.4	1.7	21.3	47.7	28.5	0.4
平成 29年度	回答数(件)	235	0	1	42	127	63	2
	割合(%)	100.0	0.0	0.4	17.9	54.0	26.8	0.9

【Q3⑦】



【Q3⑧】



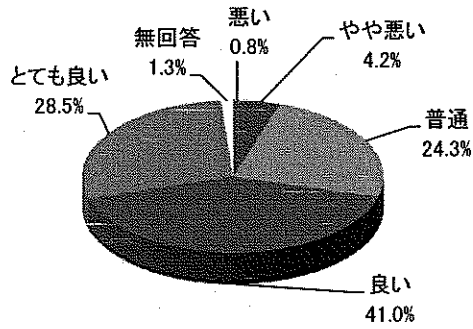
Q3⑨ 従業員の態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	2	10	58	98	68	3
	割合(%)	100.0	0.8	4.2	24.3	41.0	28.5	1.3
平成 29年度	回答数(件)	235	0	3	34	121	74	3
	割合(%)	100.0	0.0	1.3	14.5	51.5	31.5	1.3

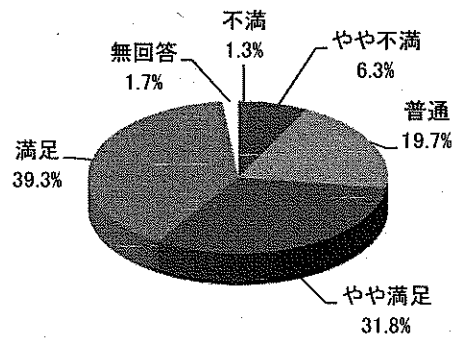
Q3⑩ 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
平成 30年度	回答数(件)	239	3	15	47	76	94	4
	割合(%)	100.0	1.3	6.3	19.7	31.8	39.3	1.7
平成 29年度	回答数(件)	235	2	7	51	67	105	3
	割合(%)	100.0	0.9	3.0	21.7	28.5	44.7	1.3

【Q3⑨】



【Q3⑩】



Q4 不満や改善点 (略)

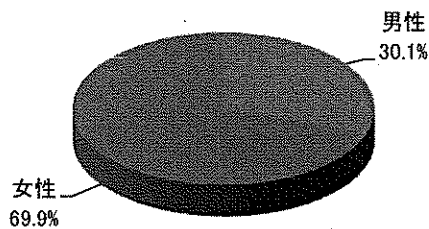
F1 性別

		全体	男性	女性
平成30年度	回答数 (件)	239	72	167
	割合 (%)	100.0	30.1	69.9
平成29年度	回答数 (件)	235	70	165
	割合 (%)	100.0	29.8	70.2

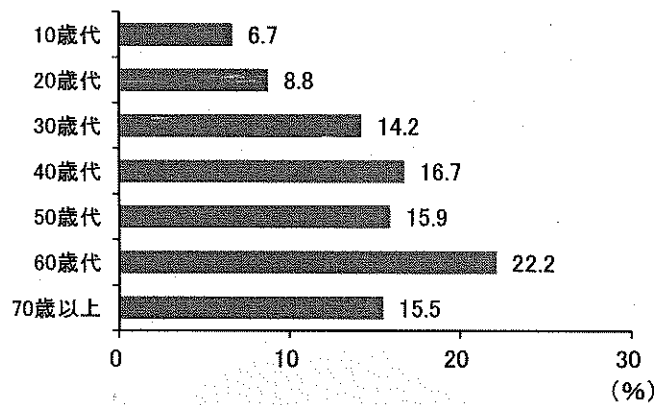
F2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成30年度	回答数 (件)	239	16	21	34	40	38	53	37
	割合 (%)	100.0	6.7	8.8	14.2	16.7	15.9	22.2	15.5
平成29年度	回答数 (件)	235	16	10	18	47	31	61	52
	割合 (%)	100.0	6.8	4.3	7.7	20.0	13.2	26.0	22.1

【F1】



【F2】

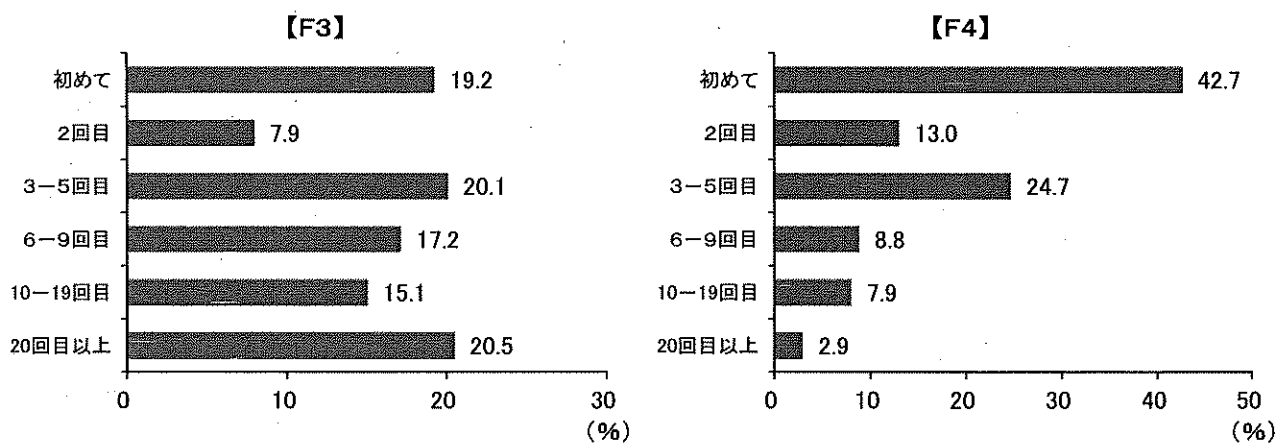


F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成30年度	回答数(件)	239	46	19	48	41	36	49	0
	割合(%)	100.0	19.2	7.9	20.1	17.2	15.1	20.5	0.0
平成29年度	回答数(件)	235	48	22	47	26	50	41	1
	割合(%)	100.0	20.4	9.4	20.0	11.1	21.3	17.4	0.4

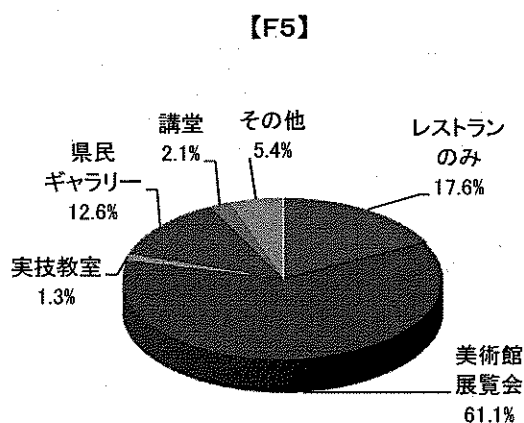
F 4 レストランの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成30年度	回答数(件)	239	102	31	59	21	19	7	0
	割合(%)	100.0	42.7	13.0	24.7	8.8	7.9	2.9	0.0
平成29年度	回答数(件)	235	109	33	45	22	14	11	1
	割合(%)	100.0	46.4	14.0	19.1	9.4	6.0	4.7	0.4



F 5 当日の来館の主な目的

		全体	レストランのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民 ギャラリー	講堂	その他
平成30年度	回答数(件)	239	42	146	3	30	5	13
	割合(%)	100.0	17.6	61.1	1.3	12.6	2.1	5.4
平成29年度	回答数(件)	235	42	138	2	29	16	8
	割合(%)	100.0	17.9	58.7	0.9	12.3	6.8	3.4



6 カフェアンケート結果

※平成30年度の今年度はカフェ休業のため、調査を実施していない。

7 ミュージアム・ショップアンケート結果

(1) 実施数(回答数)

安野光雅のふしぎな絵本展	174件
幕末狩野派展	126件
めがねと旅する美術展	94件
合計	394件

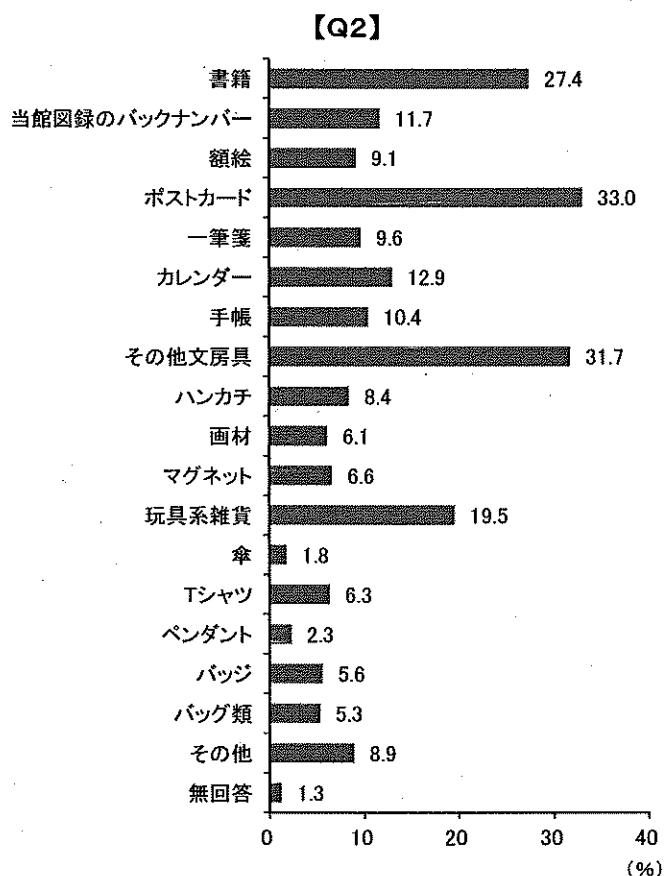
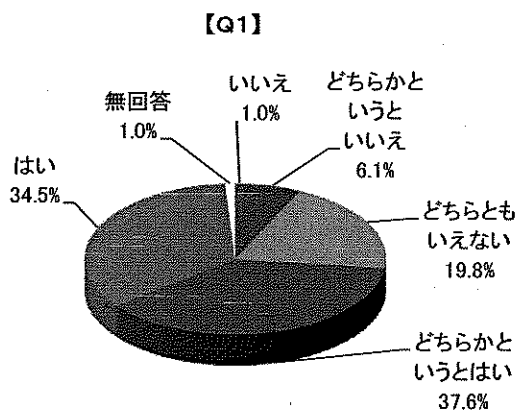
(2) アンケート結果

Q1 品揃えの充実さ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成30年度	回答数(件)	394	4	24	78	148	136	4
	割合(%)	100.0	1.0	6.1	19.8	37.6	34.5	1.0
平成29年度	回答数(件)	295	2	17	47	132	95	2
	割合(%)	100.0	0.7	5.8	15.9	44.7	32.2	0.7

Q2 充実してほしい商品(複数回答可)

		全体	書籍	当館図録のバックナンバー	額絵	ポストカード	一筆箋	カレンダー
平成30年度	回答数(件)	394	108	46	36	130	38	51
	割合(%)	100.0	27.4	11.7	9.1	33.0	9.6	12.9
平成29年度	回答数(件)	295	66	26	24	108	39	39
	割合(%)	100.0	22.4	8.8	8.1	36.6	13.2	13.2
		手帳	その他文房具	ハンカチ	画材	マグネット	玩具系雑貨	傘
平成30年度	回答数(件)	41	125	33	24	26	77	7
	割合(%)	10.4	31.7	8.4	6.1	6.6	19.5	1.8
平成29年度	回答数(件)	34	89	44	22	31	41	6
	割合(%)	11.5	30.2	14.9	7.5	10.5	13.9	2.0
		Tシャツ	ペンダント	バッジ	バッグ類	その他	無回答	
平成30年度	回答数(件)	25	9	22	21	35	5	
	割合(%)	6.3	2.3	5.6	5.3	8.9	1.3	
平成29年度	回答数(件)	17	17	17	19	32	1	
	割合(%)	5.8	5.8	5.8	6.4	10.8	0.3	

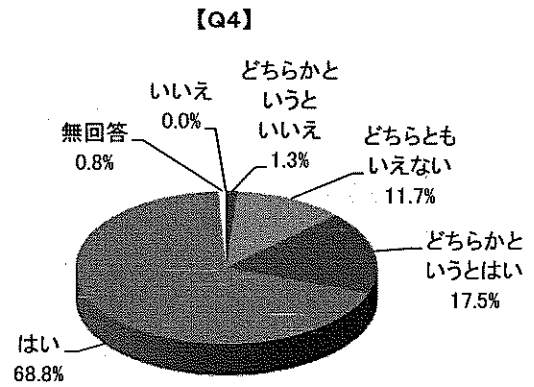
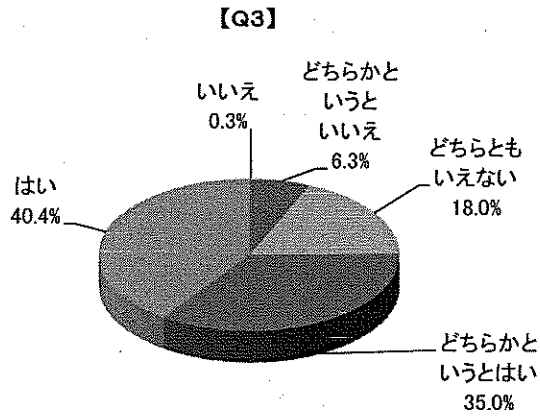


Q3 商品の価格の適当さ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成30年度	回答数 (件)	394	1	25	71	138	159	0
	割合 (%)	100.0	0.3	6.3	18.0	35.0	40.4	0.0
平成29年度	回答数 (件)	295	6	21	73	90	102	3
	割合 (%)	100.0	2.0	7.1	24.7	30.5	34.6	1.0

Q4 従業員の対応の良さ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成30年度	回答数 (件)	394	0	5	46	69	271	3
	割合 (%)	100.0	0.0	1.3	11.7	17.5	68.8	0.8
平成29年度	回答数 (件)	295	3	5	30	63	192	2
	割合 (%)	100.0	1.0	1.7	10.2	21.4	65.1	0.7

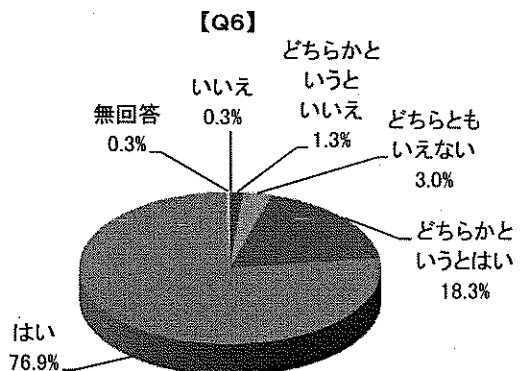
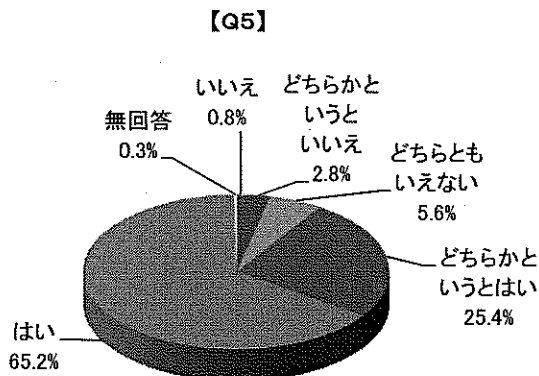


Q5 雰囲気の相応しさ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成30年度	回答数 (件)	394	3	11	22	100	257	1
	割合 (%)	100.0	0.8	2.8	5.6	25.4	65.2	0.3
平成29年度	回答数 (件)	295	2	5	23	78	184	3
	割合 (%)	100.0	0.7	1.7	7.8	26.4	62.4	1.0

Q6 次のショップへの来店意向

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成30年度	回答数 (件)	394	1	5	12	72	303	1
	割合 (%)	100.0	0.3	1.3	3.0	18.3	76.9	0.3
平成29年度	回答数 (件)	295	2	6	19	46	221	1
	割合 (%)	100.0	0.7	2.0	6.4	15.6	74.9	0.3



A7 ご意見・ご感想 (略)

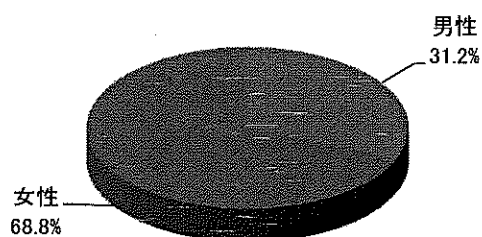
F 1 性別

		全体	男性	女性
平成 30年度	回答数(件)	394	123	271
	割合(%)	100.0	31.2	68.8
平成 29年度	回答数(件)	295	102	193
	割合(%)	100.0	34.6	65.4

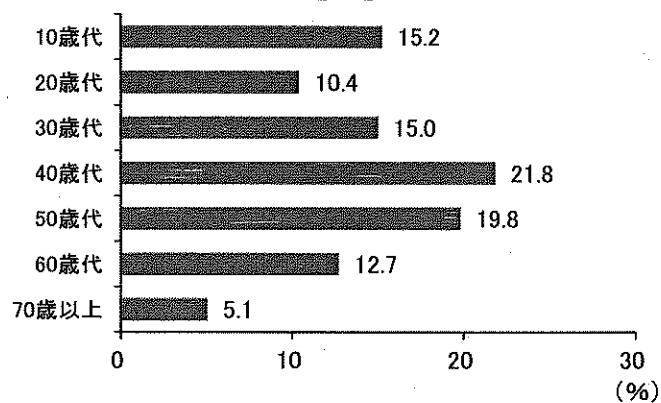
F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 30年度	回答数(件)	394	60	41	59	86	78	50	20
	割合(%)	100.0	15.2	10.4	15.0	21.8	19.8	12.7	5.1
平成 29年度	回答数(件)	295	29	21	29	66	69	56	25
	割合(%)	100.0	9.8	7.1	9.8	22.4	23.4	19.0	8.5

【F1】



【F2】



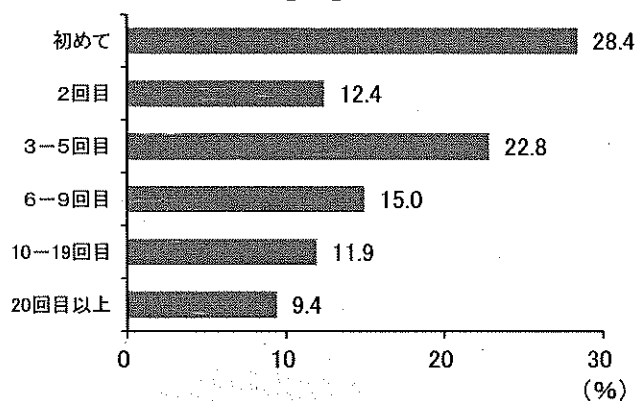
F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成30年度	回答数(件)	394	112	49	90	59	47	37
	割合(%)	100.0	28.4	12.4	22.8	15.0	11.9	9.4
平成29年度	回答数(件)	295	77	42	52	51	29	44
	割合(%)	100.0	26.1	14.2	17.6	17.3	9.8	14.9

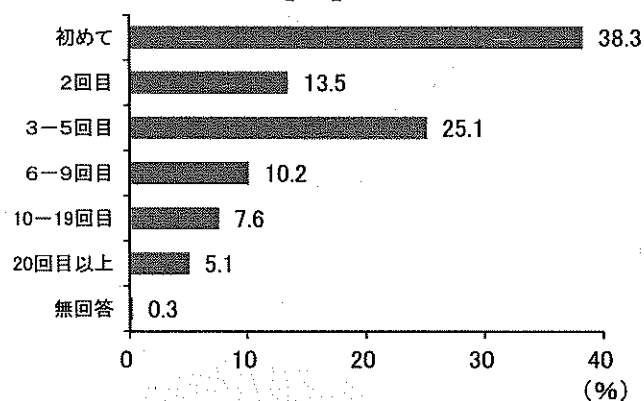
F 4 ショップの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成30年度	回答数(件)	394	151	53	99	40	30	20	1
	割合(%)	100.0	38.3	13.5	25.1	10.2	7.6	5.1	0.3
平成29年度	回答数(件)	295	109	42	66	36	18	23	1
	割合(%)	100.0	36.9	14.2	22.4	12.2	6.1	7.8	0.3

【F3】



【F4】



8 美術館ホームページアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

10 件

(2) アンケート結果

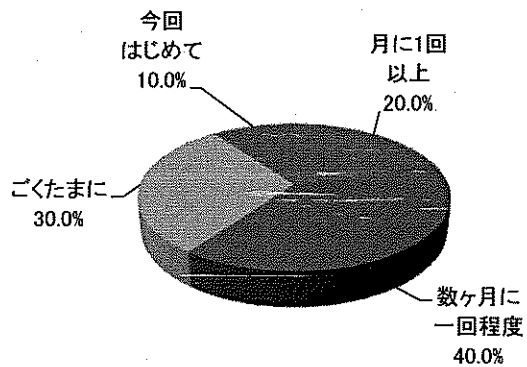
Q1 ホームページの閲覧頻度

		全体	月に1回以上	数ヶ月に一回程度	ごくたまに	今回初めて
平成30年度	回答数 (件)	10	2	4	3	1
	割合 (%)	100.0	20.0	40.0	30.0	10.0
平成29年度	回答数 (件)	11	2	5	2	2
	割合 (%)	100.0	18.2	45.5	18.2	18.2

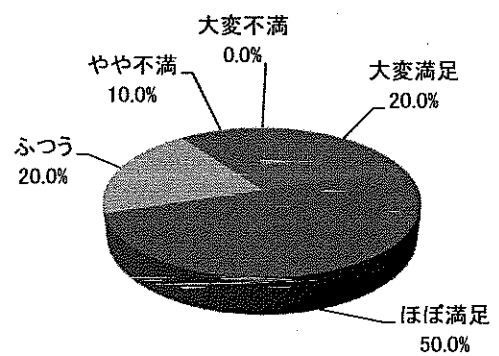
Q2 ホームページの情報内容

		全体	大変満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	大変不満
平成30年度	回答数 (件)	10	2	5	2	1	0
	割合 (%)	100.0	20.0	50.0	20.0	10.0	0.0
平成29年度	回答数 (件)	11	1	7	3	0	0
	割合 (%)	100.0	9.1	63.6	27.3	0.0	0.0

【Q1】



【Q2】

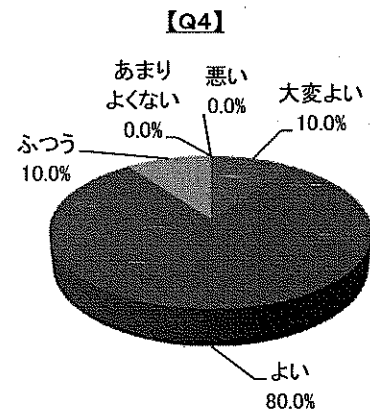
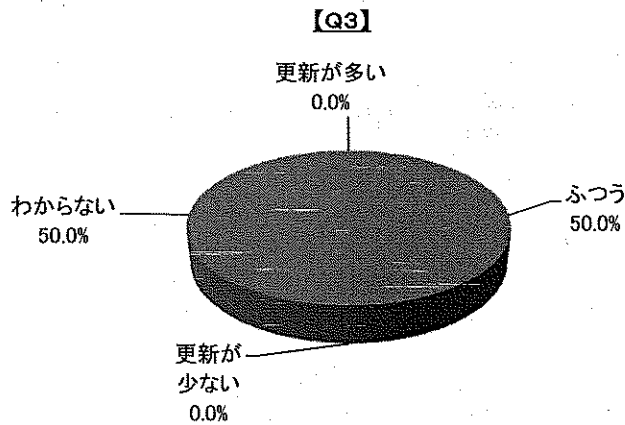


Q3 ホームページの更新頻度

		全体	更新が多い	ふつう	更新が少ない	わからない
平成 30年度	回答数(件)	10	0	5	0	5
	割合(%)	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0
平成 29年度	回答数(件)	11	1	4	2	4
	割合(%)	100.0	9.1	36.4	18.2	36.4

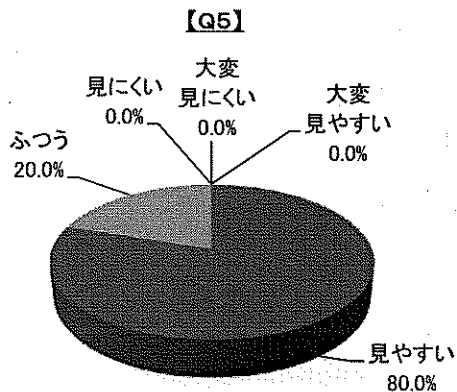
Q4 ホームページのデザイン

		全体	大変よい	よい	ふつう	あまり よくない	悪い
平成 30年度	回答数(件)	10	1	8	1	0	0
	割合(%)	100.0	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成 29年度	回答数(件)	11	1	7	3	0	0
	割合(%)	100.0	9.1	63.6	27.3	0.0	0.0



Q5 ホームページの見やすさ

		全体	大変 見やすい	見やすい	ふつう	見にくい	大変 見にくい
平成 30年度	回答数(件)	10	0	8	2	0	0
	割合(%)	100.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
平成 29年度	回答数(件)	11	0	5	4	1	1
	割合(%)	100.0	0.0	45.5	36.4	9.1	9.1



※1 年齢

		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
平成 30年度	回答数(件)	10	0	1	0	2	3	4	0	0	0
	割合(%)	100.0	0.0	10.0	0.0	20.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0
平成 29年度	回答数(件)	11	0	1	4	2	1	2	0	1	0
	割合(%)	100.0	0.0	9.1	36.4	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0

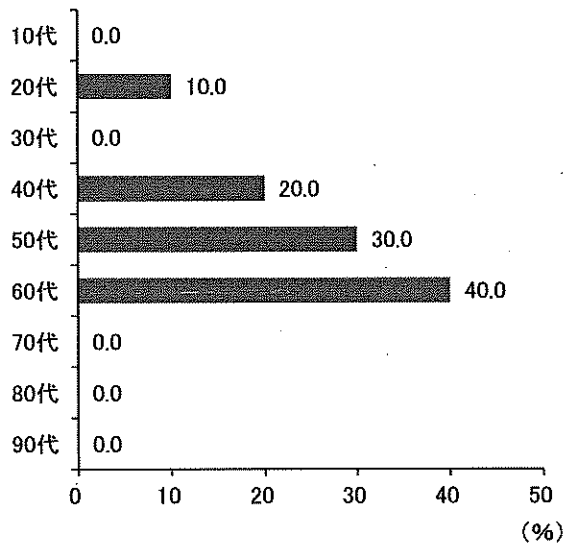
※2 性別

		全体	男性	女性
平成 30年度	回答数(件)	10	3	7
	割合(%)	100.0	30.0	70.0
平成 29年度	回答数(件)	11	3	8
	割合(%)	100.0	27.3	72.7

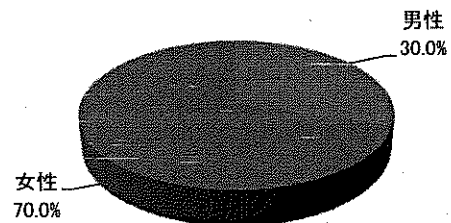
※3 職業

		全体	会社員	自営業	公務員	博物館職員	教員	主婦	学生	その他
平成 30年度	回答数(件)	10	6	0	0	0	0	0	0	4
	割合(%)	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
平成 29年度	回答数(件)	11	2	1	0	0	1	3	1	3
	割合(%)	100.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	9.1	27.3

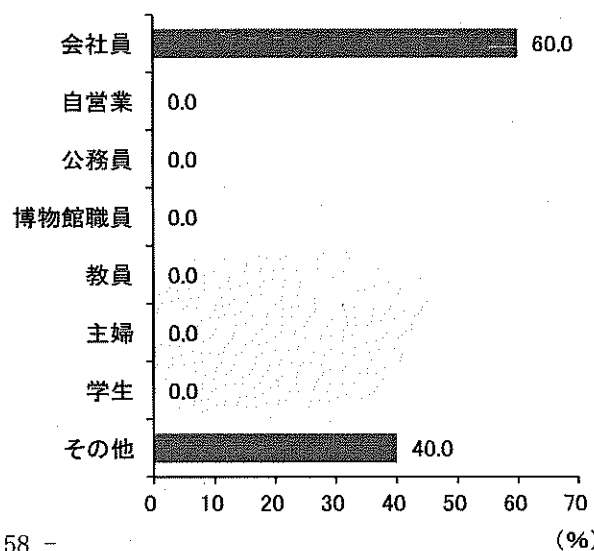
【※1】



【※2】



【※3】



ご意見・ご感想 (略)

9 自由意見

この展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。とたずねたところ、455件の自由意見があり、分類・性質別に整理をし掲載する。

自由意見の分類・性質別件数

	1			2			3			4			5		
	今回の展覧会			企画全般			展示方法			施設・環境			運営・スタッフ		
	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情
安野光雅の ふしぎな絵本展	76	9	1	20	11	0	11	7	2	16	14	21	2	10	3
幕末狩野派展	28	2	5	14	8	1	3	16	11	5	5	6	0	7	2
めがねと旅する 美術展	61	11	1	11	7	0	7	11	12	2	3	7	2	3	1
全 体	165	22	7	45	26	1	21	34	25	23	22	34	4	20	6

単位：件

< A 感想 >

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
展示作品が多くとても良かった。椅子が多くて助かります。ゆっくりと見ることができました。本が読めるのも嬉しかったです。	女性	30歳代
面白かったです。ありがとうございました。	女性	20歳代
楽しかった。	男性	12歳以下
とっても楽しかったです。この方を初めて知りました。もっともっと本を見てたくさん知りたいです。	女性	20歳代
ゆったり見られて良かった。	女性	60歳代
大人も楽しめた時間でした。子どもが小さい頃にもっと絵本で楽しませてあげたら良かったなと思いました。子どもやお年寄りも楽しめると思いました。	女性	40歳代
最高です。	男性	13～19歳
昔から大好きな絵本作家でしたので感激しました。	女性	50歳代
じっくりかえったり、いろいろで、ふしぎな世界の絵でした。	女性	12歳以下
おもしろかったです。	女性	12歳以下
いつもありがとうございます。	女性	50歳代
ゆっくり楽しめた。	女性	12歳以下
話しても良い日だったので、友達と意見を言い合いながら楽しめました。見ている間は童心に返っていたなあと思います。	女性	30歳代
原画が見られて、筆使いも見ることができて嬉しかった。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
とても良かったです。また来たいと思いました。展示のスペースの取り方も見やすく良かったです。本も自由に見られて参考になりました。講演も良かったです。またぜひ企画してください。安野さん好きです。	女性	50歳代
地獄の門、東京で見えてきました。世界で8つ、日本に2つ、それが静岡にあってすごい。安野さん大ファンです。他にも見ましたが、今回多くてすばらしかった。	女性	60歳代
安野さんの絵本が大好きなので来られて良かったです。原画は絵本と違ってペンや筆のタッチも感じられて良かったです。ただ、冷房が寒すぎて辛かったです。	女性	40歳代
作品は素晴らしかったです。	女性	50歳代
大勢のボランティアがいて、親しみやすい展覧会だと思いました。	女性	70歳以上
落ち着いて良い雰囲気です。今回のテーマはとても楽しく視点や発想の違いなど絵を通して頭が柔軟になるように思えた。	女性	70歳以上
作者の筆のタッチ、絵の具のにじみやぼかし等、印刷では読み取れないところまで見ることができ、今回の原画展はとてもすばらしかったです。お盆休みだったので人が多いのが少し残念でした。	男性	50歳代
ステキなストーリーの宝物を見つけて嬉しかった。	女性	50歳代
楽しい。	男性	50歳代
とてもおもしろかったです。	女性	30歳代
安野さんの原画をゆっくりじっくり見られてとても良かったです。ありがとうございました。	女性	30歳代
次の展示も見に来たいと思います。子どもの頃読んだ絵本があってなつかしかった。	女性	50歳代
小学生の子ども共々、安野さんの作品が好きなので、夏休み中の展示で良かった。ドット若冲も同時に体験できて、さらに良かったと感じた。	女性	50歳代
とても興味深くおもしろかった。子どもがもう少し大きくなったらまた見せたいと思う。	女性	30歳代
遠い所から来た甲斐があった。	女性	40歳代
大変良かった。	男性	40歳代
小栗哲郎さんの作品に久々にお会いして嬉しかったです。	女性	60歳代
安野光雅展、ワクワクしながら来ました。	女性	40歳代
大変興味深かった。	女性	60歳代
内容が充実していて、とても良かったです。	女性	50歳代
謎解きみたいに楽しく鑑賞できました。	女性	60歳代
とても幸せなキラキラした時間を過ごせました。	女性	30歳代
なかなか津和野まで行けないのでうれしかったです。大ファンです。夏休みなのでもう少し子ども達の姿を見たかったですね。	女性	60歳代
40年前は保育士をしていたので、子どもの喜ぶ「ふしぎなえ」を子どもたちとよく見ました。原画は本当にすばらしい。今度は津和野の美術館に行きたいと思います。今回たくさんの原画を見せて頂きありがとうございました。	女性	60歳代
安野光雅作品の着眼のおもしろさを再確認できた。	男性	60歳代
おもしろかったです。	女性	12歳以下

内容	性別	年齢
面白かったです。	女性	13～19歳
楽しい催しでした。安野さんのことや作品にとっても興味がわきました。実際に文字を作ってみたり、大きな円角鏡を展示していたことは見る人に強い印象を与えることだと思いました。	男性	50歳代
ふしぎな絵がたくさんあっておもしろかった。	男性	12歳以下
子どもも楽しめますが、大人が楽しめる絵本です。旅の絵本は子どもが小さい時に買い、大人になっても読んでいます。	女性	50歳代
子どもの頃よく見た本があったので、なつかしかったです。	女性	40歳代
とてもおもしろかったです。また見に来たいです。	女性	30歳代
昨年津和野で見たものもありましたが、さらに理解や発見がありとても良かったです。	女性	30歳代
楽しかったので、また来たいです。	女性	20歳代
科学のやつがおもしろかった。	男性	20歳代
とても良かった。来て良かった。絵本の購入も検討します。	女性	50歳代
とても見応えのある展覧会で、見ていて楽しかったです。	女性	20歳代
ロダン館も要素が少しづつ足されており何度見ても楽しいです。絵本の原画もとてもかわいらしかったです。「ふしぎなひらがな/アルファベット」を木でつくったものが凝っていて良かったと思います。	女性	20歳代
誘われるまで展覧会の事も安野さんの事も知りませんでしたが、とても楽しく時間が経つのが早く感じるほどでした。他の作品も見たいと思います。	女性	30歳代
安野さんの作品はみるだけでわくわく考えさせられました。そしてかわいい。	女性	20歳代
子どもと一緒に楽しめて良いです。	女性	40歳代
立場の風景も大好きです。	女性	60歳代
老眼鏡を持ってきて正解でした。	女性	50歳代
9月1日に来館しました。展示図録が売り切れていて、とても残念でした。	女性	40歳代
いろいろな絵があっておもしろかった。	女性	12歳以下
とても興味深く見させて頂きました。	女性	30歳代
小さな頃から親しんできた安野さんの絵本ですが、今日実際に初めて見て、その繊細さにさらに関心が深まりワクワクしました。	女性	30歳代
安野光雅の絵のファンが老若幼児と幅広い人が大勢いて皆楽しそうでした。また、マナー良く作品を観ている様子で日本の文化がまだまだ発展していくし、日本人の心が生きづいてるんだと嬉しく思いました。	女性	70歳以上
こういう人がいたんだと絵本の魅力が深まりました。	女性	60歳代
楽しかったです。	女性	40歳代
数字・文字好きの4歳の息子がとても楽しんでいました。	女性	40歳代
楽しかったです。	女性	13～19歳
想像していたよりも、とても良かったです。	女性	50歳代
膨大な見聞の想像力に浸る事ができました。	男性	40歳代
楽しかったです。	女性	12歳以下

内容	性別	年齢
幼い頃感じた絵本のワクワクや実際には存在しえないものが「本当はどこかにあるのではないか？」と思うほど面白く魅力的な展覧会でした。	男性	20歳代
楽しかったです。とても良かったです。	男性	12歳以下
津和野の美術館のインフォメーションがもっとあってもいいかなと思いました。	男性	60歳代
子どもが興味を持つ仕掛けが良かったです。	男性	12歳以下
すごく楽しかった。時間を忘れた。	女性	13～19歳
とても良かったです。好きな作家さんですが、じっくり見たことがない絵本もあったので、興味が広がりました。	女性	50歳代
安野さんの展示楽しめました。小1の子と来たので、作品に触ってしまわないかヒヤヒヤしました。	女性	30歳代
幕末狩野派展		
おもしろかった。	男性	30歳代
表現様式の変遷を具体的に書かれていたら、より一層深く鑑賞ができただろうと思った。	女性	20歳代
狩野派のこれまで見たことのない名品が並んでいて、とても見応えがありました。もう一度来てじっくりと見ていきたいです。	男性	50歳代
江戸絵画愛好家には眼福だった。内容が濃かった。	男性	40歳代
音や声が聞こえるような迫力のある絵に感動しました。	女性	50歳代
非常に良かった。	男性	50歳代
ゆったりしていて良かった。	女性	50歳代
個人蔵の作品が多く楽しめました。	男性	40歳代
今日は台風の影響もあって日曜日なので人が少なくゆったりと鑑賞することができてとても良かったです。	女性	60歳代
フロアレクチャーに参加でき、作品をみる視点が少し変わったと思います。狩野派について知りたいと思います。	女性	50歳代
東京国立博物館でこれをやったら10万人は入る。とても良かった。	男性	40歳代
心地良く鑑賞できました。	女性	50歳代
ゆっくり見られて良い。	女性	50歳代
あらゆる様式の作品が一堂に会し、タイトルの通り幕末狩野派の様相がよく分かる展覧会で、本当に素晴らしかったです。No77 雅信「唐美人」は近代の美人画の成立を考える上で重要な作品だと感じました。	女性	30歳代
静岡県立美術館としての特色を生かした展覧会だと思いました。	女性	60歳代
前に富士山展で描き方が云々の話を見ていたので、探幽からこっち狩野派の富士山の絵が同じなのを改めて見て、とてもおもしろかった。	女性	30歳代
障壁画の絵が良かった。	女性	30歳代
楽しかった。	男性	12歳以下
いろいろな物が見られて楽しかった。	女性	12歳以下
狩野派のもの3点あり、今回勉強になりました。	男性	70歳以上
改めて再確認。	女性	60歳代

内容	性別	年齢
ゴヤの版画を知らなかったので、さらにゴヤに興味がありました。	女性	13～19歳
今回の展覧会は本当に見応えがあって素晴らしいです。	女性	70歳以上
今回の狩野派展すばらしかった。一度26日に来館しましたが、ご説明を聞きたくて再度27日に来館させていただきました。	女性	70歳以上
江戸後期から近代につながる狩野派の流れを丹念にたどっていて、大変勉強になりました。コレクションの蓄積が生かされた素晴らしい企画でした。	女性	40歳代
本日のフロアレクチャーは大変良かったです。ありがとうございました。	女性	60歳代
すばらしい展覧会でした。	女性	70歳以上
すばらしい絵でした。	女性	12歳以下
めがねと旅する美術展		
あらゆる視点で表現される作品に感動しました。	男性	40歳代
テーマと内容が伝わりにくいかないと思いました。ポスターを見ても？という印象です。自分は好きな雰囲気なので興味を持ちました。	女性	50歳代
とても良かったです。乱歩、足穂などの文学作品とのコラボ作品が特に良かったです。	女性	50歳代
見方が分かると、見るのがおもしろくなる作品が多数あって、静岡まで来て良かったです。ありがとうございました。	女性	20歳代
楽しかったです。	男性	30歳代
とても面白かったです。ありがとうございました。	女性	13～19歳
今回の展覧会はわかりにくかった。	男性	50歳代
The Gates of Hell に圧倒されました。本展は章立てがすばらしかったです。	男性	50歳代
この後私の住む街かその周辺に来てくれないものかと、うらやましくなるような内容でした。	男性	40歳代
おもしろかったです。	女性	60歳代
企画者のこだわりが強く出ていて、見る側の好き嫌いがはっきり出る展示だと思います。会場によっても展示に差があるようで、それはそれで良いと思います。私は今ひとつ。展示がうるさい。芸術的でなく博物館的。山田氏作品出品者としての個人的感想は石膏立体を出して欲しかった。	男性	50歳代
映像作品がとても素敵でした。	女性	40歳代
めがねにまつわる様々な物を見る、知ることができて、とても勉強になりました。とても楽しかったです。企画して下さいありがとうございました。	女性	30歳代
まだ興味あるところまで行きませんでした。	女性	70歳以上
難しいと感じたものがありましたが、参加できるものもあって良かったです。	女性	60歳代
現代の造形芸術や映像、写真などの今まで経験したことのない芸術が目白押しで、非常に刺激的な展覧会でした。20代には特に観てもらいたい内容だと思います。	男性	20歳代
作品の幅の広さが良かったです。	男性	20歳代
すごく良かったです。	女性	13～19歳
とても楽しく作品を見ることができました。	女性	13～19歳

内容	性別	年齢
4年前「美少女の美術展」を見た時、私は学生でした。展覧会とは文脈の提示なのだと思って学んだ展覧会になりました。	男性	20歳代
ライトで照らすのぞきボックスの作品が良かった。	女性	40歳代
いろいろな作品をみることができ、良い展覧会でした。	男性	13～19歳
見応えのある作品が多く、一つひとつの解説を読んでいたら3時間を過ぎていました。友人にも勧めたいと思います。	男性	50歳代
人数が多いと、なかなか楽しめないかもしれません。	男性	50歳代
上演されているアニメがとても良かったです。	女性	13～19歳
すてきです。	女性	13～19歳
映像作品が良かったです。	女性	13～19歳
とてもすてきでした。また来たいです。	女性	13～19歳
トリメガさんの企画は一風変わった感じで面白いです。また来てみたいです。	男性	40歳代
最初は意図が分からず気まぐれに見に行きましたが、想像以上に楽しかったです。自分なりにこういう展覧会かなと思って見る2回目もまた楽しかったです。現代美術に触れる機会があまりなかったので、とても楽しめました。ありがとうございました。	女性	40歳代
とても面白い企画でした。多角度からの視野をテーマにしている、非常に見応えがあり、前回は家族と来ていて落ち着かなかったので、もう一度来ました。	女性	40歳代
非常におもしろくて時間を忘れてずっと見ていたくなりました。	男性	50歳代
雰囲気良く、快適に観覧できました。	男性	20歳代
東京から来ましたが、とても満足できました。	男性	40歳代
トリメガさんの企画展をいつも楽しみにしています。今回もとてもステキな展覧会でした。	女性	20歳代
「展示」というものについて、とても深く考えさせられた良い展示でした。	男性	20歳代
トリメガの企画展は興味深いです。	男性	50歳代
「めがねと旅する美術展」を見たいがために来ました。予想以上のクオリティで大満足です。	女性	13～19歳
二次元、三次元の作品、静止画から動画まで多彩な内容で3時間近くいてしまいました。楽しかったです。	女性	20歳代
2つ目の映像作品が長すぎて省いてしまいました。昔と現代といろいろな展示があって楽しく観覧できました。	女性	30歳代
「挿絵と旅する男」がすごく良かったです。乱歩の作品イメージそのままでした。	女性	30歳代
めがね分が少ない。タイトルと中身があっていないのでは。	男性	40歳代
とてもおもしろかったので、また来たいと思いました。	女性	13～19歳
「挿絵と旅する男」のアニメーションが見たくて来館しました。展示内容もおもしろかったです。	女性	30歳代
「挿絵と旅する男」のアニメーションがとても好きでした。	女性	13～19歳
視野が広がりました。ありがとうございました。	女性	70歳以上
楽しい時間を過ごせました。視座+箱・光、2D、3Dなど表現方法や物の見方には多様さがあり、楽しませていただきました。ありがとうございました。	男性	30歳代

内容	性別	年齢
視点を変えると違うものが見えることが日常でも同じだなと感じ、興味深かったです。ありがとうございました。	女性	30歳代
映画がおもしろかった。	女性	60歳代
とても有意義な時間を過ごせたと思います。インスピレーションが高まりました。	男性	20歳代
今回は見るだけでなく体験型だったのでおもしろかった。	女性	40歳代
長尺の映像作品があったのですが、ヘッドホンの数の関係もあり、なかなかしっかり見られなかったのが少し残念でした。	女性	40歳代
全部ではないが、とても面白い作品があり十分楽しめた。1時間しかなかったのが残念です。	男性	50歳代
グロテスクで「めがねと旅する美術展」という題には無理があったように思います。少々がっかりしました。	女性	50歳代
以前から存じ上げながら初めて来館しましたが、すべての面であまりのすばらしさに、また来館しようと思いました。	女性	70歳以上
旅に関することを学べた。航空写真、作品などがとても立体的でした。	女性	13～19歳
従来の企画展と異なる方向でおもしろかった。いつもの企画は誰が来ても古くさかった。	男性	50歳代
楽しかったです。	女性	13～19歳
とても面白かった。体験型も多く、とても刺激を受けた。	女性	20歳代
3地域に特化した作品はおもしろかった。楽しんで見ることができた。めがねから視点へ移る過程など難しいところもあって、本当に理解して見ることができたかはわかりません。でも楽しめた。キャプションの文字が小さくて読むのが大変だった。	女性	50歳代
テーマを持っていて良いと思います。	女性	60歳代

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
静岡に住んで毎日来たいですね。	男性	70歳以上
この頃特別展示会が少ないと思われる。	男性	60歳代
西洋画はなかなか見られないので貴重でした。	女性	13～19歳
展示の配置が見やすかった。	男性	13～19歳
広く落ち着きがあり清潔なので大好きな美術館です。無料の駐車場にも感謝しています。毎年夏休みの展覧会が話題性があり、年代を超えて親子で楽しめて好きです。	女性	50歳代
また見に来たいです。	男性	30歳代
以前香月康男展、マヤ文化展、シャガール展などに来ました。企画によってまた来たいと思います。	男性	70歳以上
また見に来たい。	女性	12歳以下
遠いのですが、また機会を見つけて伺いたいと思いました。	女性	60歳代
年間スケジュールを見ていつも参ります。とても助かります。	女性	50歳代
びじゅチューンの地獄の門の本物を見れて良かった。	女性	12歳以下
ロダン館すごく良かったです。アプリは上手くダウンロードできませんでした。	女性	20歳代

内容	性別	年齢
ゆったり鑑賞できて良い。企画展示がとても良い。	女性	50歳代
また来館したい場所でした。	女性	50歳代
年一回大きな催事が楽しみ。来年のマチュピチュが待ち遠しいです。	女性	70歳以上
この頃あまり興味深い展示がなくて来ていませんでした。図書館で見るポスターぐらいしか情報源がなくて、気付かないこともありました。	女性	60歳代
楽しい企画をありがとうございます。	女性	50歳代
最後にある赤い物は何ですか。	女性	12歳以下
アトリエの展示が面白い。	女性	60歳代
来て良かった。	男性	60歳代
幕末狩野派展		
いつも興味深く、またそのジャンルで知るべき内容の展示が多く、幼少期から楽しませて頂いています。	女性	30歳代
今度ロダンの映画が上映されるとのことで、ぜひ拝見させてもらいたいと思います。	女性	20歳代
美術館は初めてでしたが、たまにはゆっくりと絵画や作品を見るのもいいものだと思います。	女性	40歳代
また来ます。	女性	70歳以上
以前から来館したいと思っておりました。大変心地良く観覧することができました。	女性	40歳代
いつも楽しい企画ありがとうございます。	男性	20歳代
たまにしか来ませんが、毎度心が満たされるような気分になれます。	女性	40歳代
ロダン館が想像以上に楽しかったです。	女性	30歳代
企画展も大変良かったですが、収蔵品展 2018 も企画展とスムーズに結びついて大変良かったと思います。良質な作品が豊富に展示されていました。	男性	60歳代
今回の作品を一同に見ることができて満足です。これからもぜひ良い作品を見られることを望みます。	女性	70歳以上
また来たいです。	男性	12歳以下
新しい物が展示されたら、また来たい。	男性	12歳以下
ロダン館は、今まで見たロダン作品では最高。	男性	60歳代
またよろしくお願いします。	男性	40歳代
めがねと旅する美術展		
毎回意欲的な展示テーマで興味深く拝見しています。次回の展覧会も楽しみにしています。	男性	30歳代
どの展覧会に来ても毎回いろいろな楽しさがあって、何度も来たいと感じられます。	女性	13~19歳
「ロボットと美術」展より毎度トリメガ研究所の企画を楽しみにしております。今後の企画もぜひ見に来たいと思います。	男性	30歳代
たまに来ると心が落ち着きます。また来ます。	男性	50歳代
ロダンの作品が多くあり、素晴らしかった。	女性	50歳代
企画展は期待通り良かった。ロダンがこんなにあるとは知らなくてびっくりした。柏市から来たのだが、収蔵品展に柏の作品があって嬉しかった。	女性	50歳代
興味のある企画展を開いていただき、楽しみにしています。	男性	60歳代

内容	性別	年齢
ロダン館はここ数年説明が詳しくなったので嬉しいです。	女性	30 歳代
季節を感じながら静鉄電車から毎月登って来ます。いろいろな展覧会を見ることができて大変うれしいです。自分の勉強にもなります。	女性	50 歳代
現代美術系の企画を含め、魅力ある企画展が多い。	男性	30 歳代
いつもとても楽しいです。	女性	40 歳代

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
見ていて疲れたと思ったら本を読むスペースがあり良かったです。	女性	12 歳以下
見やすく良かったです。	女性	40 歳代
片道 3 時間以上かかるので、今朝寝坊した時は焦りました。でも夜間開館していたので、ゆっくり鑑賞できました。本を実際に手に取って見られて良かったです。	女性	40 歳代
とてもゆっくりと観られる。空間的にも余裕があって良い。今回は子どもが楽しめるスペースもあって良い。	男性	50 歳代
展示方法がおもしろかった。	女性	40 歳代
絵本の世界を木など立体になっていて面白かった。	女性	13~19 歳
ゆったりと展示してあって良かったです。	女性	50 歳代
見終わりの最後に写真撮影可、また靴を脱いで本を読める場所がありくつろげた。安野氏の考えが反映されていたのか。	女性	60 歳代
入ってすぐに絵の中に隠れている動物をさがす作品があったので、前半なかなか進みませんでした。	男性	40 歳代
一つの絵に集中しすぎてなかなか進まなかった。	男性	40 歳代
配置がとても良かったです。また来たいと思いました。	男性	12 歳以下
幕末狩野派展		
ガイド説明が少し長いと思う。	女性	13~19 歳
字が小さいので暗い見にくいです。学芸員さんの解説があり、分かりやすく良かった。	女性	50 歳代
展示スペースも広くすばらしいの一言、最高です。	男性	40 歳代
めがねと旅する美術展		
アニメの上映が、以前のテレビでなく画面が広がったので良かった。	女性	30 歳代
VR で見たり、3D メガネをかけて作品を見るのがとてもおもしろかった。	男性	13~19 歳
以前来た時に長時間 DVD 作品に除菌ティッシュがなかったが、今回はあって助かった。	女性	20 歳代
アニメーションの音声が少々うるさい。それ以外は良い。	男性	30 歳代
初めて来ましたが、順路など案内が分かりやすく楽しめました。	女性	13~19 歳
体験コーナーもあり良かった。	男性	60 歳代
遠近法を利用したトリックが面白かった。	男性	40 歳代

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
少し暗かった。	男性	13～19歳
県立美術館の雰囲気がとても好きです。また来たいです。	女性	13～19歳
いつもきれい。少し冷房が効いている。	女性	50歳代
静岡がもっと好きになりました。	女性	40歳代
とてもきれいだった。	女性	12歳以下
建物の造りがとても好きなので毎年夏に来ています。これからもずっと楽しみにしています。	女性	40歳代
広いので疲れますが見応えがあります。	女性	50歳代
第一駐車場は美術館に近いのかと思いました。でも歩いてくるのも気持ちが良かったです。展覧会はとてもおもしろかったです。	女性	30歳代
幼児連れだったので、託児スペースで少し遊ばせられるのが助かりました。	女性	30歳代
第1駐車場から美術館まで歩いて来て、植えてある木々や草花がいろいろあって、とても良い散歩になりました。	女性	60歳代
駐車場が少し混んでいた。	男性	40歳代
アンケートが書きやすい配置でした。	男性	40歳代
いつ来ても満足できる。周りの緑や自然がとても良いし、美術館に来るととても落ち着きます。	女性	60歳代
冷房がとてもきいていた。	女性	50歳代
静かで良い。	女性	30歳代
落ち着いた空間が気に入ってます。また周りの木々が良いです。	女性	60歳代
幕末狩野派展		
大変清潔感があって良い。	女性	60歳代
場所が良い。	女性	70歳以上
東静岡に住んでいて近いので娘や友と来ています。レストランもすばらしい。	女性	70歳以上
閑静で広々とした環境の良い所で最高の作品を見学できて幸せでした。	女性	60歳代
静かでゆっくり観られました。	男性	50歳代
めがねと旅する美術展		
平日に来たので、静かでゆっくりと見られました。	女性	20歳代
少しアクセスが悪い。他は満足。	女性	13～19歳

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
初めて来館しましたが、スタッフさんもとても親切で、展示品も見やすく配置されていてとても良かったです。展示の内容が知っているものだったら、また来館したいと思います。	女性	40歳代
スタッフの方の笑顔が素敵でした。	女性	30歳代
めがねと旅する美術展		
お正月までやってくれていてありがたかったです。おしる粉ありがとうございました。また来年もお願いします。	女性	30歳代
スタッフさんの対応がとても良かったです。来て良かったです。ありがとうございました。	女性	30歳代

<B 要望>

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
ふしぎのえのポストカードがほしかった。残念でした。	女性	40歳代
幅広い作品を見て、とても感動しました。また機会があれば展示してほしいです。	女性	20歳代
小さな子どもも楽しめた展覧会でした。子どもと一緒に楽しめる企画を楽しみにしています。	女性	40歳代
取り上げる作品に限りがあります。次回開催を希望。	男性	70歳以上
このような展示はとても嬉しい。加古さんとか五味さんとか藪内さんとか、大人も楽しめる絵本系の原画展をまた開催してください。楽しみにしています。	女性	40歳代
幅広い年代で楽しめて良いと思った。久しぶりに見て楽しいと思えた。絵本・アニメ等身近な作家さんの展示を望みます。	女性	50歳代
安野光雅の風景画の展示も見たいです。	男性	50歳代
「もりのえほん」正解がほしかったです。達成感が味わえなかった。	女性	60歳代
今日のように絵本に関わる方の展示会、たくさん開いてほしいです。	女性	40歳代
幕末符野派展		
学芸員の方がグループを連れて途中から説明をはじめられたので、集中して観覧していたのが邪魔されたようで残念でした。声を出しての説明は時間を決めてやっていただければと思いました。	女性	70歳以上
図録を買おうと思いましたが、図版が小さい作品が多く買えませんでした。3000円位でもいいから図版は大きくしてほしい。	男性	40歳代
めがねと旅する美術展		
ロダン館がたまらなくステキでした。青森でもめがね展を見たのですが、また違った見方ができ、とてもおもしろかったです。トリメガは次回はないとのことでしたが、次もあると嬉しいです。楽しみにしています。	女性	20歳代
またやってほしいです。	女性	30歳代
視覚的なものなので、楽しみ方がもう少し分かり易いと良かったと思います。	男性	40歳代
「挿絵と旅する男」は良かったので、もっと尺を長くしてフルで作ってくれても面白い気がします。	女性	20歳代
アニメーションが上映されていて良かったので、今後も製作してほしいです。	女性	20歳代
とても良い展示でおもしろかったです。またこのような展示をやってほしいです。	女性	12歳以下
チラシなどを見た印象よりも来てみて、ずっと楽しかった。子どもたちにもアピールするわかりやすい楽しいチラシを。	女性	70歳以上
「めがねと異形」というテーマについて、もっと作品を見たかったです。	男性	20歳代
とても良い展覧会なので、テレビなどマスメディアでPRした方が良い。学芸員の説明がほしい。	男性	50歳代
貴婦人と一角獣のタペストリーも見たいです。	男性	30歳代
企画展のタイトルについて、めがねの歴史と勘違いしてしまったので、一考を要する。	女性	70歳以上

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
音声ガイドがあるともっと良かったと思います。	女性	50 歳代
若冲はいつ見られますか？	女性	20 歳代
子どもも興味を持てる展示内容があると良い。	女性	40 歳代
古代文明展など開催してほしい。	女性	50 歳代
古代文明展をお願いします。エジプト・インカ・アステカ・マヤ。	男性	40 歳代
常設展の絵もたくさん見たい。	男性	50 歳代
若冲を年一回は希望。	女性	70 歳以上
絵本の原画展や講演会を希望しますが、料金を低くしてほしい。	女性	50 歳代
草間さんの作品が見たいです。	女性	40 歳代
東京などの大きな美術館では難しい独自の展覧会を。	男性	70 歳以上
上野で開かれた美術展の作品を静岡で見られるように希望します。	男性	70 歳以上
泉末狩野派展		
美人画を展覧してほしい。	男性	70 歳以上
東京に行かなくてもいいようにステキな展覧会をやってほしい。外も広いので、金沢のような体験型など、現代美術の彫刻などももっとおいてほしい。	女性	40 歳代
漫画家の作品の展覧会を行ってほしい。	女性	13～19 歳
県内一の美術館として期待をしています。時代を変えたような感動的な作品、一度は本物を見たい有名な作品を見たいと思っています。	男性	50 歳代
風景画の企画展を積極的に開催してほしい。前へ三步進んでください。	男性	70 歳以上
以前やっていた西洋の絵画展とても良かったです。中野京子の「怖い絵」展を静岡でもやってほしいです。	女性	13～19 歳
以前にも投書したのですが、すばらしいコレクションを持っているのですから、常設展示コーナーを拡充してほしい。	男性	60 歳代
企画展の回数を多く。	男性	70 歳以上
めぐねと旅する美術展		
「地獄の門」の作成方法についての展示を以前拝見しました。とても強く印象に残っていて、また見たいと思っています。是非再展示をお願いします。	女性	50 歳代
楽しい展示を見て心が洗われました。国宝展なども見たいです。	女性	40 歳代
もっと積極的にどんな展覧会をやっているか PR してほしい。	男性	50 歳代
日本の古美術展を企画してください。	男性	40 歳代
青森に友人がいて、同じものを見られることがとても嬉しかったです。また全国の美術館とのコラボ展示をお願いします。	女性	40 歳代
浮世絵コレクションの充実を。	男性	40 歳代
100 点くらいの所蔵品名品選の図録を発行してほしい。	男性	40 歳代

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
ABCの絵本等の詳しい解説等があっても良かった。	男性	60歳代
丸一日居ても楽しめるし、絵そのものもすばらしかった。展示の仕方がもう少しデザインしてくれるとさらにGood。	男性	30歳代
どの展覧会もですが、子ども向けのものを扱うものでは、もう少し位置を低くしてあるとよく見えると思います。	女性	30歳代
触れてはいけない作品に対して、線だけで止めるよりも、もう少し足を止めるしかけがあった方がいいと思った。作品に集中していると意外と注意書きや線を見逃してしまうので。	女性	40歳代
ビデオの音量が残念ながら足りませんでした。	女性	70歳以上
鑑賞の順を誤っている人をよくみましたので、案内の方法を考えても良いのでは。	女性	50歳代
小さな子どもでも絵が見やすいように、台があったら助かります。	女性	30歳代
幕末狩野派展		
狩野派画家の解説が丁寧で理解が深まりました。今後の展覧会も読みやすく丁寧な解説を期待しています。	男性	30歳代
外国の方にも説明がわかるようにすると良いと思いました。	女性	50歳代
ロダン展示物の銘板を見つけ辛かったです。その他満足していますが、建物内部の照明がもう少し暗ければガラスの反射もなくなり、より観やすかったと感じました。	男性	20歳代
幕末狩野派展目当てに来ました。内容には大満足ですが、できればガラスケース越しでなく見たかったです。	男性	40歳代
順不同なので、音声ガイドにリストがあると良い。	男性	40歳代
今回の企画展は良かった。ロダン館の展示について、アクリル板で四角く囲ってある物を丸くしてはどうか。角で切られて見にくいです。	男性	60歳代
解説が難しい。もう少し易しく。解説の文字が見にくい。日本画はガラス越しでももっと近くで見たい。	男性	60歳代
掛軸全体の見方も知りたいです。	女性	40歳代
各々の空間に椅子をもう少し増やしてほしい。	男性	70歳以上
説明文はもっと簡単に、文字を大きく。	女性	70歳以上
使用したであろう画材や顔料などの説明もあると良い。	男性	40歳代
聴力障害者です。それに対するガイドがあれば、もっと良いと思います。	男性	50歳代
狩野派とは、という説明がもう少しあれば良かった。	女性	50歳代
説明が外に置いてある場合は良いのですが、ガラス内にあるのは目が悪い人にとっては酷です。とても見にくくて、すべて展示は目の良い人様にしてあるのが不親切です。もう少し考慮してください。	女性	60歳代
実際の作品から伝わるものがたくさんあり、来て良かったです。地獄の門を見ながら少しずつ距離をあけて見ようとして階段を踏み外しました。もう少しスペースを。	女性	40歳代
館内が暗い。作品が見えにくい。幕末の作品を期待していたが、説明文にも焦点があたっていないくて、作品も少ない様に感じた。次回を期待します。	女性	60歳代

内容	性別	年齢
めがねと旅する美術展		
土産物が充実している。美術品に触れることが可能だと嬉しいです。	女性	40 歳代
ロダンの美術品は本物ではないと思うので、触れられるようになるとありがたいです。	女性	13～19 歳
子どもも楽しく鑑賞できる展示でした。子どもも見られる高さに調整できると、さらに楽しめると思いました。	女性	50 歳代
JAXA の映像はほとんどの人が一瞬で通り過ぎ全部観ていなかったように思います。それぞれをいくつかに分けて映すとか時間表示すべきだと思います。	男性	50 歳代
覗くものが多かったが、最初は慣れていなかったのでガラスに頭をぶつけてしまった。何か注意した方が良くと思います。	女性	60 歳代
解説の文字を気持ち大きくしてほしい。	男性	20 歳代
虫めがねや単眼の貸し出しがあれば良かったと思います。	女性	20 歳代
最後のヘッドホンの上映 37 分は明らかに長い。待ってられない。工夫してほしい。	男性	40 歳代
閉館間際でも混んでいたのが、昼はもっとすごそう。		
いろいろなめがねをかける体験をしたかった。	女性	30 歳代
解説の字が小さい。まわりが暗いのももう少し大きい方が良い。	女性	50 歳代
ステージ 2 などは座って見たいと思いました。説明を読んでじっくり見てほしい所にはベンチが欲しいです。	女性	70 歳以上

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
展示会はとても素晴らしかったです。もう少し駐車場があるとありがたいです。	女性	50 歳代
建物や周囲の環境がとてもステキです。もっとその辺を SNS で発信しても良いのでは？冷房が強くて後半大変寒かったです。	女性	20 歳代
冷房がとてもよく効きすぎていたので、調整していただけたらもう少し館内にいたかったです。	女性	70 歳以上
1 階ロビー、2 階階段からイベントがしっかり見えるようになったら、もっと良いと思います。	女性	50 歳代
本日カフェが休み。暑かったので先に水分補給しました。自由に飲める場所があると助かります。	女性	50 歳代
駐車場の満車サインの位置が少しわかりづらかったです。そのため違う駐車場を利用しました。日曜日は係員がいても良かったと思います。	女性	40 歳代
絵本の前に椅子が欲しかった。少し寒い。	女性	30 歳代
入口に近い方から第一駐車場とした方が分かりやすいと思います。足の悪い人や小さい子連れだとちょっと大変かと思いました。	女性	50 歳代
もう少し静かに鑑賞したかった。子どもが騒がしい。ヘッドホンの案内があれば利用したい。	男性	50 歳代
飲水できるスペースがもっとほしいです。暑くてお茶したかったのですが、カフェもお休みでした。	女性	30 歳代

内容	性別	年齢
本当に久しぶりに来ました。第2駐車場から歩く道が心地よかったものの植木の手入れが行き届いていないことが残念でした。費用もかかるのは分かりますが、とてももったいない気がします。ボランティアさんに入ってもらい、お礼に入場券を渡したらどうかと思いました。	女性	50歳代
近隣駐車場の案内をして頂きたいです。停められず父が来られなかった。	女性	12歳以下
空調について、温度が低すぎて寒かったです。レストランの待ち時間も席が空いているのに長かった。そのほかの作家さんの絵本展も静岡で見たいです。休めるところがあるといいです。	女性	40歳代
水飲み場をもっと目立たせてほしい。	女性	13~19歳
幕末の野派展		
静鉄駅から美術館までの間に看板を増やした方が良くと思います。「ここであってるの?」と言っている方をみかけました。	女性	40歳代
ミュージアムショップに、絵のある4Bなどの濃い鉛筆がほしい。	女性	12歳以下
美術館に近い駐車場を増やしてほしい。	男性	50歳代
親しみやすい環境づくりを続けて頂きたいです。	男性	40歳代
東方面から来て、ミニストップの先を左折したところで迷ったので、分かりやすい看板がほしいです。	女性	20歳代
めがねと旅する美術展		
イヤホンでムービーを見る所には除菌ティッシュを置いて欲しい。また、ペンライトの所にもあると嬉しい。	女性	20歳代
見ている最中に休めるスペースがほしい。	女性	50歳代
駅名が「県立美術館前」なのに、全然前ではない。シャトルバスを出して欲しい。	女性	30歳代

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
混みあっている時のバッグの持ち方をお願いされるなら分かりますが、平日それほど人がいない場合は良いのではと思います。	女性	40 歳代
学生が無料なことを来館して知った。もっとアピールしたら良いと思う。	女性	50 歳代
しずおかミュージアムパスポート制度の継続をお願いします。	女性	30 歳代
とっても良かった。オープン時間がもう少し長いと良い。	男性	30 歳代
開館時間があと 30 分早まると嬉しいです。	女性	40 歳代
65 歳以上も割引の対象にしてほしい。	女性	60 歳代
休館日が結構あるので、もう少し減らしてほしいと思います。	女性	60 歳代
声が大きいお客さんは注意してほしい。	女性	30 歳代
話し声が結構する。標示や口頭での注意があればよい。	女性	20 歳代
週 1 回は 20 時閉館のシステムを考えてほしい。	女性	60 歳代
幕末狩野派展		
おしゃべりのうるさい女性二人がいて、途中で集中力が切れてしまいました。スタッフの方は特に注意していなかったのですが、館内は声が響くし、もう少し何とかしてほしいです。静かに見たくて平日に来たのに、残念でした。大好きな「百猿図」が見られたのは嬉しかったです。	女性	30 歳代
家族割引があれば尚良い。	女性	40 歳代
入場料は 500 円位が良い。	男性	50 歳代
10 時前に入館だけでもしたい。	女性	60 歳代
65 歳以上も 25%引きをお願いします。	男性	60 歳代
静岡市の街中にポスター等があると嬉しいです。	女性	20 歳代
話し声の大きい方には、もう少し注意してほしい。	男性	30 歳代
めがねと旅する美術展		
ホームページにバスの時刻表があったら良かった。	女性	20 歳代
話し声のうるさい人達がいたので、さすがに注意してほしかった。	女性	30 歳代
静岡県民は入場料を安くしてほしい。	男性	40 歳代

<C 苦情>

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
遊びに来ている子2人母2人がずっとうるさくしていた。プレイゾーンは展示から遠ざけるべき。	女性	40歳代
幕末狩野派展		
伊豆黒船来港のケーシングは大変お粗末すぎる。作品に対する敬意がなさすぎ。	男性	70歳以上
今回のポスターは派手すぎて不明解。	男性	60歳代
河鍋時斎ファンとして今回の展覧会はがっかりした。もっと裾野の広がりには焦点をあててほしかった。	女性	70歳以上
10月8日に浅間神社とのコラボ企画に参加し、当館のチケットを購入した。それが招待券になっており、受付で「アートトレインミュージアム」ポイントカードの押印を断られてしまった。お金を払って買ったチケットなのに納得がいかず不快である。	男性	50歳代
音声ガイドががっかりです。特に女性のナレーターがはしゃいでいるような口調で作品の雰囲気と合いません。お金を払って迷惑な客の声を買ったような気になりました。	男性	50歳代
めがねと旅する美術展		
このような美術と関係ない物の展示はやめてほしい。一般の人がますます美術より遠ざかる。	男性	70歳以上

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
幕末狩野派展		
年間を通して若い人に良さそうなインパクトのある展示会が少ない。	男性	70歳以上

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
ロダン展の説明が読みづらかった。	女性	40歳代
説明文の文字が小さく見にくかった。	女性	60歳代
幕末狩野派展		
少し寒い。展示に合わせたデザインでしょうが、黒地に白抜き文字が読みづらい。	女性	50歳代
幕末狩野派展面白かったです。一部覗きケース上のキャプションに、照明が当たってなくて読みづらいところがありました。	女性	50歳代
説明部分の文章に難解な表現が多く、また長く感じました。	男性	20歳代
説明文が長すぎ、文字が小さすぎ、もっと簡潔に。年寄りには見えない。	男性	70歳以上
ガラスの仕切りが邪魔。ガラスの反射はMOAほどではないが、意外と良い。	男性	50歳代
全体的に暗い中で、説明書きが黒地だったので見づらかった。	男性	60歳代
解説文が小さくて読みにくい。	男性	70歳以上

内容	性別	年齢
字が小さく読みづらい。	女性	70歳以上
ガラスケース内の壁面に貼ってある解説文が遠すぎて読みにくい。平面ケース上面隅に貼る方法は良かった。	男性	60歳代
説明文が小さい。	男性	50歳代
説明文の文字が小さく読みにくい。	男性	60歳代
めぐねと旅する美術展		
現代アートで撮影不可とはいかがなものか。	男性	50歳代
テレビモニターが照明で反射して見にくいのが少し残念です。あとは満足です。	男性	40歳代
彫刻の説明と彫刻本体とが少々見づらかった。	女性	40歳代
身長が高いため、設置位置の低い展示物が見づらいものがあった。	男性	30歳代
他の作品を見ている時に上映作品の音が聞こえてくるのが少し気になりました。	女性	30歳代
字が小さくて読めない。	男性	60歳代
説明が小さすぎる。	男性	50歳代
説明書きが小さくて見えにくかった。	女性	50歳代
説明の字が小さくて読みにくい。	男性	70歳以上
説明の文字が小さい。	女性	60歳代
キャプションの字が小さい。順路がいまいち。ビデオ上映の案内がわからない。	女性	20歳代
各展示物の説明パネルの文字が小さ過ぎる。	男性	60歳代

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
ちょっと寒かったです。	女性	60歳代
混雑してゆっくり見るができなかった。	女性	50歳代
1階トイレ入口のガラスドアが重く、年配の人は開閉が大変そうでした。	女性	50歳代
暑い時期なので、カフェがお休みなのが残念でした。	女性	50歳代
最後のコーナーで機械の音が気になりました。	女性	50歳代
駐車場が遠い。入ってからも分かりにくい。	女性	30歳代
クーラーがききすぎて寒かったです。	女性	13～19歳
ちょっとクーラーが寒いです。	女性	12歳以下
寒すぎる。	女性	60歳代
冷房が少し効きすぎている。	女性	50歳代
冷房が効きすぎている。	女性	70歳以上
クーラーが強すぎて寒い。レストランの対応が良くない。	女性	20歳代
少し冷えすぎている。	女性	50歳代
ロダン館入口上に工事用のはしごが掛かっていたのが非常に残念でした。何度も観ていますが、ロダン館そのもののイメージが崩れてしまいました。常時このようにしておくのでしょうか。	女性	60歳代

内容	性別	年齢
冷房が効きすぎて寒かった。	男性	60 歳代
入口が混んでいてゆっくり見られなかった。駐車場が少し遠い。	女性	30 歳代
寒かった。クーラーが効きすぎ。	女性	30 歳代
エアコンが寒かったです。	女性	12 歳以下
空調の温度が低い。もう少し上げてほしいです。	女性	40 歳代
寒い。	女性	13~19 歳
駐車場が混んでいることが多い。	女性	50 歳代
幕末狩野派展		
寒かったです。	女性	20 歳代
老眼の者にとっては、少し暗い照明です。少しつらいです。	男性	60 歳代
館内は一見きれいに整理、管理されているように見えるが、展示室以外では雑然としているところあり。たとえばトイレ内の掃除道具が見えて雑庫にいる様で汚く見える。	男性	50 歳代
風の音か何か、大きい音がする。	女性	50 歳代
図書室が空いている時が少ないので、不自由で残念です。	女性	70 歳以上
ガラスが汚れていることが多かった。	女性	40 歳代
めがねと旅する美術展		
室内温度がとても暑かったです。	女性	20 歳代
駐車場から美術館入口まで、坂と長い距離で少し疲れる。	女性	50 歳代
車が停めにくかった。	女性	50 歳代
バスが少ない。	女性	40 歳代
バスの本数が少なすぎる。	男性	40 歳代
空調が効き過ぎて暑かったです。	女性	30 歳代
空調が暑い。	男性	50 歳代

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
安野光雅のふしぎな絵本展		
今回絵本の原画が多く子どもたちの声でにぎわっているのは良いのですが、全く関係のない話を椅子に座ってしているおばさま方には注意しても良かったのでは。	女性	50 歳代
絵本作家さんの絵を初めて見たが、好きになった。スタッフさんが動きすぎな気が少しした。仕方がないと分かっているけど視線が気になる。絵本を自由に読める場で読んでみると、つめて片付けられてしまい少し返し辛かった。	女性	13～19 歳
リュックを背負って見ていたところ注意されました。できれば入口で言ってほしかった。見ている最中に言われ非常に気分が悪かった上、他の方も背負っていたが注意されてもすぐに背負う人もいて注意していないスタッフが多かった。走り回る子どもにも注意していないスタッフが多い。	女性	40 歳代
幕末狩野派展		
インターネット上で、当日開館しているのか、よくわからない表現になっている。	男性	50 歳代
観覧中に横でガラスを拭かれるのは、自分が見たので汚れて拭かれたようで気分が悪い。	女性	50 歳代
めがねと旅する美術展		
係の方が多い。カメラで見たい良いのではないかしら。	女性	60 歳代

平成 30 年度 静岡県立美術館評価業務 報告書
平成 31 年 3 月

発 行 静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

TEL 054-263-5755

委託先 株式会社浜名湖国際頭脳センター

〒432-8003 浜松市中区和地山 3-1-7

浜松イノベーションキューブ 2 F

TEL 053-416-4000
